

ザルモノナリ

註四 省線發朝鮮著貨物ニシテ發驛ニ於テ朝鮮移入要申告荷物ニ該當スルモノナルヤ否ヤ判然セザル場合ハ荷物明細書ハ便宜之ヲ提出セシメ置タラフ可トス

第五節 手荷物及附隨小荷物ノ通關手續

第十九條 手荷物及附隨小荷物ノ通關手續ハ下關釜山間、新潟津間及敦賀津間航路ニ在リテハ當該連絡船内ニ於テ又麗水航路ニ在リテハ麗水港、博多釜山間航路ニ在リテハ釜山港ニ於テ運輸機關保管ノ下ニ旅客ノ自辨トス

註一 北日本汽船會社北鮮航路ニシテ浦鹽斯德ニ延航スルモノニ在リテハ稅關官吏ノ乗込ナキニ付清津又ハ羅津ノ各港ニ於テ通關検査ヲ受クルモノトス

第二十條 旅客ガ前條ノ通關検査ヲ受ケザル場合荷物ニ鎖錠封印ナキモノハ運輸機關ニ於テ稅關官吏ノ検査ニ立會シ課稅品ナキトキハ其ノ儘繼送ノ取扱ヲ爲スモノトス

前項ノ場合該荷物中ニ課稅品アルカ若ハ荷物ニ鎖錠封印アルモノハ當該移出入驛港ニ留置セラルベシ此ノ場合ニ於テハ荷物到着ノ日ヨリ七日間無料ニテ之ヲ保管シ其ノ翌日ヨリ當該驛港ニ於ケル通關手續終了ノ日迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遅延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ收受ス

運輸機關ニ於テ前項手荷物及附隨小荷物ノ託送者ノ所在ヲ知り得タルトキハ直ニ其ノ荷物ノ留置シアル驛港ヲ通告シ託送者ノ指示ニ依リ之ヲ處理スルモノトス此ノ場合託送者ノ請求アルトキハ運輸機關ニ於テ之ガ通關手續ヲ代辨ス

第八條乃至第十二條第十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

註一 第八條ハ荷物ノ解裝及見本ノ提供、第九條ハ通關手續代辨手数料及其ノ他費用、第十條ハ關稅其ノ他ノ立替、第十一條ハ立替金其ノ他ヲ荷送人ヨリ收受スル場合、第十二條ハ換價處分、第十三條ハ通關事故ニ關スル規定ナリ

註二 手廻品ニ對シテハ運輸機關ニ於テ検査ノ際關與セザルモノトス

第二十一條 前條第二項ニ依リ移出入驛港ニ留置セラルベキ手荷物及附屬小荷物ガ第四條ノ朝鮮内稅關所在驛所又ハ第二十四條ニ規定スル鐵道省線稅關所在驛所及東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戸ノ各市内若ハ京城、平壤、馬山、仁川ノ各府内著ナルトキハ當該驛迄朝鮮移出若ハ朝鮮移入手續未濟荷物トシテ外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲シ該著驛ニ於テ之ガ引渡ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ託送者ハ著地ニ於テ朝鮮移出若ハ朝鮮移入手續ヲ爲スモノトス此ノ場合託送者ノ請求アルトキハ運輸機關ハ著地ニ於ケル通關手續ノ代辨ヲ爲ス

第八條乃至第十二條、第十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テハ既收運賃ニ過不足ヲ生ズルコトアルモ運賃ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲サズ

第二項ノ場合ニ於テハ荷物到着ノ通知ヲ發シタル日(通知ヲ發セザルモノニ在リテハ到着シタル日)ヨリ二日以内ニ通關手續終了セザルトキハ其ノ翌日ヨリ引渡迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遅延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ收受ス

註一 前條註參照

註二 第一項ノ東京其ノ他市内著ハ左ノ驛迄運送スルモノトス

東京市内著ナルトキハ東京驛、横濱市内著ナルトキハ横濱驛、名古屋市内著ナルトキハ名古屋驛、京都市内著ナルトキハ京都驛、大阪市内著ナルトキハ大阪驛、神戸市内著ナルトキハ神戸驛、京城府内著ナルトキハ京城驛、平壤府内著ナルトキハ平壤驛、馬山府内著ナルトキハ馬山驛、仁川府内著ナルトキハ仁川驛

第二十二條 第二十條第二項及前條第一項ニ依リ移出入驛港又ハ著地稅關所在驛所ニ留置ノ手荷物及附隨小荷物ニシテ鎖錠封印アルモノガ到着ノ日ヨリ一箇月ヲ經過スルモ託送者ノ所在不明ナルトキハ運輸機關ハ稅關官吏ノ立會ヲ

求メ託送者ノ負擔ヲ以テ解装シ内容ノ検査ヲ爲シ託送者ヲ知り得タルトキハ第二十三條第三項ニ準ジ取扱ヲ爲ス

第三章 日本滿洲間

第一節 通 則

第二十三條 小荷物又ハ貨物ノ通關手續ハ左ノ各號ニ掲グルモノノ除キ運輸機關ニ於テ之ヲ代辨ス

一 左ノ驛發又ハ著ノ貨物ニ對スル輸出入手續

番 號	輸 入 手 續	輸 出 手 續	發 著
一	日本輸出手續	日本輸出手續	<p>○イ 省線稅關驛發ノモノ但シ集貨スルモノヲ除ク</p> <p>○イ 省線非稅關驛發ノモノ但シ安東及圖們驛著ノモノ但シ左ノ貨物ヲ除ク</p> <p>○イ 朝鮮移入要申告貨物</p> <p>○イ 電球、磁器、鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、人造絹織物、麻藥類、綿糸、綿製品</p> <p>○イ 配達ヲ爲ス貨物(圖們驛ニ限ル)</p> <p>○イ 3 配達ヲ爲ス貨物(圖們驛ニ限ル)</p>
二	日本輸入手續	日本輸入手續	<p>○イ 省線稅關驛著ノモノ但シ配達スルモノヲ除ク</p> <p>○イ 安東驛發ノモノ但シ集貨スルモノヲ除ク</p> <p>○イ 圖們驛發ノモノ但シ集貨スルモノヲ除ク</p>
三	滿洲輸出手續	滿洲輸出手續	<p>○イ 安東驛著ノモノ</p> <p>○イ 圖們驛著ノモノ</p> <p>○イ 奉天、新京、八區及龍井驛著ニシテ滿洲内外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲スモノヲ除ク</p> <p>○イ 關東州著ノモノ</p>
四	滿洲輸入手續	滿洲輸入手續	<p>○イ 安東驛著ノモノ</p> <p>○イ 圖們驛著ノモノ</p> <p>○イ 奉天、新京、八區及龍井驛著ニシテ滿洲内外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲スモノヲ除ク</p> <p>○イ 關東州著ノモノ</p>

二 荷送人ニ於テ小荷物及貨物託送ノ際通關手續ヲ自辨スル旨申告アリタル場合ニ於ケル日本輸出入手續及滿洲輸出入手續

三 運輸機關ニ於テ代辨ヲ爲サザル旨公告シタル小荷物及貨物ニ對スル日本輸出入手續及滿洲輸出入手續

註一 朝鮮移入要申告貨物ノ範圍ニ付テハ細則第四條參照

註二 第一號中安東、圖們著日本輸出手續中朝鮮移入要申告貨物及電球、磁器鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、人造絹織物、麻藥類、綿糸、綿製品ヲ除キタルハ細則第三十七條ニ依リ下關、新潟港、敦賀港ノ内地側ニ於テ日本輸出手續ヲ爲スガ爲ナリ

註三 荷主ニ於テ通關手續ヲ自辨スルモノノ取扱ニ付テハ第三十五條乃至第三十七條參照

註四 日本ト關東州内各驛トノ相互間發著小荷物及貨物ノ輸出入手續ハ左記ニ依ル

- イ 日本發ハ日本輸出手續ヲ、日本著ハ日本輸入手續ヲ要ス
- ロ 大連航路經由關東州内各驛著ハ滿洲輸入手續ヲ要セズ(關東州陸揚外國貨物報告書ノ提出ヲ要ス)
- ハ 朝鮮經由關東州内各驛著ハロニ準ジ報告書ノ提出ヲ要ス此ノ場合滿洲國內ハ外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲ス
- ニ 關東州内各驛發ハ大連航路經由、朝鮮經由共滿洲輸出手續ヲ要ス此ノ場合朝鮮經由ナルトキハ滿洲國內ハ外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲ス

註五 奉天、新京、哈爾濱、龍井著小荷物ニシテ滿洲内外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲スモノハ著地ニ於テ運輸機關通關手續ヲ代辨ス

註六 滿洲内外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲ス小荷物及貨物ノ範圍ニ付テハ細則第二百二十九條參照

註七 第三號ニ依リ運輸機關ニ於テ代辨ヲ爲サザル場合ハ其ノ都度之ヲ通達ス

註八 集貨スルモノノ中ニハ荷主自ラ驛ニ持込ムモノハ含マザルモノトス

第二十四條 日本滿洲間ニ於ケル稅關所在驛所ハ左ノ通トス

一 内地

イ 鐵道省線

- 東京、汐留、橫濱、東橫濱、橫濱港、名古屋、笹島、京都、梅小路、大阪、梅田、神戸、湊川、神戸港、敦賀港、下關、長崎、長崎港
- 大阪商船株式會社航路

神戸港、下關港、門司港

ハ 近海郵船株式會社航路

神戸港、長崎港

ニ 北日本汽船株式會社航路

新潟港、敦賀港

二 朝鮮

イ 朝鮮總督府鐵道局線

釜山（朝鮮經由ノ植物検査ニ限ル）

ロ 南滿洲鐵道株式會社總局線

上三峰、清津、羅津（上三峰、清津、羅津ハ日滿兩國稅關所在驛）

三 滿洲

イ 南滿洲鐵道株式會社鐵道總局線

安東（日滿兩國稅關所在驛）、奉天、新京、營口、大連埠頭、哈爾濱、八區、滿洲里、綏芬河、山海關、龍

井、圖們（日滿兩國稅關所在驛）

ロ 大阪商船株式會社、近海郵船株式會社航路

大連港

註一 八區驛ハ哈爾濱市街ノ中心ニ近接シ同市發著貨物ノ取扱上最モ便宜ノ位置ニアルヲ以テ貨物受託ノ際ハ哈爾濱驛（稅關關

係ハ小荷物ニ限ル）トノ關係ヲ荷主ニ説明シ著驛選定上ノ注意ヲ爲スコト

第二節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ代辦

第二十五條 運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辦ヲ爲スベキ小荷物及貨物ヲ託送セムトスル場合ハ荷送人ハ荷物一口毎ニ作成者ノ捺印アル仕入書及運輸機關所定ノ荷物明細書ヲ發驛ニ提出スルモノトス

前項荷物明細書ノ式紙ハ關係驛所ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス荷送人ハ該式紙ニ必要事項ヲ記入シ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

內容單純ナル小荷物及貨物其ノ他仕入書ヲ添附スルコト困難ナル小荷物及貨物ニ對シテハ仕入書ノ添附ナキ場合ト雖其ノ運送ヲ受託スルコトアルベシ

仕入書ノ添附ナキカ又ハ荷物明細書及仕入書ノ記載不備ニ基因スル不利益ニ付テハ運輸機關ハ其ノ責ニ任ゼズ

註一 荷物明細書及仕入書ハ通關擔當驛ニ於テ稅關ニ對シ作成スル各種申告書又ハ船長ニ於テ作成スル各種日録ノ基礎ヲ爲スモノナルガ特ニ仕入書ハ稅關ニ於ケル關稅賦課ノ重要ナル參考ニ供セラレルモノナリ

註二 第三項ノ「仕入書ヲ添附スルコト困難ナル小荷物及貨物」トハ引越荷物、贈答ニ依リ得タルモノ、自己ノ製作ニ係ルモノ等ノ如ク仕入書ヲ作成スルコト困難ナルモノヲ謂フモノナルガ之等ニ對シテモ當該稅關官吏ニ於テ之ガ提出ヲ要セズト認メタル場合ノ外關稅ノ賦課ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ザルモノナリ（關稅法第三十二條參照）

註三 第四項ノ「不利益」トハ例ヘバ仕入書ノ添附ナキカ又ハ荷物明細書及仕入書ノ記載方不備ノ爲荷主ノ豫期以上ノ課稅アリタル場合ノ如キヲ謂フ

註四 荷物明細書ノ記載方ニ付テハ其ノ裏面、細則第七條註及同第三十九條註ヲ、仕入書ノ記載方ニ付テハ細則様式第三號記載例ヲ參照ノコト

第二十六條 通關手續ノ代辦ヲ爲スベキ小荷物及貨物ニ對シ關稅ノ免除、擔保ノ解除及其ノ他通關手續上特殊取扱ヲ受ケムトスルトキハ小荷物及貨物託送ノ際發驛ニ其ノ要旨ヲ申告シ且必要證憑書類ヲ提出スルコトヲ要ス

荷送人ニ於テ輸出入免狀其ノ他ノ廻付ヲ受ケムトスル場合又ハ荷受人ニ送付ヲ請求セムトスル場合ハ小荷物及貨物託送ノ際其ノ旨發驛ニ申告スルモノトス

荷送人ニ於テ小荷物及貨物託送ノ際發驛ニ對シ前項ノ申告ヲ爲サザル場合ニ於テハ輸出又ハ輸入免許ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ限リ運輸機關ハ輸出免狀又ハ輸入免狀ノ廻付若ハ送付ノ請求ニ應ズルモノトス

註一 第一項ノ必要證書類ニ付テハ細則第四十條參照

第二十七條 荷送人ハ輸出又ハ輸入ニ關シ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證等ヲ要スル小荷物及貨物ヲ託送セムトスルトキハ之ガ必要書類ヲ發驛ニ提出スルコトヲ要ス

前項書類ノ添附ナキカ又ハ之ガ不備ニ基因スル不利益ニ付テハ運輸機關ハ其ノ責ニ任ゼズ

註一 輸出入禁制、制限及取締品ノ範圍並ニ輸出入ニ關シ添附ヲ要スル必要書類ニ付テハ細則第四十一條參照

註二 「不利益」トハ必要書類ノ添附ナカリシ爲輸出入免許ヲ受クルコト能ハズ發驛ニ返還スル場合ノ返還運賃ヲ荷送人ノ負擔トスルガ如キヲ謂フ

第二十八條 通關手續ノ代辨ヲ爲ス小荷物及貨物ニ對シテハ稅關ノ検査ヲ受クル爲必要アルトキハ其ノ包裝ヲ解キ又ハ一部ヲ見本トシテ稅關ニ納付スルコトアルベシ

註一 稅關ニ於テ必要ト認ムルトキハ荷物ノ見本ヲ納付セシムルコトアリ（關稅法第五十六條參照）

註二 滿洲國稅關ノ見本納出ニ付テハ細則第五十條註參照

註三 朝鮮移出入不要申告貨物ノ點檢ニ付テハ第八條註參照

第二十九條 運輸機關ニ於テ施行スル通關手續ノ代辨ニ對シテハ別ニ定ムル手数料ヲ荷送人又ハ荷受人ヨリ收受ス

通關検査ノ際解裝、復裝其ノ他ノ爲特ニ要シタル費用ハ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

註一 本條第一項ノ料金ハ無償級小荷物及貨物並ニ新聞紙雜誌及運輸機關ノ手ヲ離レズシテ返還サル場合ノ復路ノ手續ニ對シテハ之ヲ收受セザルモノトス

註二 滿洲農業移住者用引越荷物、自家用農具及農業用家畜ニシテ總局線内無貨ノ取扱ヲ爲ス貨物ニ對スル本條第一項ノ料金ハ總局線ニ於テ代辨スル場合ハ之ヲ收受セズ其ノ他ノ運輸機關ニ於テ代辨スル場合ハ之ヲ收受スベキモノトス

註三 解裝、復裝等ノ爲特ニ人夫ヲ傭入レ又ハ復裝ノ爲材料ヲ購入シタル費用等ハ特ニ要シタル費用トシテ之ヲ收受スベキモノトス

ノナルモ簡單ナル釘付、繩懸等ハ別ニ費用ノ收受ヲ要セザルモノトス

註四 關東州内各驛著小荷物及貨物ハ滿洲輸入手續ヲ要セザルヲ以テ關東州輸入ニ對スル通關手續代辨手数料ハ收受セズ

註五 通關手續ノ代辨手数料ニ付テハ細則第三十八條參照

第三十條 運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲ストキハ關稅及其ノ他通關ニ要シタル費用等ハ之ヲ立替支辨シ著驛ニ於テ小荷物及貨物ト引換ニ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

註一 植物検査、家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類検査等ノ爲特ニ要シタル費用ノ如キハ運輸機關ニ於テ立替支辨シ置キ本條ニ依リ之ヲ收受スルモノトス

第三十一條 荷受人ガ通關手續代辨手数料、關稅、其ノ他ノ立替金及保管料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ荷送人ヨリ之ヲ收受シタル後荷受人ニ小荷物及貨物ノ引渡ヲ爲スモノトス

輸出入免狀ノ交付ヲ受クルコト能ハズ又其ノ他事情ニ依リ該小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還シタル場合ニ於テハ前項ノ費用ハ小荷物及貨物ト引換ニ荷送人ヨリ之ヲ收受ス

註一 「輸出入免狀」ノ交付ヲ受クルコト能ハザル場合「トハ例ヘバ滿洲國輸入制限品ニ對スル所定ノ許可書ノ不備ナリシ爲輸入申告ヲ爲スモ輸入免許ヲ受ケ得ザル場合ノ如キヲ謂フ

第三十二條 前條ノ場合ニ於テ荷送人ガ支拂ヲ爲サザルトキハ必要ニ應ジ更ニ荷物ノ處置ニ關シ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

荷物ノ性質上荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキハ運輸機關ハ該小荷物及貨物ヲ公賣ニ附スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テ通關手續代辨手数料、關稅其ノ他ノ立替金及保管料ヲ計算シ過剩額ハ之ヲ荷送人ニ返戻シ不足額ハ之ヲ荷送人ヨリ收受ス

註一 本條中「荷物ノ性質上荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキ」トハ小荷物及貨物ガ時日ノ經過ニ因リ著シク價額ヲ減ズル虞アルカ又ハ保管ノ爲過分ノ費用ヲ要スルモノト認メラルル場合ノ如キヲ謂フ

第三十三條 輸出入小荷物及貨物ニ付通關手續上必要ナル證憑書類ノ添附ナキカ又ハ不備ノ爲輸出入免狀ノ交付ヲ受

クルコト能ハザル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

前項ノ通知ヲ發シタル日ヨリ二箇月ヲ經過スルモ荷送人ヨリ何等ノ指圖ナキトキハ荷送人ノ負擔ヲ以テ該小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還スルモノトス但シ荷物ノ性質上荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキハ前條第二項ニ準ジ換價處分ヲ爲スコトアルベシ

第一項ノ場合ニ於テ荷送人ニ對シ通知ヲ發シタル日ヨリ一箇月以内ニ通關手續ヲ終了シ得ザルトキハ一箇月ヲ超ニ通關手續終了ノ日若ハ返還ノ日迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遅延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ發驛ニ返還スル場合ニ在リテハ荷送人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ荷受人ヨリ收受ス

註一 發驛ニ於テ關係書類受領後鐵道ノ輸送途中ニ於テ紛失シタルガ爲一箇月以内ニ之ガ手續ヲ終了スルコト能ハザル場合ノ如キ荷送人ノ責ニ歸スベカラザルモノハ第三項ノ保管料ヲ收受セザルモノトス

第三十四條 日本輸入手續ノ代辦ヲ爲ス場合ニ於テ擔保提供ノ必要アルトキハ荷受人ニ擔保額ヲ通知シ荷受人ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受クルモノトス

註一 關稅定率法第八條ニ規定スル加工又ハ修繕等ノ爲輸入スルモノ及同第九條ニ規定スル輸出品ノ製造ニ充ツル爲輸入スル原料品ニ對シテハ日本輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保(現金又ハ國貨證券)ヲ稅關ニ提供スルヲ要シ此ノ場合ハ之ヲ供託局ニ供託セシメ其ノ供託受領書ヲ稅關ニ提出スルモノトス(關稅法施行規則第十一條參照)

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ自辦

第三十五條 運輸機關ニ於テ輸出入手續ノ代辦ヲ爲サザル場合ノ取扱ハ左ノ各號ニ依ル

一 鐵道省線稅關所在驛所ニ貨物ヲ託送セムトスルトキハ集貨スルモノヲ除キ荷送人ニ於テ豫メ日本輸出手續又ハ積戻手續ヲ爲シ日本輸出免狀又ハ積戻免狀ヲ發驛ニ提出スルモノトス但シ貨物(朝鮮移入要申告貨物及電

球、珓瑯鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、人造絹織物、麻藥類、綿糸、綿製品ヲ除ク)ノ著驛ガ安東驛、圖們驛ナルトキハ日本輸出手續ハ當該著地ニ於テ荷受人之ヲ爲スコトヲ得

二 鐵道省線非稅關所在驛所發安東驛及圖們驛(配達スルモノヲ除ク)著貨物(朝鮮移入要申告貨物及電球、珓瑯鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、人造絹織物、麻藥類、綿絲、綿製品ヲ除ク)ニ對スル日本輸出手續ハ當該著地ニ於テ荷受人之ヲ爲スコトトス

三 鐵道省線稅關所在驛所著貨物ハ配達スルモノヲ除キ著地ニ於テ荷受人之ガ日本輸入手續ヲ爲スコトトス但シ貨物ノ發驛ガ安東驛、圖們驛ナルトキハ朝鮮移出要申告荷物ヲ除キ日本輸入手續ハ發地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

四 左ノ貨物ハ著地ニ於テ荷受人之ガ滿洲輸入手續ヲ爲スコトトス

イ 安東驛著ノモノ

ロ 圖們驛著ニシテ配達ノ取扱ヲ爲サザルモノ

ハ 奉天、新京、八區及龍井驛著ニシテ滿洲内外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲シタルモノ但シ配達スルモノヲ除ク
五 安東驛及圖們驛(集貨スルモノヲ除ク)ニ貨物ヲ託送セムトスルトキハ荷送人ニ於テ豫メ滿洲輸出手續及日本輸入手續(鐵道省線稅關所在驛所著貨物ニ對シ著地ニ於テ日本輸入手續ヲ爲ス場合ヲ除ク)ヲ爲シ滿洲輸出認許書及日本輸入免狀ヲ發驛ニ提出スルモノトス

六 大連港ニ貨物ヲ託送セムトスルトキハ荷送人ニ於テ豫メ滿洲輸出手續ヲ爲シ滿洲輸出認許書ヲ發驛ニ提出スルモノトス

七 第二十三條第二號及第三號ニ依リ荷受人ニ於テ通關手續ヲ自辦スルモノハ其ノ旨及通關手續擔當者居所氏名並ニ通關手續ヲ爲スベキ稅關ヲ小荷物及貨物託送ノ發驛ニ通告スルモノトス

註一 第六號ノ通告ハ荷送人ヲシテ荷物明細書ヲ提出セシメ之ニ其ノ要項ヲ記入セシムルモノナリ（細則第四十五條參照）
 註二 「滿洲輸出認許書」トハ滿洲輸出免許ノ證トシテ發給セラルル免狀ニシテ日本ニ於ケル日本輸出免狀ト同一性質ノモノナリ

第三十六條 運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲サザルモノニ對シテハ荷送人ニ於テ小荷物及貨物託送ノ際第二十五條ニ定ムル荷物明細書ヲ發驛ニ提出スルモノトス

第三十七條 荷送人指定ノ通關手續擔當者ガ下關、安東、羅津其ノ他ノ輸出入驛港ニ於テ運送中ノ小荷物及貨物ニ對シテ通關手續ヲ爲ス場合ニ於テ通關手續擔當者ハ當該驛港ガ荷物到着ノ通知ヲ發シタル日ヨリ二日（稅關ノ休日ヲ除ク）以内ニ運輸機關保管ノ下ニ通關手續ヲ終了スベキモノトス但シ二日以内ニ通關手續擔當者ガ通關手續ニ著手セザルトキハ當該驛港ハ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

前項ノ期間内ニ通關手續擔當者ガ通關手續ヲ終了セザルトキハ二日ヲ超エ通關手續終了ノ日若ハ返還ノ日迄ノ期間ニ對シテ著荷物引取遲延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ荷送人指定ノ通關手續擔當者ヨリ收受ス
 荷送人指定ノ通關手續擔當者ガ前項保管料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ發驛ニ返還スル場合ニ在リテハ荷送人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

第二項ノ規定ハ著驛ニ於テ配達ヲ爲スベキ小荷物及貨物ニシテ荷受人ガ日本輸入手續及滿洲輸入手續ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

註一 稅關ノ開關時間及休日ハ左ノ通トス

イ 日 本 内 地

第十七條註參照

ロ 滿 洲

午前九時ヨリ午後四時迄トシ休日ハ左ノ如シ

一 大 連 稅 關

- 歲 首 陽曆一月一日、二日及三日
- 春 節 陰曆正月一日ニ相當スル陽曆ノ日
- 皇 帝 萬 壽 陰曆正月十三日ニ相當スル陽曆ノ日
- 建 國 日 陽曆三月一日
- 訪日宣詔記念日 陽曆五月二日
- 端 午 節 陰曆五月五日ニ相當スル陽曆ノ日
- 中 秋 節 陰曆八月十五日ニ相當スル陽曆ノ日
- 日 曜 日
- 日本ノ祭日

二 清津、羅津及上三峰辦公處

朝鮮稅關ノ休日ニ同ジ（圖們江國境列車直通運轉及稅關手續簡捷ニ關スル協定期則第二十八條ニ依ル）

三 大連稅關以外ノ各稅關

- 歲 首 陽曆一月一日、二日及三日
- 春 節 陰曆正月一日ニ相當スル陽曆ノ日
- 萬 壽 節 陽曆二月六日
- 元 宵 節 陰曆正月十五日ニ相當スル陽曆ノ日
- 建 國 祭 陽曆三月一日
- 春 丁 祀 孔 陰曆二月上丁日ニ相當スル陽曆ノ日
- 訪日宣詔記念日 陽曆五月二日
- 端 午 節 陰曆五月五日ニ相當スル陽曆ノ日
- 中 秋 節 陰曆八月十五日ニ相當スル陽曆ノ日
- 秋 丁 祀 孔 陰曆八月上丁日ニ相當スル陽曆ノ日
- 年 末 陽曆十二月三十一日

註二 第一項ノ「其ノ他ノ輸出入驛港」トハ大連港、圖們、上三峰、清津、神戶港、門司港、敦賀港、新潟港ノ如キ國境又ハ開港驛ヲ謂フ

第四節 手荷物及附隨小荷物ノ通關手續

第三十八條 手荷物及附隨小荷物ノ通關手續ハ安東、圖們又ハ上三峰ノ輸出入驛ヲ經由スルモノニ在リテハ當該驛ノ列車停車中ニ於テ、大阪商船株式會社大連航路ニ在リテハ日本稅關檢査ハ門司及神戶ノ各港ニ於テ、滿洲稅關檢査ハ大連埠頭ニ於テ運輸機關保管ノ下ニ旅客ノ自辨トス

註一 滿洲發朝鮮線著列車ニシテ安東驛ヲ未明ニ發車スルモノハ朝鮮内列車進行中日出發日本輸入檢査ヲ爲ス場合アリ

註二 關釜間航路及北鮮航路經由ノモノニ在リテハ同航路連絡船内ニ於テモ朝鮮稅關ノ通關檢査ヲ受クルモノトス

註三 近海郵船會社神戶—長崎—大連航路ニ在リテハ現在稅關官吏ノ乗込ナキニ付往航ハ大連埠頭ニ於テ、復航ハ長崎港ニ於テ通關檢査ヲ受クルモノトス

第三十九條 旅客方前條ノ通關檢査ヲ受ケザル場合荷物ニ鎖錠封印ナキモノハ運輸機關ニ於テ稅關官吏ノ檢査ニ立會シ課稅品ナキトキハ其ノ儘發送ノ取扱ヲ爲スモノトス

前項ノ場合荷物中ニ課稅品アルカ若ハ荷物ニ鎖錠封印アルモノハ當該輸出入驛港ニ留置セラルベシ此ノ場合ニ於テハ該荷物到着ノ日ヨリ七日間無料ニテ之ヲ保管シ其ノ翌日ヨリ當該驛港ニ於ケル通關手續終了ノ日迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遲延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ收受ス

運輸機關ニ於テ前項手荷物及附隨小荷物ノ託送者ノ所在ヲ知り得タルトキハ直ニ其ノ荷物ノ留置シアル驛港ヲ通告シ託送者ノ指示ニ依リ之ヲ處理スルモノトス此ノ場合託送者ノ請求アルトキハ運輸機關ニ於テ之ガ通關手續ヲ代辨ス

第二十八條乃至第三十二條、第三十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲

ス場合ニ之ヲ準用ス

註一 第二十八條ハ荷物ノ解裝及見本ノ提供、第二十九條ハ通關手續代辨手数料及其ノ他費用、第三十條ハ關稅其ノ他ノ立替

第三十一條ハ立替金其ノ他ヲ荷送人ヨリ收受スル場合、第三十二條ハ換價處分、第三十三條ハ通關事故ニ關スル規定ナリ

註二 手廻品ニ對シテハ運輸機關ニ於テ檢査ノ際關與セザルモノトス

第四十條 前條第二項ニ依リ輸出入驛港ニ留置セラルベキ手荷物及附隨小荷物ガ第二十四條ノ稅關所在驛所及東京、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戶ノ各市内著ナルトキハ輸出國稅關ニ對スル輸出手續濟ノモノニ限リ當該驛迄日本輸入手續又ハ滿洲輸入手續未済荷物トシテ外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲シ該著驛ニ於テ之ガ引渡ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ託送者ハ著地ニ於テ日本輸入手續又ハ滿洲輸入手續ヲ爲スモノトス此ノ場合ニ於テモ託送者ノ請求アルトキハ運輸機關ニ於テ其ノ手續ヲ代辨ス

第二十八條乃至第三十二條、第三十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ニ依リ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テハ既收運賃ニ過不足ヲ生ズルコトアルモ運賃ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲サズ

第二項ノ場合ニ於テ荷物到着ノ通知ヲ發シタル日(通知ヲ發セザルモノニ在リテハ到着シタル日)ヨリ二日以内ニ通關手續終了セザルトキハ其ノ翌日ヨリ引渡迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遲延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ收受ス

註一 前條註參照

註二 第一項ノ東京及其ノ他市内著ハ左ノ驛迄運送スルモノトス

東京市内著ナルトキハ東京驛、橫濱市内著ナルトキハ橫濱驛、名古屋市内著ナルトキハ名古屋驛、京都市内著ナルトキハ京都驛、大阪市内著ナルトキハ大阪驛、神戸市内著ナルトキハ神戸驛

第四十一條 第三十九條第二項及前條第一項ニ依リ輸出入驛港又ハ著地稅關所在驛所ニ留置ノ手荷物及附隨小荷物ニシテ鎖錠封印アルモノハ到着ノ日ヨリ一箇月ヲ經過スルモ託送者ノ所在不明ナルトキハ運輸機關ハ稅關官吏ノ立會ヲ求メ託送者ノ負擔ヲ以テ解裝シ内容ノ検査ヲ爲シ託送者ヲ知り得タルトキハ第三十九條第三項ニ準ジ取扱ヲ爲ス

第四章 内地臺灣間

第一節 通 則

第四十二條 小荷物及貨物ノ通關手續ハ左ニ掲グルモノヲ除キ運輸機關ニ於テ之代辦ス

一 荷送人ニ於テ小荷物及貨物託送ノ際通關手續ヲ自辨スル旨申告アリタル場合ニ於ケル臺灣移出手續

二 運輸機關ニ於テ代辦ヲ爲サザル旨公告シタルモノニ對スル臺灣移出手續

註一 荷主ニ於テ通關手續ヲ自辨スルモノノ取扱方ニ付テハ第五十三條及第五十四條參照

註二 内地臺灣間發着ニ對シテハ細則第六十五條ニ規定スル小荷物及貨物以外ハ特ニ通關手續ヲ要セズ内地相互間發着ノ場合ト何等異ルコトナシ

註三 第二號ニ依リ運輸機關ニ於テ代辦ヲ爲サザル場合ハ其ノ都度之ヲ通達ス

第四十三條 内地臺灣間ニ於ケル稅關所在驛所ハ左ノ通トス

一 大阪商船株式會社及近海郵船株式會社共同基隆航路

神戸港、下關港、門司港、基隆港

二 大阪商船株式會社高雄航路

神戸港、下關港、門司港、高雄港

第二節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ代辦

第四十四條 運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辦ヲ爲スベキ小荷物及貨物(植物ヲ除ク)ヲ託送セムトスル場合ハ荷送人ハ荷物一口毎ニ運輸機關所定ノ荷物明細書ヲ發驛ニ提出スルモノトス

前項荷物明細書ノ式紙ハ關係驛所ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス荷送人ハ該式紙ニ必要事項ヲ記入シ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

荷物明細書ノ記載不備ニ基因スル不利益ニ付テハ運輸機關ハ其ノ責ニ任ゼズ

註一 荷物明細書ハ細則第六十六條ニ規定スル通關擔當驛ニ於テ稅關ニ對シ作成スル各種申告書ノ基礎ヲ爲スモノナリ

註二 第三項ノ「不利益」トハ例ヘバ荷物明細書ノ記載方不備ノ爲荷主ノ豫期以上ノ課稅アリタル場合ノ如キヲ謂フ

註三 荷物明細書ノ記載方ニ付テハ荷物明細書裏面參照

註四 内地又ハ臺灣移入要検査植物ニ對シテハ第一項ニ依リ荷物明細書ノ提出ヲ要セザルモノトス

第四十五條 通關手續ノ代辦ヲ爲スベキ小荷物及貨物ニ對シ通關手續上特殊取扱ヲ受ケムトスルトキハ小荷物及貨物

託送ノ際發驛ニ其ノ要旨ヲ申告シ且必要書類ヲ提出スルコトヲ要ス

第四十六條 荷送人ハ通關手續ニ關シ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證等ヲ要スル小荷物及貨物ヲ託送セムトスルトキハ之ガ必要書類ヲ發驛ニ提出スベキモノトス

前項書類ノ添附ナキカ又ハ其ノ不備ニ基因スル不利益ニ付テハ運輸機關ハ其ノ責ニ任ゼズ

註一 臺灣移出入禁制、制限及取締品ノ範圍竝ニ移出人ニ關シ添附ヲ要スル必要書類ニ付テハ細則第七十條參照

註二 第二項ノ「不利益」トハ必要書類ノ添附ナカリシ爲臺灣移入許可ヲ受クルコト能ハズ發驛ニ小荷物及貨物ヲ返還スル場合ノ返還運賃ヲ荷送人ノ負擔トナスガ如キヲ謂フ

第四十七條 通關手續ノ代辦ヲ爲ス小荷物及貨物ニ對シテハ稅關ノ検査ヲ受クル爲必要アルトキハ其ノ包裝ヲ解キ又ハ一部ヲ見本トシテ稅關ニ納付スルコトアルベシ

第四十八條 運輸機關ニ於テ施行スル通關手續ノ代辦ニ對シテハ別ニ定ムル手数料ヲ荷受人ヨリ收受ス

通關検査ノ際解装、復装其ノ他ノ爲特ニ要シタル費用ハ荷受人ヨリ收受ス

註一 本條第一項ノ料金ハ無貨扱小荷物及貨物並ニ運輸機關ノ手ヲ離レズシテ返還サルル場合ノ復路ノ手續ニ對シテハ之ヲ收受セザルモノトス

註二 解装、復装等ノ爲特ニ人夫ヲ傭入レ又ハ復装ノ爲材料ヲ購入シタル費用等ハ特ニ要シタル費用トシテ之ヲ收受スベキモノナルモ簡單ナル釘付、繩懸等ハ別ニ費用ノ收受ヲ要セザルモノトス

註三 通關手續ノ代辨手数料ニ付テハ細則第六十七條參照

第四十九條 運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲ストキハ關稅及其ノ他通關ニ要シタル費用等ハ之ヲ立替支辨シ著驛

ニ於テ小荷物及貨物ト引換ニ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

註一 植物検査、家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類検査等ノ爲特ニ要シタル費用ノ如キハ運輸機關ニ於テ立替支辨シ置キ本條ニ依リ之ヲ收受スルモノトス

第五十條 荷受人ガ通關手續代辨手数料、關稅其ノ他ノ立替金及保管料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ荷受人ヨリ之ヲ收受シタル後荷受人ニ小荷物及貨物ノ引渡ヲ爲スモノトス

移出入ノ許可ヲ受クルコト能ハズ又ハ其ノ他ノ事情ニ依リ該小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還シタル場合ニ於テハ前項ノ費用ハ小荷物及貨物ト引換ニ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

註一 「移出入ノ許可ヲ受クルコト能ハザル場合」トハ例ヘバ臺灣移入制限品ニ對スル所定ノ許可書ノ不備ナリシ爲臺灣移入申告ヲ爲スモ臺灣移入免許ヲ受ケ得ザル場合ノ如キヲ謂フ

第五十一條 前條ノ場合ニ於テ荷受人ガ支拂ヲ爲サザルトキハ必要ニ應ジ更ニ荷物ノ處置ニ關シ發驛ヲ經テ荷受人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

荷物ノ性質上荷受人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキハ運輸機關ハ該小荷物及貨物ヲ公賣ニ附スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テ通關手續代辨手数料、關稅其ノ他ノ立替金及保管料ヲ計算シ過剩額ハ之ヲ荷受人ニ返戻シ不足額ハ

之ヲ荷受人ヨリ收受ス

註一 本條中「荷物ノ性質上荷受人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキ」トハ小荷物及貨物ガ時日ノ經過ニ因リ著シク價額ヲ減ズル虞アルカ又ハ保管ノ爲過分ノ費用ヲ要スルモノト認メラルル場合ノ如キヲ謂フ

第五十二條 移出入小荷物及貨物ニ付通關手續上必要ナル證書類ノ添附ナキカ又ハ不備ノ爲移出入免狀ノ交付ヲ受クルコト能ハザル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ發驛ヲ經テ荷受人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

前項ノ通知ヲ發シタル日ヨリ二箇月ヲ經過スルモ荷受人ヨリ何等ノ指圖ナキトキハ荷受人ノ負擔ヲ以テ該小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還スルモノトス但シ荷物ノ性質上荷受人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキハ前條第二項ニ準ジ換價處分ヲ爲スコトアルベシ

第一項ノ場合ニ於テ荷受人ニ對シ通知ヲ發シタル日ヨリ一箇月以内ニ通關手續ヲ終了シ得ザルトキハ一箇月ヲ超エ通關手續終了ノ日若ハ返還ノ日迄ノ期間ニ對シ到著荷物引取遅延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ發驛ニ返還スル場合ニ在リテハ荷受人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ荷受人ヨリ收受ス

註一 發驛ニ於テ關係書類受領後鐵道ノ輸送途中ニ於テ紛失シタルガ爲一箇月以内ニ之ガ手續ヲ終了スルコト能ハザル場合ノ如キ荷受人ノ責ニ歸スベカラザルモノハ第三項ノ保管料ヲ收受セザルモノトス

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ自辨

第五十三條 第四十二條第一號ニ依リ荷受人ニ於テ特ニ通關手續ヲ自辨セムトスルトキハ其ノ旨及通關手續擔當者居所氏名竝ニ通關手續ヲ爲スベキ稅關ヲ小荷物及貨物託送ノ際發驛ニ通告スルモノトス

註一 本條ノ通告ハ荷受人ヲシテ荷物明細書ヲ提出セシメ之ニ其ノ要項ヲ記載セシムルモノナリ(細則第七十四條參照)

第五十四條 荷受人指定ノ通關手續擔當者ガ神戸港、下關港、門司港、基隆港又ハ高雄港ノ移出入港ニ於テ運送中ノ小荷物及貨物ニ對シ通關手續ヲ爲ス場合ニ於テ通關手續擔當者ハ當該驛ガ荷物到著ノ通知ヲ發シタル日ヨリ二

日(税關ノ休日ヲ除ク)以内ニ運輸機關保管ノ下ニ通關手續ヲ終了スベキモノトス但シ二日以内ニ通關手續擔當者方通關手續ニ著手セザルトキハ當該驛ハ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

前項ノ期間内ニ通關手續擔當者方通關手續ヲ終了セザルトキハ二日ヲ超エ通關手續終了ノ日若ハ返還ノ日迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遅延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ荷送人指定ノ通關手續擔當者ヨリ收受ス

荷送人指定ノ通關手續擔當者方前項保管料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ發驛ニ返還スル場合ニ在リテハ荷送人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ荷受人ヨリ收受ス

第二項ノ規定ハ著驛ニ於テ配達ヲ爲スベキ小荷物及貨物ニシテ荷受人ガ臺灣移入手續ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

註一 税關ノ開關時間及休日ハ左ノ通トス

イ 内地税關
第十七條註參照

口 臺灣税關
休日ヲ除クノ外左ノ如シ
五月一日—九月三十日 午前九時—午後四時
十月一日—四月三十日 午前十時—午後五時
休日ハ祭日及日曜日トス 但シ土曜日ハ午後四時迄トス

第五章 日本歐洲間

第一節 通則

第五十五條 小荷物及貨物ニ對スル通關手續ハ税關所在驛所ニ於ケル輸出入手續ヲ除キ關係運輸機關ニ於テ之ヲ代辨ス

第五十六條 日本歐洲間ニ於ケル鐵道省線ノ税關所在驛所ハ左ノ通トス
東京、汐留、横濱、東横濱、名古屋、笹島、京都、梅小路、大阪、神戸、湊川、下關、長崎

第二節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ代辨

第五十七條 通關手續代辨ノ小荷物及貨物ヲ託送セムトスル場合ハ荷送人ハ荷物一口毎ニ左記ニ依リ必要書類ヲ發驛ニ提出スルモノトス

二 貨物ノ場合

關係國	代辨手續		必要書類及通數	備考
	輸入	輸出		
日本	仕入書 荷物明細書 許可證又ハ検査證等	仕入書 荷物明細書 報告書等ヲ要スルモノニ限ル	仕入國ニ於テ作成シ作成者ノ署名アルモノ 外國側關係驛所ニ備付アリ 關係官署ノ許可證又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證ヲ要スルモノニ限ル	式紙ハ關係驛所ニ備付アリ 滿洲里經由ノ場合ニ限ル 關係官署ノ許可證又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證、爲替輸出報告書等ヲ要スルモノニ限ル
滿洲國	荷物明細書		外國側關係驛所ニ備付アリ	式紙ハ日本輸出入ニ對スルモノニ同ジ
ソウイェト邦	原產地證明書			セベジ經由、キンギセツブ經由共、本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ
エストニヤ	仕入書 國際稅關申告書 國際稅關申告書			本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ
ラトヴィヤ	國際稅關申告書 國際稅關申告書			本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ

リトワニヤ	輸入	國際稅關申告書二	本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ
	通過	國際稅關申告書一	
ポーランド	輸入	國際稅關申告書二	本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ
	通過	國際稅關申告書一	
ドイツ	輸入	國際稅關申告書二 輸入許可證	本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ
	通過	國際稅關申告書一 通過許可證	本書ノ發行ニ付テハ小荷物ノ場合ニ同ジ

仕入書ヲ要スル場合ニシテ之ヲ添附スルコト困難ナル小荷物及貨物ニ對シテハ仕入書ノ添附ナキ場合ト雖其ノ運送ヲ受託スルコトアルベシ

仕入書ノ添附ナキ場合又ハ必要書類ノ記載不備ニ基因スル不利益ニ付テハ運輸機關ハ其ノ責ニ任ゼズ

註一 「仕入書ヲ添附スルコト困難ナル小荷物及貨物」トハ引越荷物、贈答ニ依リ得タルモノ、自己ノ製作ニ係ルモノ等ノ如ク

仕入書ヲ作成スルコト困難ナルモノヲ謂フモノナルガ之等ニ對シテモ當該稅關官吏ニ於テ之ガ提出ヲ要セズト認メタル場合ノ外關稅ノ賦課ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ザルモノナリ

註二 必要書類ノ作成方ニ付テハ細則第八十八條參照

註三 輸入禁制品及制限品並ニ特ニ書類ヲ要スル物品ニ付テハ細則第九十一條參照

註四 關係國ノ商務官領事ノ駐在左ノ如シ

一 ソウイェト聯邦

イ 商務官

東京 東京市麻布區新龍土町十二番地

ロ 領事

東京 東京市麻布區狸穴町一番地

神戸 神戸市北野町四丁目九五番地

敦賀 福井縣敦賀市川崎

二 ラトヴィヤ領事

東京 東京市赤坂區板坂町一丁目

三 ポーランド領事

東京 東京市芝區三田綱町九番地ポーランド公使館内

大阪 大阪市西區土佐堀通一丁目大同生命ビル内(名譽領事)

四 チェツコスロヴァキヤ領事

東京 東京市京橋區銀座四丁目聖書會館内(名譽領事)

横濱 横濱市山下町九二番地(名譽領事)

大阪 大阪市北濱町一丁目野村ビルディング内(名譽領事)

五 ドイツ領事

横濱 横濱市山下町五一番地

大阪 大阪市北區宗是町大阪ビルディング内

神戸 神戸市東町一一五番地

六 スウェーデン領事

横濱 横濱市山下町七番地(名譽領事)

神戸 神戸市江戶町九三番地(名譽領事)

下關 下關市唐戶町五番地(名譽領事)

七 イタリヤ領事

横濱 横濱市中區山手町三二番地

神戸 神戸市山本通

長崎 長崎市大浦町六番地英國領事館氣付(代理領事)

註五 ソウイェト聯邦通過ニ必要ナル原產地證明書ノ發行ヲ爲スコトヲ委託セラレタル商工會議所ハ左ノ如シ

静岡商工會議所
名古屋商工會議所
京都商工會議所
神戸商工會議所
下關商工會議所
門司商工會議所
長崎商工會議所
福井商工會議所
金澤商工會議所

第五十八條 通關手續代辨ノ小荷物及貨物ニ對シ關稅ノ免除、擔保ノ解除及其ノ他通關手續上ノ特殊取扱ヲ受ケムトスルトキハ小荷物及貨物託送ノ際發驛ニ其ノ要旨ヲ申告シ且必要證憑書類ヲ提出スルコトヲ要ス

荷送人ニ於テ輸出免狀其ノ他ノ廻付ヲ受ケムトスル場合又ハ荷受人ニ送付ヲ請求セムトスル場合ハ小荷物及貨物託送ノ際其ノ旨發驛ニ申告スルモノトス

荷送人ニ於テ小荷物及貨物託送ノ際發驛ニ對シ前項ノ申告ヲ爲サザル場合ニ於テハ輸出又ハ輸入免狀ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ限り運輸機關ハ輸出又ハ輸入免狀ノ廻付若ハ送付ノ請求ニ應ズルモノトス

註一 第一項ノ日本稅關ニ對スル必要書類ニ付テハ細則第四十條參照

第五十九條 通關手續ノ代辨ヲ爲ス小荷物及貨物ニ對シテハ稅關ノ検査ヲ受ケル爲必要アルトキハ其ノ包裝ヲ解キ又ハ一部ヲ見本トシテ稅關ニ納付スルコトアルベシ

第六十條 通關手續ノ代辨ヲ爲ストキハ關稅其ノ他ノ稅金及通關ノ爲特ニ要シタル費用ハ之ヲ立替支辨シ著驛ニ於テ小荷物及貨物ト引換ニ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

日本側運輸機關ニ於テ施行スル通關手續ハ代辨ニ對シテハ別ニ定ムル手数料ヲ荷受人ヨリ收受ス

註一 日本側運輸機關ニ於ケル通關手續ノ代辨手数料ニ付テハ細則第八十七條參照
註二 外國側運輸機關ニ於テハ原則トシテ通關手續ノ代辨手数料ヲ收受ス

第六十一條 荷受人ガ前條ニ依ル通關手續代辨手数料關稅其ノ他ノ立替金及保管料ノ支拂ヲ爲サザルトキハ荷送人ヨリ之ヲ收受シタル後荷受人ニ小荷物及貨物ノ引渡ヲ爲スモノトス

輸出入免狀ノ交付ヲ受クルコト能ハズ又ハ其ノ他ノ事情ニ依リ該小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還シタル場合ニ於テハ前項ノ費用ハ小荷物及貨物ト引換ニ荷送人ヨリ之ヲ收受ス

第六十二條 前二條ノ場合ニ於テ荷受人又ハ荷送人ガ運輸機關ノ立替支辨シタル關稅、手数料及其ノ他ノ費用ヲ支拂ハザルトキハ必要ニ應ジ更ニ荷物ノ處置ニ關シ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

荷物ノ性質上荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキハ運輸機關ハ該小荷物及貨物ヲ公賣ニ附スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テ關稅、手数料及其ノ他ノ費用ヲ計算シ過剩額ハ之ヲ荷送人ニ返戻シ不足額ハ之ヲ荷送人ヨリ收受ス

註一 本條中「荷物ノ性質上荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキ」トハ小荷物及貨物が時日ノ經過ニ因リ著シク價格ヲ減ズル虞アルカ又ハ保管ノ爲過分ノ費用ヲ要スルモノト認メラルル場合ノ如キヲ謂フ

第六十三條 輸出入小荷物及貨物ニ付通關手續上必要ナル證憑書類ノ添附ナキカ又ハ不備ノ爲輸出入免狀ノ交付ヲ受クルコト能ハザル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ求ムルモノトス

前項ノ通知ヲ發シタル日ヨリ三箇月ヲ經過スルモ荷送人ヨリ何等ノ指圖ナキトキハ荷送人ノ負擔ヲ以テ該小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還スルモノトス但シ荷物ノ性質上荷送人ノ指圖ヲ俟ツコト能ハザルトキハ前條第二項ニ準ジ換價處分ヲ爲スコトアルベシ

第一項ノ場合ニ於テ荷送人ニ對シ通知ヲ發シタル日ヨリ一箇月以内ニ通關手續ヲ終了シ得ザルトキハ一箇月ヲ超エ通關手續終了ノ日若ハ返還ノ日迄ノ期間ニ對シ到着荷物引取遲延ノ場合ニ準ジ當該運輸機關所定ノ保管料ヲ發

驛ニ返還スル場合ニ在リテハ荷送人ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ荷受人ヨリ收受ス

註一 發驛ニ於テ關係書類受領後鐵道ノ輸送途中ニ於テ紛失シタルガ爲一箇月以内ニ之ガ手續ヲ終了スルコト能ハザル場合ノ如キ荷送人ノ責ニ歸スベカラザルモノハ第三項ノ保管料ヲ收受セザルモノトス

第六十四條 日本輸入手續ノ代辨ヲ爲ス場合ニ於テ擔保提供ノ必要アルトキハ荷受人ニ擔保額ヲ通知シ荷受人ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受クルモノトス

註一 擔保ノ提供ニ付テハ細則第百六條參照

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ自辨

第六十五條 荷送人ニ於テ日本輸出手續ヲ爲スベキ小荷物及貨物ヲ託送セムトスルトキハ豫メ之ガ手續ヲ爲シ輸出免狀又ハ積戻免狀ヲ發驛ニ提出スルモノトス

鐵道省線稅關所在驛所著小荷物及貨物ハ著地ニ於テ荷受人自ラ日本輸入手續ヲ爲スモノトス

第六十六條 運輸機關ニ於テ日本輸出入手續ヲ爲サザル小荷物及貨物ニ對シテハ滿洲里經由ノ場合ニ限り荷送人ハ小荷物及貨物託送ノ際第五十七條ニ定ムル荷物明細書ヲ發驛ニ提出スルモノトス

第五十七條ニ定ムル外國側輸入ニ必要ナル書類ハ運輸機關ニ於テ輸入手續ノ代辨ヲ爲サザル場合ニ於テモ小荷物及貨物託送ノ際發驛ニ提出スルモノトス

第六章 日本中華民國間

第七十條ノ二 小荷物及貨物ノ通關手續ハ左ニ掲グル貨物ヲ除キ運輸機關ニ於テ之ヲ代辨ス

番號	輸出入手續ノ別	發	又	ハ	著
一	日本輸出手續	省線稅關所在驛所發貨物但シ集貨スルモノヲ除ク			

二	日本輸入手續	省線稅關所在驛所著貨物但シ配達スルモノヲ除ク			
三	中華民國輸入手續	山海關驛著貨物但シ配達スルモノヲ除ク			
四	中華民國輸出手續	山海關驛發貨物但シ集貨スルモノヲ除ク			

第七十一條 日本中華民國間ニ於ケル稅關所在驛所ハ左ノ通トス

一 内地

イ 鐵道省線

東京、沙留、横濱、東横濱、横濱港、名古屋、笹島、京都、梅小路、大阪、梅田、神戸、湊川、神戸港、下關、長崎、長崎港

□ 大阪商船株式會社航路及近海郵船株式會社航路

神戸港、下關港、門司港

ハ 北日本汽船株式會社航路

新潟港、敦賀港

二 朝鮮

イ 朝鮮總督府鐵道局線

釜山(朝鮮經由ノ植物検査ニ限ル)

□ 南滿洲鐵道株式會社鐵道總局線

上三峰、清津、羅津(上三峰、清津、羅津ハ日滿兩國稅關所在驛)

三 滿洲

イ 南滿洲鐵道株式會社鐵道總局線

安東、圖們、大連埠頭（安東、圖們ハ日滿兩國稅關所在驛）

四 中華民國

イ 北支事務局線

山海關（滿洲國及中華民國兩國稅關所在驛）、天津、塘沽

ロ 大阪商船株式會社航路及近海郵船株式會社航路

天津港、塘沽港

第七十二條 通關手續代辦ノ小荷物及貨物ヲ託送セムトスル場合ハ荷送人ハ荷物一口毎ニ作成者ノ捺印アル仕入書及運輸機關所定ノ荷物明細書各一通ヲ提出スルモノトス

前項荷物明細書ノ式紙ハ關係驛所ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス荷送人ハ該式紙ニ必要事項ヲ記入シ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

第七十二條ノ二 荷送人ハ輸出又ハ輸入ニ關シ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證等ヲ要スル小荷物及貨物ヲ託送セムトスルキハ之ガ必要書類ヲ發驛ニ提出スルコトヲ要ス

註一 輸出入禁制、制限及取締品ノ範圍並ニ輸出入ニ關シ添附ヲ要スル必要書類ニ付テハ細則第一百三條參照

第七十二條ノ三 運輸機關ニ於テ施行スル通關手續ノ代辦ニ對シテハ別ニ定ムル手数料ヲ荷送人又ハ荷受人ヨリ收受ス

通關検査ノ際解裝、復裝其ノ他ノ爲特ニ要シタル費用ハ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

註一 本條第一項ノ料金ハ無賃扱小荷物及貨物並ニ新聞紙雜誌及運輸機關ノ手ヲ離レズシテ返還サルル場合ノ復路ノ手續ニ對シテハ之ヲ收受セザルモノトス

註二 解裝、復裝等ノ爲特ニ人夫ヲ傭入レ又ハ復裝ノ爲材料ヲ購入シタル費用等ハ特ニ要シタル費用トシテ之ヲ收受スベキモ

ノナルモ簡單ナル釘付、繩懸等ハ別ニ費用ノ收受ヲ要セザルモノトス

註三 通關手續ノ代辦手数料ニ付テハ細則第一百十一條ノ二參照

第七十三條 手荷物ノ通關手續ハ運輸機關保管ノ下ニ旅客自辨スルモノトス
前項ノ稅關検査箇所ハ左ノ通トス

一 日本稅關

神戸港、門司港、安東、圖們、上三峰

二 滿洲國稅關

安東、圖們、上三峰、大連埠頭、山海關

三 中華民國稅關

山海關、天津港、塘沽港

註一 關釜間航路及北鮮航路經由ノモノニ在リテハ同航路連絡船内ニ於テモ朝鮮稅關ノ通關検査ヲ受クルモノトス但シ北日本汽船會社北鮮航路ニシテ浦鹽斯德ニ延航スルモノニ在リテハ稅關官吏ノ乗込ナキニ付清津又ハ羅津ノ各港ニ於テ通關検査ヲ受クルモノトス

第七十四條 前各條ニ定ムルモノヲ除キ第三章ノ規定ヲ準用ス

第七章 其ノ他

第七十五條 左ノ航路トノ間ニ發著スル手荷物、小荷物及附隨小荷物ニ對スル船車接續地點ニ於ケル通關手續ハ第三章ノ規定ヲ準用ス

北日本汽船株式會社浦鹽斯德航路

近海郵船株式會社天津航路

大阪商船株式會社天津航路及青島航路
日本郵船株式會社上海航路及青島航路
原田汽船株式會社青島航路

第八章 外國貨物

第七十六條 外國貨物ヲ託送セムトスルトキハ荷送人ハ運送免狀ヲ發驛ニ提出スルモノトス

註一 運送免狀ニハ輸出免狀又ハ積戻免狀ニシテ運送免狀ヲ兼ヌルモノアリ

前項ノ積戻免狀トハ外國ヨリ到着シタル外國貨物ヲ保稅地域若ハ開港ヨリ輸入手續ヲ爲サズ（内國貨物ト爲サザルノ意）再ビ外國ニ仕向クル場合稅關ニ申告シ其ノ免狀ノ證トシテ交付セラルル免狀ナリ

註二 左ノ場合ノ運送免狀ハ孰レモ運輸機關ニ於テ手續ヲ爲スニ付此ノ場合ノ運送免狀ハ發驛ニ提出ヲ要セザルモノトス

イ 省線發滿洲内稅關所在驛所著小荷物及貨物ニシテ安東著驛間外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲スモノ

ロ 滿洲發内地稅關所在驛所著小荷物及貨物

註三 内地ニ於テ謂フ外國貨物ノ意義ニハ左ノ二アリ（第二條參照）

イ 輸入手續未済ノママ保稅地域ニ在ルモノ及輸出手續済ノモノヲ開港間、保稅地域間及開港保稅地域間ニ限り稅關ノ免狀ヲ受ケテ運送ヲ爲スモノ

ロ 内地ト滿洲間ニ發著スル運帶小荷物及貨物ヲ輸出手續済又ハ輸入手續未済ノママ稅關所在驛所相互間又ハ通關擔當驛ト稅關所在驛所間ニ限り稅關ノ免狀ヲ受ケテ運送ヲ爲スモノ

第七十七條 外國貨物ノ取扱ヲ爲ス驛ハ左ノ通トス

一 一般外國貨物取扱驛

東海道線

東京、橫濱、名古屋、笹島、京都、梅小路、大阪、梅田、神戸、湊川、汐留、東橫濱、橫濱港、清水港、名

古屋港、小野濱、神戸港、海神奈川、龜崎、半田、武豐、武豐港、安治川口、櫻島

北陸線

敦賀、敦賀港、七尾、七尾港、伏木

山陽線

尾道、糸崎、徳山、下關、和田岬、下關港、宇野

山陰線

濱田、東萩、萩、玉江、海舞鶴、宮津、境港

關西線

四日市、四日市港、浪速、大阪港

東北線

青森

奥羽線

船川

信越線

沼垂、新潟

豫讃線

今治

鹿兒島線

門司、大里、博多、大牟田、鹿兒島、外濱、門司港、三角

長崎線

長崎、長崎港、西唐津

筑豊線

若松

函館線

函館、小樽、濱小樽、手宮

留萌線

留萌

室蘭線

本輪西、御崎、室蘭

根室線

釧路、根室、濱釧路、根室港

釜山營業所

宇部鐵道株式會社線

宇部新川

二 別ニ指定スル保稅工場又ハ保稅倉庫ニ發著スル所定藏置貨物ニ限り取扱ヲ爲ス驛ハ別ニ之ヲ定ム

註一 外國貨物ハ陸路又ハ海路ニ由リ開港間、保稅地域間又ハ開港ト保稅地域トノ間ニ限り稅關ノ免許ノモトニ運送ヲ爲シ得ルモノナリ

註二 保稅地域トハ稅關構内、保稅倉庫、保稅工場及稅關長ガ外國貨物ヲ藏置シ得ベキ場所トシテ指定シ又ハ特許シタル場所

ヲ謂フ(關稅法第二十九條ノ二參照)

註三 一般外國貨物取扱驛ニ於テハ豫メ稅關ノ免許ヲ得テ驛構内ノ一部地域ヲ限り保稅地域ヲ設定シタルモノアリ

一 内地相互間

イ 一般外國貨物取扱驛間ニ發著スル小荷物及貨物

ロ 別ニ規定スル保稅工場又ハ保稅倉庫所在驛所間ニ發著スル所定藏置貨物

ハ イ及ロノ驛間ニ發著スル所定藏置貨物

二 内地朝鮮間

イ 前號イノ一般外國貨物取扱驛ト朝鮮内稅關所在驛所又ハ鐵道總局線トノ間ニ發著スル小荷物及貨物

ロ 前號ロノ保稅工場又ハ保稅倉庫所在驛所ト朝鮮内稅關所在驛所又ハ鐵道總局線トノ間ニ發著スル所定藏置貨物

三 滿洲相互間

省線發鐵道總局線内指定ノ稅關所在驛所ニ到著スルモノニシテ別ニ定ムル小荷物及貨物(細則第二百二十九條參照)

註四 第二號ノ別ニ指定スル保稅工場又ハ保稅倉庫名及所定藏置貨物ニ付テハ細則第一百十六條參照

註五 滿洲内ニ於テハ滿洲著ハ外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲シ又滿洲發ハ之ガ取扱ヲ爲サズ尙此ノ場合滿洲著小荷物及配達ヲ爲ス貨物ハ運輸機關ニ於テ又貨物ハ荷主ニ於テ執レモ著地ニ於テ滿洲輸入手續ヲ爲スコトハ省線内取扱ト同一トス

註六 本條ノ外國貨物取扱驛中小荷物、貨物ノ取扱上制限アル驛ニ於テハ其ノ制限ノ範圍内ニ於テ外國貨物ノ取扱ヲ爲シ得ルモノナリ

荷物通關取扱細則

昭二、九
達一八七一

第一章 總 則

第一條 省線發著又ハ經由ノ手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物ニ對スル通關手續並ニ之ニ關聯スル取扱ニ關シテハ荷物通關取扱規則ニ依ルノ外本細則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本細則ニハ荷物通關取扱規則第二條ニ依ルノ外左ノ用語ヲ用フ

- 一 規則トハ荷物通關取扱規則ヲ謂フ
- 二 通關擔當驛トハ通關手續ヲ代辨スベキ驛所ニシテ内地朝鮮間ニ在リテハ第五條ニ、日本滿洲間ニ在リテハ第三十七條ニ、内地臺灣間ニ在リテハ第六十六條ニ、日本歐洲間ニ在リテハ第八十六條ニ、日本中華民國間ニ在リテハ第一百十一條ニ孰レモ通關擔當驛トシテ掲記シタル驛所ヲ謂フ

註一 本號ノ通關擔當驛中ニハ關釜連絡船長ヲ含ム

第三條 通關關係書類ヲ送付スル場合ハ別ニ定ムル場合ヲ除キ様式第一號ノ封筒ヲ使用スベシ
省線發通關關係書類ニシテ小荷物ニ對スルモノニ在リテハ小荷物ニ括付シ、貨物ニ對スルモノニ在リテハ貨物ト同時又ハ貨物ニ先チ到著スル様別ニ定ムル場合ヲ除キ第七條第一項及第三十九條第一項ノ接續驛宛送付スベシ
移出免狀、輸出入免狀、證明書、供託受領書、戻稅關係書類、運送目錄其ノ他重要ナル通關關係書類ニ對シテハ相當ノ簿冊ヲ備ヘ其ノ處理頭末ヲ明瞭ナラシムベシ

註一 第一項及第二項ノ「別ニ定ムル場合」トハ第八十九條ニ定ムルシベリヤ經由歐亞小荷物聯絡運輸取扱規則及同貨物聯絡運送取扱規則ノ規定並ニ第一百十二條ニ定ムル日中國際旅客及荷物聯絡運輸取扱規則ニ依ル場合ヲ謂フ

註二 小荷物ニ對スル通關關係書類ハ省線發ハ荷物ニ括付送付シ下關、敦賀港、新潟港ニ於テ之ヲ取外シ荷物ト別送ス又鮮滿發ニ在リテハ發著驛間ヲ通ジ書類ト荷物トハ別送ス

第二章 内地朝鮮間

第一節 通 則

第四條 内地朝鮮間發著小荷物及貨物ニシテ通關手續ヲ要スル範圍ハ左ノ通トス
朝鮮側

一 朝鮮移出手續ヲ要スルモノ

イ 朝鮮移入要申告荷物

ロ 朝鮮移出要申告荷物 別記第一號ニ依ル

二 朝鮮移入要検査植物

朝鮮ニ移入スル植物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ 植物及其ノ部分ニシテ栽植培養ノ用ニ供スルモノ

ロ 種子、地下莖及根ニシテ繁殖ノ用ニ供スルモノ

ハ 臺灣産柑橘ノ果實及西瓜

ニ イ乃至ハニ掲グルモノノ外稅關官吏ニ於テ病菌又ハ害虫附着セル虞アリト認ムルモノ

三 朝鮮移出検査ヲ要スル水産製品
食用乾製品、食用罐詰品、肥料、海藻、魚油

註一 水産製品ノ内容ニ付テハ大正七年五月朝鮮總督府令第五六號水産製品検査規則參照

内地側

一 内地移入要検査植物

内地ニ移入スル植物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ 植物、其ノ部分、種子及球根ニシテ栽植又ハ培養ノ用ニ供スルモノ

ロ 生果實但シ鳳梨及朝鮮産苹果竝ニ芭蕉科、茄子科、荳科、穀斗科及西瓜、メロン、甜瓜以外ノ葫蘆科ニ屬スル植物ノ生果實ヲ除ク

ハ 馬鈴薯ノ生塊莖

ニ 輸移入禁制品ニシテ試験研究ノ用ニ供スルタメ農林大臣ノ輸移入許可ヲ受ケタルモノ

ホ イ乃至ニニ掲グルモノノ外植物検査官吏ニ於テ病菌又ハ害虫ノ附著セル虞アリト認ムルモノ

註二 植物ノ検査ヲ施行スル海港ノ指定ノ有無及植物検査ノ要否トノ關係上内地朝鮮間發著(朝鮮通過共)ハ左ノ如ク接續驛ニ依リテハ連帶運輸ノ取扱ヲ爲シ得ザルモノアリ

イ 植物検査ヲ施行セザル海港(検査機關ノ所在セザルモノ)

新潟

ロ 植物検査ノ要否

内地

發ハ内地側ニ於テハ検査ヲ要セズ

著ハ内地側ニ於テハ検査ヲ要ス

朝鮮

發ハ朝鮮側ニ於テハ検査ヲ要セズ

著ハ朝鮮側ニ於テハ検査ヲ要ス

ハ 連帶運輸ヲ爲サザル經路

新潟經由内地著

註三

内地税關ノ植物検査ニ合格シタルモノハ朝鮮ニ於ケル検査ヲ省略セララルルヲ本位トスルニ付合格證ノ添附アルコトハ朝鮮移入検査上利便ナリ尤モ朝鮮移入検査ハ合格證ノ有無ニ拘ラズ之ヲ施行セラルル(第七條註參照)

註四

生花用ノモノハ内地側ニ於テハ移入検査ヲ施行セラルルモ朝鮮側ニ於テハ移入検査ナシ

二

内地ニ移入スル家畜(牛、馬、山羊、豚、犬、緬羊、鷄及鶩)竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類

第五條

規則第三條ニ依リ通關手續ノ代辨ヲ爲スベキ驛及其ノ取扱範圍ハ左ノ通トス

註一

内地朝鮮間發著ノ荷物ニ對シ通關手續ニ付關係アル主ナル法令ヲ示セ左ノ如シ

一 關稅關係

イ 關稅法等ヲ朝鮮ニ施行スル件

ロ 朝鮮ト内地、臺灣、樺太又ハ南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル件、同施行規則

ハ 朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ内地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル件

ニ 朝鮮ニ移入スル物品ノ移入税等ニ關スル件

ホ 朝鮮出港税令、同令施行規則、同令取扱手續

ヘ 舊朝鮮關稅定率令

ト 外國貨物鐵道運送手續

二 移出制限及取締關係

別記第二號根據法令欄參照

三 内國稅ノ拂戻關係

イ 朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅ノ免除若ハ拂戻又ハ交付金ニ關スル件

ロ 朝鮮ニ移入スル物品ノ内國稅ノ免除若ハ拂戻又ハ交付金ニ關スル取扱方ノ件

ハ 朝鮮骨牌稅令、同令施行規則

ニ 朝鮮酒稅令、同令施行規則

ホ 朝鮮砂糖消費稅令、同令施行規則

ヘ 朝鮮清涼飲料稅令、同令施行規則

ト 朝鮮揮發油稅令、同令施行規則

一 朝鮮移出入手續

イ 小荷物

番號	代辨手續	經由	通關擔當驛	發著區間
一	朝鮮移入手續	關釜間航路	釜山(營)(省)	省線發釜山營業所著
			釜山(朝鮮局)	省線發朝鮮當該稅關所在驛所(釜山營業所ヲ除ク)
		北鮮航路	清津(總局)	省線發朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)著
			羅津(總局)	省線發朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)著
		麗水航路	麗水港(川崎)	(一)省線發朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)著 (二)省線發麗水港著
二	朝鮮移出手續	關釜間航路	釜山(營)(省)	釜山營業所發省線著
			釜山(朝鮮局)	朝鮮(京城、釜山營業所ヲ除ク)發省線著
		北鮮航路	清津港(北日本)	朝鮮發省線著
			羅津港(北日本)	朝鮮發省線著
		麗水航路	麗水港(川崎)	朝鮮發省線著

註二 朝鮮移出手續ヲ代辨シタル小荷物が鐵道ノ手ヲ離レズシテ送還サレ朝鮮再移入ニ依ル朝鮮移入稅ノ免除ヲ申請スベキモノナルトキハ本號ノ規定ニ依ラズ當初朝鮮移出手續ノ代辨ヲ爲シタル驛所ニ於テ該移入手續ヲ代辨ス

口 貨物

番號	代辨手續	經由	通關擔當驛	發著區間		
一	朝鮮移入手續	關釜間航路	釜山(營)(省)	省線發釜山營業所著但シ宅扱ニ限ル		
			釜山(朝鮮局)	省線發朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)著		
		北鮮航路	清津港(北日本)	省線發朝鮮當該稅關所在驛所(釜山營業所ヲ除ク)著但シ配達スルモノニ限ル		
			羅津港(北日本)	省線發清津港、羅津港著但シ配達スルモノニ限ル		
		麗水航路	麗水港(川崎)	(一)省線發麗水港著但シ配達スルモノニ限ル (二)省線發朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)著		
			麗水港(朝鮮局)	省線發朝鮮當該稅關所在驛所(麗水港ヲ除ク)著但シ配達スルモノニ限ル		
		二	朝鮮移出手續	關釜間航路	釜山(營)(省)	釜山營業所發省線著但シ宅扱ニ限ル
					釜山(朝鮮局)	朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)發省線著
				北鮮航路	清津港(北日本)	朝鮮當該稅關所在驛所(釜山營業所ヲ除ク)發省線著但シ集貨スルモノニ限ル
					羅津港(北日本)	(一)清津港、羅津港發省線著但シ集貨スルモノニ限ル (二)朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)發省線著
麗水航路	麗水港(川崎)			(一)麗水港發省線著但シ集貨スルモノニ限ル (二)朝鮮(稅關所在驛所ヲ除ク)發省線著		
	麗水港(朝鮮局)			朝鮮當該稅關所在驛所(麗水港ヲ除ク)發省線著但シ集貨スルモノニ限ル		

註三 通關手續ヲ荷主ガ自辨スルモノノ範圍ニ付テハ規則第三條參照
二 植物検査

經由	由	荷物ノ種類	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備考
イ 關釜間航路	一 貨小荷物	物	内地移入検査	下關(省)	内地移入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照
				敦賀(北日本)	
ロ 北鮮航路	二 貨小荷物	物	朝鮮移入検査	釜山(省) 釜山營業所著小荷物 (釜山營業所著小荷物ニ限ル)	朝鮮移入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照
				釜山(朝鮮局) 釜山(朝鮮局) 釜山(朝鮮局) 釜山(朝鮮局)	
ハ 麗水航路	三 貨小荷物	物	内地移入検査	麗水(省) 麗水(省) 麗水(省)	内地又ハ朝鮮移入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照

三 家畜竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類検査

經由	由	荷物ノ種類	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備考
關釜間航路	小荷物	貨物	内地移入検査	關釜連絡船船長(省)	イ 内地移入要検査ノ範圍ハ第四條參照 但シ荷主人ニ於テ通關擔當者ヲ指定シタル場合ハ附添人ナキ場合ト雖之ガ取扱ヲ爲ス

註四 本號ノ小荷物及貨物ハ關釜間航路經由ニ限リ取扱ヒ其ノ他航路經由ハ連帶運輸ノ取扱ヲ爲サズ
註五 牛毛、馬毛、山羊毛及豚毛ハ下關港ニ於テ検査ヲ爲サザルニ付下關驛經由ノ運送ノ取扱ヲ爲サズ
註六 獸血ニ對シテハ本號ニ準ジ検査ヲ受クルモノトス
註七 本號以外ノモノト雖傳染病ノ病毒傳播ノ虞アルモノハ検査ヲ行フコトアリ
四 水産製品検査

經由	由	荷物ノ種類	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備考
關釜間航路	小荷物	貨物	朝鮮移出検査	釜山(朝鮮局)又ハ清津港(北日本)	朝鮮移出要検査ノ範圍ハ第四條參照
				(水産製品検査所、支所、出張所) 所在驛所ヲ除キタル驛發ノモノ	

註八 朝鮮總督府水産製品検査所、支所、出張所所在驛ハ左ノ通トス
釜山、上仁川、仁川、新義州、鎮南浦、新義州江岸、木浦、元山、新浦、漁大津、遮湖、麗水港、浦項、長箭、清津、雄基

第六條 規則第九條ニ依ル通關手續代辨手数料ハ左ノ通トス

イ 移出又ハ移入手續 當分ノ間收受セズ

ロ 植物検査、動物検査及水産製品検査手續

小荷物(手荷物、附隨小荷物ヲ含ム)貨物共 實際ニ要シタル費用

前項手数料ハ立替金通知書ニ依リ旅客又ハ荷受人ヨリ之ヲ收受ス

註一 植物検査、動物検査及水産製品検査手續ノ爲實際ニ要スル費用概算左ノ如シ

イ 植物検査

甲 釜山(清津港、羅津港、安東驛ノ分モ略々同額ナリ)

(一) 検査場ニ搬入スルモノ

(イ) 撰病手撰ヲ要スルモノ

一口十石未満ノモノ

一口十石以上ノモノ

(ロ) 撰病篩撰ヲ要スル白菜種子類

一口十石未満ノモノ

一石ニ付	一石ニ付	同	同	一石ニ付
一圓七十錢	一圓七十錢	同	同	一圓八十錢
一圓五十錢	一圓五十錢	同	同	

動物検査	乙 下關、神戸港、門司港及敦賀港	一件ニ付	其ノ都度決定ス
(三)	検査申請ノミヲ要スルモノ	同	無
(二)	検査場ニ搬入セザルモノ	同	無
(イ)	西瓜(箱入ヲ除ク)	一箇ニ付	十五
(ロ)	甘藷、馬鈴薯、里芋	同	十五
(ハ)	苗木(觀賞用植物ヲ除ク)	一箇ニ付	十五
(ニ)	貨物	同	十五
(ホ)	其他	一箇ニ付	十五
(ニ)	小荷物	一箇ニ付	十五
(ハ)	一口十石以上ノモノ	同	一圓八十錢
(ニ)	一口十石未満ノモノ	同	一圓六十錢
(ハ)	鹽水撰ヲ要スル紫雲英	一石ニ付	一圓四十錢
(ハ)	一口十石以上ノモノ	同	一圓六十錢
(ハ)	一口十石以上ノモノ	同	一圓六十錢

甲 下 關

馬(朝鮮産ホニヲ除ク)	一頭ニ付	一	圓
馬(朝鮮産ホニ)	同	五	錢
緬羊	同	二	十
山羊	同	二	十
豚	同	三	十
大	同	三	十
鷄	一羽ニ付	三	錢
鶩	同	五	錢
乙 安東、圖們及上三峰			
ハ 水産製品検査			
釜山			
(一) 検査費			
其ノ都度決定ス			

區 別	魚	油	肥 料	其 他
一 箇	・一三迄	・一五迄	・一五迄	・二〇迄
二 箇	・三五迄	・四五迄	・四五迄	・七〇迄
六 箇	・五五迄	・七五迄	・三五迄	・二五迄
十 箇	・九五迄	・九五迄	・三五迄	・二五迄
二 十 箇	・九五迄	・九五迄	・三五迄	・二五迄
三 十 箇	・九五迄	・九五迄	・三五迄	・二五迄
四 十 箇	・九五迄	・九五迄	・三五迄	・二五迄
五 十 箇	・九五迄	・九五迄	・三五迄	・二五迄
一 百 箇	・九五迄	・九五迄	・三五迄	・二五迄

(二) 荷造費 食用乾製品 一梱包ニ付 三十五錢

食用罐詰品 肥料 海藻 同 同 同
 (三) 運搬費 (往復) 一箇ニ付 二 二十五 二十五 錢
 註二 動物檢疫ノ爲トニ要スル下關驛ト門司稅關檢疫所間送還費、繫留中ノ飼育費其ノ他一切ノ費用ハ荷主ノ負擔ナルガ此ノ場
 合家畜ニ對シテハ直接旅客又ハ附添人ニ於テ請負人ニ支拂フモノトス其ノ他ノモノハ第十七條第一項ニ依リ運輸機關ニ於
 テ立替拂フ爲ス
 イ 下關驛ト門司稅關檢疫所間船賃及積卸費

種別	數量	片	道	一回ノ料	金
馬 (朝鮮産ホニヲ除ク) 同 (朝鮮産ホニ)	六頭又ハ其ノ未滿每ニ	一五〇〇圓	十二頭ヲ超ユルモノハ一頭ニ付一圓三十錢ヲ加フ		
緬羊	十二頭迄	三〇〇	同		
山羊	同	六・五〇	十二頭ヲ超ユルモノハ一頭ニ付一圓四十錢ヲ加フ		
豚	同	七・〇〇	十二頭ヲ超ユルモノハ一頭ニ付六十錢ヲ加フ		
犬	同	六・〇〇	十二頭ヲ超ユルモノハ一頭ニ付六十錢ヲ加フ		
鷄	百羽迄	六・五〇	百羽ヲ超ユルモノハ一羽ニ付七錢ヲ加フ		
鷺	同	六・五〇	同		
牛	百斤又ハ其ノ未滿每ニ	六・五〇			
牛	同	五・〇〇			
家畜ノ屍體、肉骨、毛及皮類	同	六・五〇			

備考 一 馬ハ曳船ヲ附シ運航スルヲ常例トス但シ荷主ノ希望ニ依リ舳單獨運航ノ要求ニ應ズルコトアルベシ
 二 曳船ヲ使用セル場合ハ片道一回ニ付曳船使用料トシテ金十二圓ヲ本表料金ニ加算スルモノトス但シ此ノ場合ノ本表料金ハ一割引トス
 三 著シク舳單獨ノ場合ハ右料金ノ外舳單獨費ヲ加算ス

繫留所ニ於ケル飼育費其ノ他

種別	飼育料 (一頭又ハ一羽ニ付)	牧夫料 (夜番料共)
馬 (朝鮮産ホニヲ除ク) 馬 (朝鮮産ホニ)	五〇圓	四十圓以下
緬羊	三〇圓	同
山羊	三〇圓	同
豚	三〇圓	同
豚 (大)	三〇圓	同
豚 (小)	三〇圓	同
犬	三〇圓	同
鷄	二〇圓	二百羽以下
鷺	四〇圓	同

備考 本表ノ料金ハ一日分トス
 第二節 發驛ニ於ケル取扱

第七條 朝鮮移出入手續ノ代辨ヲ爲スベキ小荷物及貨物ノ託送者ニ對シテハ様式第二號ノ荷物明細書ヲ交付シ要項ヲ記入提出セシメ仕入書ト共ニ關釜間航路又ハ麗水航路經由ノモノハ下關驛 (朝鮮發ハ釜山又ハ麗水港)、北鮮航路經由ノモノハ新潟、沼垂又ハ敦賀港 (朝鮮發ハ清津港又ハ羅津港) ノ夫々ノ接續驛宛送付スルモノトス
 註一 左ノ航路ニ於ケル省社線ノ接續驛所ハ左ノ通トス
 北日本海汽船會社北鮮航路 (新潟港接續ノ場合)
 省社線
 新潟驛 新潟港
 沼垂驛 沼垂港
 旅客、手小荷物
 貨物

規則第五條第三項ニ依リ仕入書ノ添附ヲ省略シタル場合ニ於テハ荷送人ヲシテ荷物明細書ニ所定ノ要項ヲ記入セシムルノ外「仕入書ナシ」ト記入セシメ發驛ニ於テハ小荷物切符 (代金引換小荷物切符ヲ含ム以下同ジ) 丙片裏面又

番號	種類	荷物明細書記事欄ニ記載セシムベキ要旨	添附書類	關係法令	備考
1	左ノ荷物ニシテ朝鮮ヨリ移出シトスル場合 A 酒類 朝鮮内ニ於テ製造シタル酒類又ハ保税地域ニ在ル輸入酒類 B 砂糖、糖蜜及糖水 朝鮮内ニ於テ製造シタル砂糖、糖蜜若ハ糖水又ハ保税地域ニ在ル輸入砂糖、糖蜜若ハ糖水 C 清涼飲料 朝鮮ニ於テ製造シタル清涼飲料又ハ保税地域ニ在ル移入清涼飲料 D 骨牌 朝鮮内ニ於テ製造シタル骨牌又ハ保税地域ニ在ル骨牌	「免稅請求」 又ハ「税金ノ徵收猶豫請求」 同右	移出承認書 又ハ輸入酒類移出承認申請書 移出承認書 又ハ輸入砂糖移出承認申請書	大正五年制令第二號 酒稅令第一七號 大正五年府令第六八號 同令施行規則第三一號 昭和十二年制令第二號 臨時稅增徵令第十四號 昭和十二年府令第三〇號 稅出ノ砂糖、糖水等ノ砂糖消費稅令第四號 大正八年制令第六號 大正九年府令第一九號 同令施行規則第一二號、一二號	再移出ヲ爲スベキ場所及移入方法アリタルトキ
2	一年以内ニ朝鮮ニ再移入スベキ荷物ヲ朝鮮ヨリ移出シテ港稅ノ免除又ハ徵收猶豫ヲ受ケムトスル場合ニシテ出港稅ニ相當スル	再移出ノ目的 再移入ノ目的 移入方法（加） 同右	移出承認書 又ハ輸入清涼飲料移出承認申請書 移出承認書 又ハ輸入骨牌移出承認申請書 出港稅ノ免除ヲ受ケムトスル場合ニシテ官衙ヲ實荷送	昭和九年制令第二號 昭和九年府令第一號 昭和九年府令第二九號 同令施行規則第一七號 昭和六年制令第一號 昭和六年府令第一號 昭和六年府令第一號 同令施行規則第一三號 大正九年制令第二一號 朝鮮出港稅令第四號	再移出ヲ爲スベキ場所及移入方法アリタルトキ

3	擔保提供	擔保解除
擔保ヲ提供シ出港稅ノ免除又ハ徵收猶豫ヲ受ケムトスル場合 朝鮮ヨリ再移出ヲ爲シ朝鮮移入ノ際提供シタル擔保ノ解除ヲ得ムトスル場合	工ヲ目的ナルトスルモノノ加工ノ種類、加工者ノ氏名共 「再移出ニ付擔保解除」	人トスルモノノ在リテハ保式第六號ノ保書 移入免狀 預託受領書 供託受領書 預託受領書 免狀又ハ移入ノ代ナルベキ書關ノ證明 加工シテ再移出スルモノノ在リテハ外 加工者ノ記ノ加 工證明書
		大正九年制令第一九號 朝鮮移入スル物品ノ移入關スル件第五條 昭和五年制令第二〇號 明治四五年制令第二〇號 舊朝鮮關稅定率令第四條乃至第五條
		ハ發當ハ直ニ通關手續關稅經由ニ知スルコト

前項第一號(口)2乃至4及第二號2及3ノ小荷物及貨物ニ對シテハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

擔保提供
擔保解除

註一 釜山營業所發ノモノハ同所ニ於テ關係書類ト共ニ釜山稅關ニ提出スルモノトス
註二 朝鮮移出免狀及朝鮮移入免狀ノ様式ニ付テハ様式第四、五號參照
註三 本條第一項第一號(口)4ノ關係法令左ノ如シ

◎朝鮮ニ移入スル物品ノ移入税等ニ關スル件(大正九年) 制令第一九號

◎舊朝鮮關稅定率令(明治四五年) 制令第二〇號

第三條 左ニ掲グル物品ニハ輸入税ヲ免除ス
六 官廳ノ保管轉換品、配給品及送還品
◎官廳ノ保管轉換品及配給品ニ關スル要件(大正七、四、一五官通牒第六〇號政務總監通牒各稅關長宛)

一 保管轉換品ノ解釋

朝鮮外ニ於ケル用途ノ爲メ保管スル官廳ノ保管品ニシテ其ノ用途ヲ變更シテ朝鮮ニ保管ヲ轉換スルモノニ限リ最初ヨリ朝鮮ニ於テ使用ノ目的ヲ以テ便宜上朝鮮外ニ於テ調辨シ朝鮮ニ送附スルモノハ假令保管轉換ノ形式ニヨルモノト雖之ニ該當セザルモノトス

二 配給品ノ解釋

陸軍兵器廠ノ如キ官廳上物品ノ配給ヲ掌ル官廳ノ配給ニ依ルモノタルコトヲ要シ其ノ他ハ假令取扱上配給ト稱スルコトアリトスルモ之ニ該當セザルモノトス

◎官廳ノ保管轉換品及配給品ノ通關ニ關スル件(大正七、四、三〇度支部長官通牒各稅關長宛)

本月十五日官通牒第六〇號政務總監通牒ニ依リ意義決定相成候ニ付テハ右ニ適合スル物品ノ通關ニ關シテハ移入申告書ニ品名數量價格及保管轉換又ハ配給ヲ受クベキ在鮮責任者ノ官職氏名又ハ官廳名ヲ記載シタル發送官廳發給ノ證明書ヲ添附提出セシムルコトニ取扱可相成追テ官廳上物品ノ配給ヲ掌ル官廳ハ陸軍省及海軍省所管ニ於テハ大要左記ノ通り

官廳上物品ノ配給ヲ掌ル官廳
海軍省及陸軍省所管

一 陸軍省所管

軍馬補充部、陸軍衛生材料廠、陸軍糧秣廠

二 海軍省所管

海軍工廠、海軍探炭所、海軍煉炭製造所、海軍病院、海軍經理部

第九條 朝鮮移出禁制、制限及取締品並ニ朝鮮移出ニ付特ニ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ檢

査證等ヲ要スルモノノ範圍ハ別記第二號ノ通トス

前項小荷物及貨物ノ受託ノ際ハ荷送人ヨリ所定ノ許可書ヲ提出セシメ第十條ニ依リ處理シ之ヲ接續驛ニ送付スルモノトス

第十條 前二條ニ依リ荷送人ヨリ戻免稅ニ關スル書類並ニ禁制、制限及取締品等ノ朝鮮移出入許可ニ付許可書及合格證等ノ提出アリタルトキハ當該書類ノ餘白ニ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書月日、番號ヲ記入スベシ

月	日	小荷物切符	第	號
某國	某號	貨物通知書	第	號
某國	某號	發還書	第	號

前項ノ場合ハ小荷物切符内片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ其ノ書類名ヲ記入シ相互ノ關聯ヲ明ニスベシ

註一	戻免稅(拂戻金、交付金、下付金等ノ名稱ヲ用フルコトアリ)トハ内地ヨリ朝鮮ニ移出シタルガ爲一旦納稅シタルモノノ全額又ハ一部ヲ還付セラルルモノヲ、免稅トハ内地ヨリ朝鮮ニ移出スルコトヲ條件トシテ内國稅ヲ最初ヨリ免除セラルルモノヲ謂フ
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第十一條 朝鮮移出手續ノ代辦ヲ爲ス場合ニ於テ荷送人ヨリ朝鮮移出免狀、朝鮮移入免狀及其ノ他書類ノ廻付ノ要求又ハ荷受人ニ送付ノ要求アルモノニ對シテハ發驛ニ於テ小荷物及貨物受託ノ際荷物明細書記事欄ニ其ノ旨記載提出セシメ適宜ノ帳簿ニ記入ノ上之ヲ接續驛ニ送付スベシ

註一 荷物發送後請求アリタル場合モ本條ニ準ジ便宜其ノ取扱ヲ爲スモノトス

第十二條 發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ前條ノ要求ニ依ル移出免狀、移入免狀及其ノ他書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ受

託ノ際記入シタル帳簿ニ該書類到着ノ旨記入ノ上荷送人ニ交付スベシ發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受ケタル場合亦同ジ

註一 供託受領書ニ付テハ規則第十四條及細則第八條、第十九條乃至第二十一條參照

第十三條 第二十條ニ依リ通關擔當驛ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ旨荷送人ニ通知シ供託受領書ヲ提出セシメ之ヲ通關擔當驛ニ送付スベシ

第十四條 規則第三條第三號及第四號ニ依リ荷送人ヨリ通關手續自辨ノ旨通告アリタル場合及運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲サザル場合ハ荷送人ヲシテ荷物明細書記事欄ニ通關手續擔當者居所氏名及通關手續自辨ノ旨ヲ記載セシムルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ且其ノ通關手續擔當者居所氏名ヲ記入スルモノトス

驛通關自辨
擔當者居所氏名

第五條第三號ノ家畜ニ對シ附添人ヲ附シ又ハ檢疫擔當者ヲ指定シタル場合ハ運送狀及荷物明細書ニ附添人氏名又ハ檢疫擔當者居所氏名ヲ記載セシメ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ之ヲ轉記スルモノトス

第十五條 規則第十五條ニ依リ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲サザル小荷物及貨物並ニ同第十八條ニ依リ通關手續ヲ要セザル小荷物及貨物ヲ受託シタル場合ノ取扱ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 小 荷 物

イ 内 地 發

規則第五條ノ荷物明細書ヲ提出セシメ之ヲ接續驛ニ送付スルコト但シ此ノ場合ノ荷物明細書ニハ發著驛名、小荷物切符番號、荷物ノ記號及番號、荷造種別、個數、品名、數量、價格、荷送人及荷受人ノミ記載シ其ノ他事項ハ之ヲ省略スルコト

朝鮮發

荷送人ヲシテ荷札裏面ニ小荷物（品名ヲ異ニスルモノハ品名毎ニ）ノ數量及價格ヲ記入セシメ之ヲ小荷物切符ニ轉記スルコト

二 貨 物

貨物通知書記事欄ニ貨物（品名ヲ異ニスルモノハ品名毎ニ）ノ價格ヲ表示スルコト

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ代辨

第一款 通關手續ノ代辨

第十六條 通關手續代辨ニ關スル各種ノ申告ハ通關擔當驛長ニ於テ之ヲ擔任スルモノトス

第二款 下關驛ニ於ケル通關手續

第十七條 下關驛及關釜連絡船ニ於テ通關手續ヲ要スルモノノ取扱ハ左ノ各號ニ依ル

一 下 關 驛

植物検査手續

内地移入要検査植物ニ對シテハ植物移入検査申請書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ稅關ニ提出シ立會ノ上稅關官吏ノ検査ヲ受ケ検査合格證ノ交付ヲ受ケ關係書類ト共ニ小荷物及貨物ノ繼送ノ手續ヲ爲スコト

二 關釜連絡船

家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類檢疫手續

イ 家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ニ關シテハ關釜連絡船船長ニ於テ税關ニ對シ家畜檢疫ノ申請ヲナシ立會ノ上税關官吏ノ檢疫ヲ受ケ檢疫證明書ノ交付又ハ檢疫済ノ認印ヲ受ケ關係書類ト共ニ小荷物及貨物ノ繼送ノ手續ヲ爲スコト

ロ 食肉輸移入取締規則ニ依ル検査申請及家畜檢疫ニ依リ處分ヲ受ケタルモノノ處置ハ下關驛長ニ於テ爲スコト但シ下關著食肉ニ在リテハ引渡後荷主ニ於テ検査申請ヲ爲スコト

ハ イニ依リ檢疫ヲ行フ際ハ家畜ニ對シテハ旅客又ハ附添人ヲシテ立會セシムルコト

註一 關釜連絡船船長ニ於テ爲ス家畜ノ檢疫申請ハ船名、入港月日、發著港名、種類、數量等ノ要項ヲ書面、口頭又ハ電報ニテ申告スルコト此ノ場合税關ニ於テハ尋問書ヲ作成ス

註二 犬ニ對シテハ日本官憲又ハ獸醫ノ發給スル豫防注射證明書ヲ、鶏及鶩ニ對シテハ日本官憲又ハ獸醫ノ發給スル傳染病流行地帶ヨリ發シタルモノニ非ザル旨ノ證明書ヲ持參スルトキハ該家畜ガ特異ノ狀態ニ非ザル限リ緊留ヲ免ゼラル

註三 肉骨、毛及皮類ハ消毒場ニ送致セララルル原則トスルモ輸出地ニ於ケル日本官憲ノ發給シタル屠殺前ノ健康證明書及屠肉検査ノ證明ヲ有スル生肉及移出地ニ於ケル屠肉検査ノ證明ヲ有スル生肉其ノ他檢疫官吏ニ於テ消毒ノ必要ナシト認ムルモノハ消毒場ニ送致スルコトヲ免ゼラル

註四 食肉ニ在リテハ食肉輸移入取締規則ノ適用ヲ受クルモノハ移出地警察署長ノ發給シタル食肉検査證明書ヲ、然ラザルモノハ移出地警察署長ノ發給シタル屠肉検査證明書ヲ要スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ植物検査、動物檢疫手續ニ對スル通關手續代辦手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキハ立替金通知書ヲ發行シ著驛ニ送付ス此ノ場合ニ於テハ小荷物切符内片裏面及貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ要項ヲ記入スルモノトス

立替金通知書第 號
下關驛

植物検査、動物檢疫手續ニ對スル通關手續代辦手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲サザルモノニ對シテハ小荷物切符内片裏

面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

立替金ナシ
下關驛

註五 下關驛ガ發驛又ハ著驛ナル場合ハ本節ニ依ルノ外本章第二節發驛ニ於ケル取扱又ハ第五節著驛ニ於ケル取扱ニ依ルモノトス

第三款 釜山營業所ニ於ケル通關手續

第十八條 釜山營業所ニ於テ省線(内地)ト釜山營業所間發著小荷物及貨物ノ通關手續ヲ要スルモノノ取扱ハ左ノ各號ニ依ル

一 移出入手續

イ 朝鮮移出入手續ヲ爲スベキ小荷物及貨物ニ對シテハ移出入申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ税關ニ提出シ立會ノ上税關官吏ノ検査ヲ受ケ移出入免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト此ノ場合必要ニ應ジ荷受人又ハ荷受人ノ意見ヲ徵スルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル移出入免狀及關係書類ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入スルコト

月 日 小荷物切符第 號
貨物通知書 號
發驛 釜山營業所

ハ 移出入免狀及關係書類ニシテ發驛又ハ著驛ニ廻付ヲ要スルモノハ其ノ手續ヲ爲シ其ノ必要ナキモノハ之ヲ自驛ニ保存スルコト

二 植物検査

- イ 朝鮮移入要検査植物ニ對シテハ移入植物検査申請書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ税關ニ提出シ立會ノ上税關官吏ノ検査ヲ受ケ検査合格證ノ交付ヲ受クルコト
- ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル検査合格證ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入スルコト

月 日 小荷物切符第 號
貨物通知書第 號
發驛 釜山營業所

註一 本號ノ植物ト其ノ他ノ物品トガ同一梱包ニ在ルトキハ同一梱包内ノ總テノ荷物ニ對シ検査ヲ要ス

註二 内地税關ノ植物検査ニ合格シタルモノハ朝鮮移入ノ際ハ朝鮮ニ於ケル検査ヲ省略セララルルモ本位トスルモ検査ノ申請ハ合格證ノ有無ニ拘ラズ之ヲ要スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辦手数料、關稅其ノ他ノ立替拂ヲ要シタルトキ又ハ之ヲ要セザリシモノ及荷送人ヲシテ直接關稅ヲ支拂ハシメタルトキノ小荷物切符丙片裏面、貨物通知書記事欄ニ對スル印章押捺、要項記入方及立替金通知書發行方ニ關シテハ前條第二項及第三項ヲ準用ス

註三 左ノ書類ノ保存期間ハ發行ノ日共下記ノ通トス

- イ 各種免狀 一年半
- ロ 運送目録 五年

第十九條 舊朝鮮關稅定率令第四條乃至第五條ニ依リ朝鮮ヨリ再移出ヲ爲スベキ小荷物及貨物ヲ朝鮮ニ移入ノ場合擔保提供ノ必要アルトキハ稅關ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケ荷受人ニ通報シ荷受人ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受ケ之ヲ稅關ニ提出シ移入免狀及供託受領書預り證又ハ供託受領書預り證ヲ兼ネタル移入免狀ノ交付ヲ受ケ之ヲ荷受人ニ交付スベシ

前項ノ規定ハ移入免許前荷物ノ引取ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面及貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

供託受領書預り證附
釜山營業所

註一 舊朝鮮關稅定率令第四條ハ物品ヲ指定シ朝鮮移入ノ日ヨリ一年以内ニ朝鮮ヨリ再移出スル場合ノ朝鮮移入稅ノ免除、第四條ノ二ハ加工又ハ修繕ノタメ朝鮮ニ移入ノ日ヨリ一年以内ニ加工又ハ製造品トシテ移出スル場合ノ朝鮮移入稅ノ免除、第五條ハ前二條ノ場合擔保提供ニ關スル規定ナリ

二 本條ニ依リ著驛ガ擔保額ノ通知ヲ受ケタル場合ノ取扱方ニ付テハ第三十二條參照

三 朝鮮移入要申告荷物ハ移入免許ヲ受ケタル後ニ非ザレバ之ヲ引取ルコトヲ得ザルモノナルモ當該稅關ノ認許ヲ得相當ノ擔保ヲ提供シタル場合ニ限リ移入免許前ニ荷物ノ取引ヲ爲シ得ルモノナリ(關稅法第二十四條)此ノ場合ハ引取ヲ爲ス理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スルモノトス(關稅法施行規則第四十二條)

第二十條 朝鮮出港稅令第四條ニ依リ朝鮮ニ再移入ヲ爲スベキ小荷物及貨物ノ朝鮮移出手續ヲ代辦シ擔保提供ノ必要アルトキハ稅關ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケ之ヲ荷送人ニ通報シ荷送人ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受ケ之ヲ稅關ニ提出シ移出免狀及供託受領書預り證又ハ供託受領書預り證ヲ兼ネタル移出免狀ノ交付ヲ受ケ之ヲ荷送人ニ交付スベシ

註一 朝鮮出港稅令第四條ハ朝鮮移出ノ日ヨリ一年以内ニ朝鮮ニ再移入スル場合ノ朝鮮出港稅ノ免除及擔保提供ニ關スル規定ニシテ右ニ該當スル物品ハ(一)加工ノ爲移出スルモノ、(二)學術研究ノ爲移出スルモノ、(三)試験品トシテ移出スルモノ、(四)注文取集ノ爲移出スル見本品、(五)博覽會、共進會等ニ出品ノタメ移出スル物品等ナリ

註二 本條ニ依リ發驛ガ擔保額ノ通知ヲ受ケタル場合ノ取扱方ニ付テハ第十三條參照

第二十一條 第十九條ノ小荷物及貨物ニシテ朝鮮ヨリ再移出ヲ爲シタルガ爲移入ノ際提出シタル供託受領書及供託原因消滅證明書ヲ稅關ヨリ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ荷送人ニ交付スベシ

前條ノ小荷物及貨物ニシテ朝鮮ニ再移入ヲ爲シタルガ爲移出ノ際提出シタル供託受領書及供託原因消滅證明書ヲ稅

關ヨリ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ荷受人ニ交付スベシ

註一 第一項ノ場合ハ朝鮮ニ移入ノ日ヨリ一年以内ニ再ビ内地其ノ他ニ移出スルモノハ朝鮮移入税ヲ免許セララルルモノナルガ此ノ場合ハ移入ノ際税金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要シ此ノ擔保ヲ供託シ供託受領書ヲ稅關ニ提出シ居ルヲ以テ朝鮮ヨリ再移出ト共ニ擔保提供ノ原因消滅ス仍テ荷受人ハ供託受領書及供託原因消滅證明書ヲ供託局ニ提出スルコトニ依リ茲ニ始メテ曩ニ提供シタル擔保ノ返還ヲ受ケ得ルコトナル

第二項再移入ノ場合ニ於ケル擔保消滅關係ハ前項ニ同ジ

註二 本條及前二條ノ關係ハ朝鮮側ノ内國稅ノ制度ニヨリ生ズルモノナルヲ以テ擔保提供ハ孰レモ朝鮮側荷主ニ關係アリ從テ供託受領書及供託原因消滅證明書ノ送付先ハ朝鮮側發驛又ハ著驛ニ對シテ爲スモノナリ

第二十二條 検査ヲ受ケタル爲小荷物及貨物ノ包装ヲ解キタルトキハ検査後完全ニ復裝スベシ

荷物ノ一部ヲ見本トシテ稅關ニ提供シタル場合ハ後日ノ證トナルベキ書類ヲ稅關ヨリ受領シ置クモノトス

註一 稅關ニ見本ヲ納付シタルトキハ稅關ヨリ證明ヲ徵スルモノトス此ノ場合通關擔當驛ニ於テハ關係書類ニ其ノ旨附記スルモノトス

註二 朝鮮發内地著水産製品中食用罐詰ノ検査ヲ代辨スルモノニ在リテハ特ニ三十兩迄毎ニ五罐ノ割ヲ以テ開罐検査補充品ヲ要スルニ付別ニ小荷物又ハ貨物トシテ同時ニ通關擔當驛宛送セシムルモノトス

第二十三條 第九條ニ依リ發驛ヨリ下關驛經由送付ヲ受ケタル許可書等ハ内地ト釜山營業所間發著ノモノニ在リテハ之ヲ釜山稅關ニ又朝鮮(釜山營業所ヲ除ク)著ノモノニシテ朝鮮移入手續上必要ナルモノハ小荷物及貨物ト共ニ釜山驛ニ之ヲ引繼グモノトス

第四款 換價處分

第二十四條 規則第十二條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

第二十五條 規則第十二條第二項及第十三條第二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ顛末ヲ所屬長ニ報告スベシ他ノ

運輸機關ヨリ規則第十二條第二項及第十三條第二項ノ處分ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合亦同ジ

第五款 通關事故

第二十六條 移出入小荷物及貨物ニ對シ稅關ノ處分ヲ受ケタル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ受クベシ此ノ場合必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷受人ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ依リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

他ノ運輸機關ヨリ第一項ノ處分ヲ受ケタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合ハ其ノ顛末ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

註一 「稅關ノ處分」トハ移出禁制品ノ移出又ハ關稅ノ通脫ヲ圖リタル等ノ場合處罰及荷物ヲ沒收セララルルガ如キヲ

植物ニ在リテハ稅關ニ於テ検査ノ結果病菌又ハ害蟲附着スト認メ植物ノ燒棄、埋没若ハ著シク毀損シ又ハ移入ヲ禁止シタルガ如キヲ、家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ノ検査ニ在リテハ検査ノ結果病菌附着スト認メ之ヲ燒棄處分ニ付セラレタルガ如キヲ謂フ尙此ノ場合ハ後日ノ證トナルベキ書類ヲ稅關ヨリ受領シ置クコト

第二十七條 規則第十三條第一項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷受人ニ通知スベシ

規則第十三條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

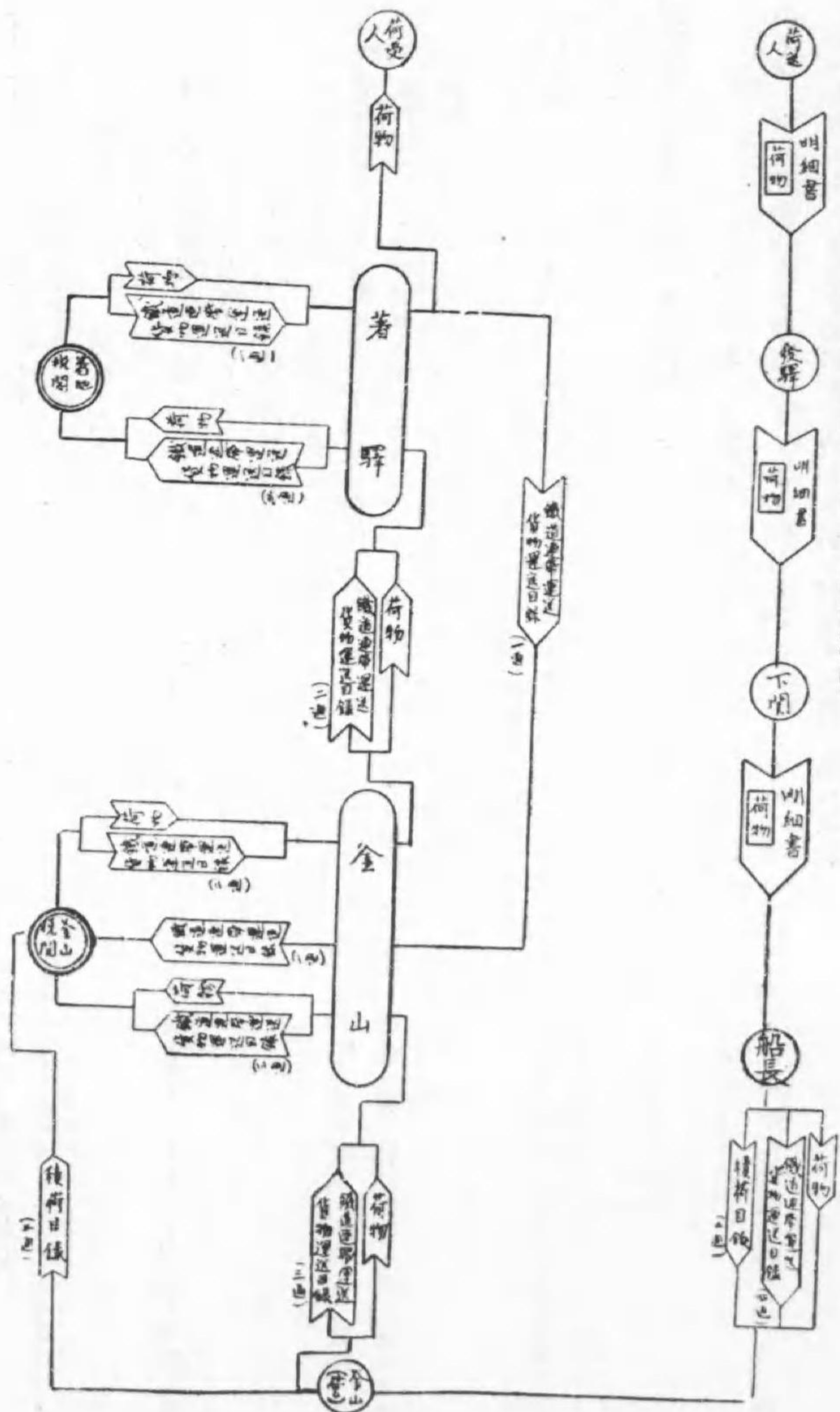
規則第十三條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第六款 朝鮮内

第二十八條 朝鮮(釜山營業所ヲ除ク)ニ於ケル通關手續ハ第十八條乃至第二十三條ニ規定スル釜山營業所ニ於ケル取扱方ヲ準用ス但シ朝鮮内稅關所在驛所著小荷物ニ對シテハ朝鮮移入税ハ荷受人ヨリ之ヲ收受シタル後稅關ニ納入スルモノトス

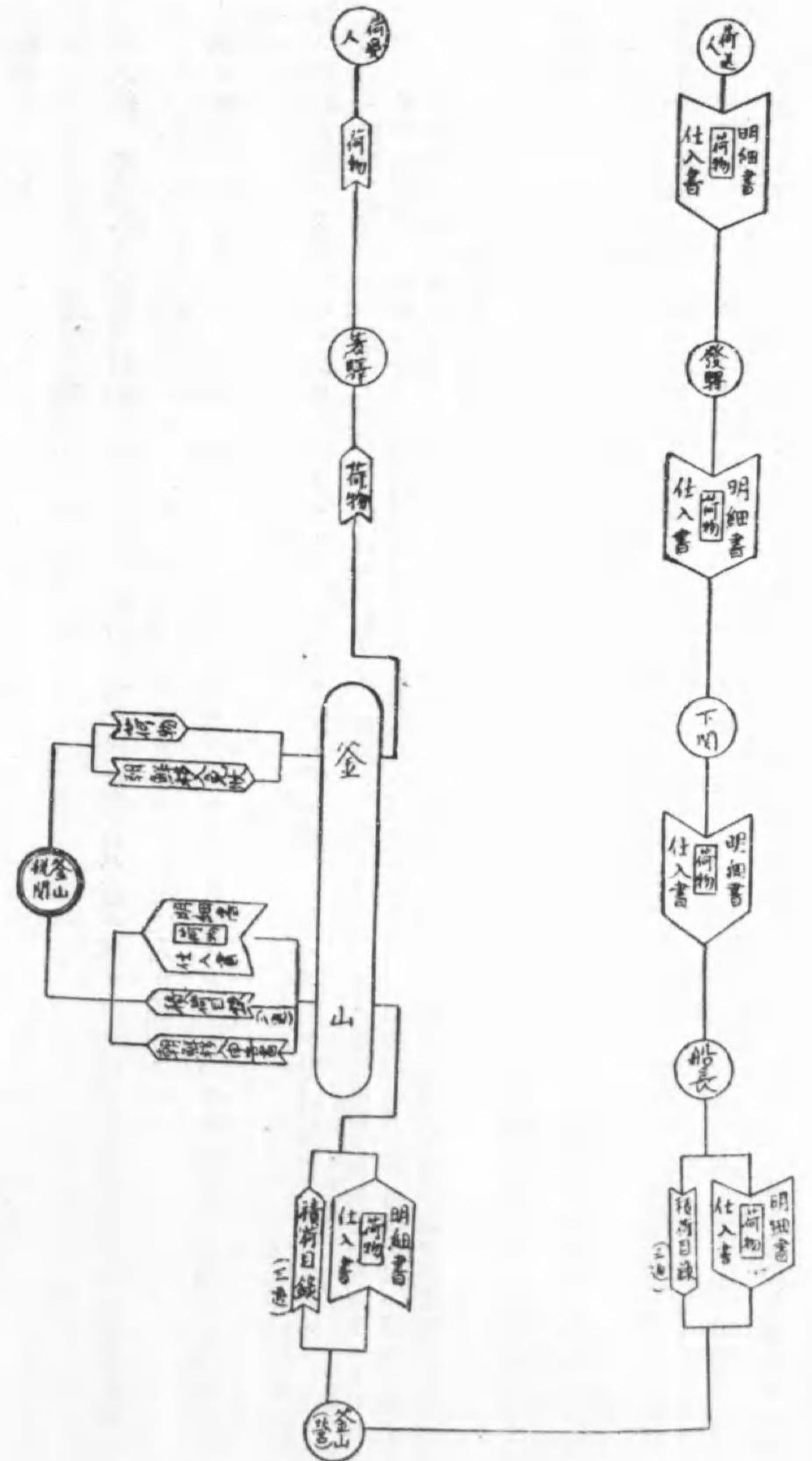
註一 朝鮮内稅關所在驛ガ發驛又ハ著驛トナル場合ハ本節ノ外本章第二節發驛ニ於ケル取扱又ハ第五節著驛ニ於ケル取扱ニ依リモノトス

註二 發驛ト通關擔當驛ト著驛ニ於ケル通關關係書類ノ經路圖表ヲ示セバ左ノ如シ



第二號
 著地：朝鮮移入手續、荷主自到現場
 備考：1. 積荷目録、作成……朝鮮移入不費申告荷物之限
 2. 積荷目録送付……朝鮮移入不費申告荷物之限

(623) 荷物通關取扱細則



第一號
 釜山驛：朝鮮移入手續、代辦人現場

則細取扱關通物荷 (622)

註三 省線發朝鮮著朝鮮移入要申告小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還シタル場合ニ於ケル關稅ノ拂戻ハ大要左ノ如シ

イ 朝鮮内非稅關所在驛所著(即チ釜山、清津、羅津、慶水港等ノ朝鮮移入驛港ニ於テ朝鮮移入手續ヲ爲シタルモノ)
朝鮮移入稅 拂戻ヲ爲サズ

朝鮮出港稅 要ス
朝鮮内稅關所在驛所著(即チ釜山其ノ他ノ朝鮮移入驛港ト著驛間朝鮮移入手續未済ノモノトシテ運送シ著驛ニ於テ朝鮮移入手續未済ノモノ)
朝鮮移入稅 (朝鮮内朝鮮移入手續未済ニ付關稅ニ觸レズ)

朝鮮出港稅 (同 右)
省線發朝鮮内非稅關所在驛所著織物製品(衣類、帽子、帶、足袋、蚊蚋、浴布、手巾、テーブルクロス、窓掛、蒲團及寢具等)ニシテ朝鮮移入不要申告荷物トシテ取扱ハレタルモノヲ發驛ニ返還スル場合ハ新ニ朝鮮移出手續ヲ要シ隨テ朝鮮出港稅ヲ課セラシムルモノナルモ積戻手續ニ準ジ出港稅ヲ免ゼラル

第四節 通關手續自辨小荷物及貨物

第二十九條 通關手續自辨小荷物及貨物ガ到著シタルトキハ其ノ旨ヲ通關手續擔當者ニ通知シ遲滯ナク通關手續ヲ爲サシムルモノトス

規則第十七條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第五節 著驛ニ於ケル取扱

第三十條 立替金通知書ヲ發行シタル小荷物及貨物ガ到著シタルトキハ配達ヲ爲スベキ小荷物及貨物ハ届先ニ於テ其ノ他ハ著驛ニ於テ立替金通知書記載ノ金額ト引換ニ引渡ヲ爲スベシ

第三十一條 荷受人ニ於テ通關手續代辦手数料及關稅其ノ他ノ立替金ノ支拂ヲ爲サザル場合ニ於テハ發驛ヲ經テ荷受人ニ其ノ旨ヲ通知シ指圖ヲ求ムベシ

規則第十二條及第十三條ニ依リ換價處分ヲ爲シタル場合ハ其ノ旨ヲ荷送人ニ通知スベシ

第三十二條 第十九條ニ依リ通關擔當驛ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ旨荷受人ニ通知シ供託受領書ヲ提出セシメ之ヲ通關擔當驛ニ送付スベシ

前項ノ小荷物及貨物ニ對シ通關擔當驛ヨリ送付ヲ受ケタル移入免狀及供託受領書預リ證又ハ供託受領書預リ證ヲ兼ネタル移入免狀ハ小荷物及貨物ト共ニ荷受人ニ交付スベシ

第六節 關釜連絡船ニ於ケル取扱

第三十三條 關釜連絡船船長ハ左ノ各號ニ依リ目錄ヲ作成シ之ヲ釜山稅關ニ提出スルモノトス
往航(下關↓釜山)

一 積荷目錄ヲ作成スルモノ

行	先	荷物ノ種別	朝鮮移出要申告又ハ不要申告ノ區別
イ	釜山	小荷物	朝鮮移入不要申告ノモノ
ロ	朝鮮	小荷物	朝鮮移入不要申告ノモノ
ハ	滿洲	小荷物	朝鮮移入不要申告ノモノ(外國貨物ヲ除ク)
ニ	朝鮮稅關所在驛所以外ノ各驛山	貨物	朝鮮移入要申告ノモノ

二 鐵道運送貨物運送目錄ヲ作成スルモノ

行	先	荷物ノ種別	朝鮮移出要申告又ハ不要申告ノ區別
イ	朝鮮稅關所在驛所(釜山ヲ除ク)	小荷物	朝鮮移入要申告ノモノ
ロ	滿洲	小荷物	朝鮮移入要申告ノモノ
ハ	朝鮮稅關所在驛所	小荷物	朝鮮移入要申告ノモノ
ニ	滿洲	附隨小荷物	船内稅關檢査ノ際鎖錠又ハ旅客不在等ノ爲稅關檢査未済ノモノ

三 小荷物及手荷物輪移入申告書ヲ作成スルモノ

行	先	荷物ノ種類	朝鮮移出入要申告又ハ不要申告ノ區別
イ	朝鮮税關所在驛所	小荷物	朝鮮移入要申告ノモノ
ロ	以外ノ各驛	小荷物	朝鮮移入要申告ノモノ

復航(釜山↓下關)
積荷目録ヲ作成スルモノ

發	送	地	荷物ノ種類	朝鮮移出要申告又ハ不要申告ノ區別
イ	朝鮮	朝鮮	小荷物	朝鮮移出不要申告ノモノ
ロ	滿洲	朝鮮	小荷物	朝鮮移出要申告ノモノ
ハ	滿洲	朝鮮	小荷物	朝鮮移出要申告ノモノ

註一 關釜連絡船船長ノ作成スベキ目録ノ様式ニ付テハ様式第九號乃至第十一號參照
註二 朝鮮發移出要申告小荷物ハ京城發ノモノハ京城驛長、釜山營業所發ノモノハ釜山營業所驛長、其ノ他發ノモノハ釜山驛長ニ於テ朝鮮移出申告ヲ爲シ之ヲ積荷目録ニ兼用ス

第七節 手荷物及附隨小荷物ノ通關手續

第三十四條 手荷物及附隨小荷物ニ對シテハ下關釜山間、新潟羅津間、敦賀羅津間ノ各連絡船内ニ於テ旅客自ラ乘組稅關官吏ノ朝鮮移出檢査ヲ受ケザル場合ニシテ該荷物中ニ課稅品アルトキハ直接旅客ヨリ税金ヲ納付スルモノトス
旅客ガ前項ノ檢査ヲ受ケザル場合ニシテ該荷物中ニ課稅品アルカ又ハ該荷物ニ鎖錠封印ヲ施シアルガ爲稅關ニ留置セラレタルトキハ下關、釜山、新潟港、敦賀港、清津港、羅津港ノ移出入驛港ヨリ直ニ其ノ旨ヲ著驛ニ通知スベシ
前項ノ荷物ニ對シ旅客ヨリ移出入驛港ニ於テ通關手續ノ代辦ノ申出アリタルトキハ荷物明細書式紙ヲ流用シ旅客ヲシテ要項ヲ記載提出セシメ移出入驛港ニ送付若ハ電報ヲ以テ其ノ要旨ヲ通知スベシ此ノ場合該荷物が鎖錠ヲ施シタルモノナルトキハ合鍵ヲ移出入驛港ニ送付スルモノトス

註一 合鍵ノ送付ヲ要スル場合ハ移出入驛港ハ著驛ニ對シ荷受人ノ住所ヲモ電報スルコト

第三十五條 規則第二十一條第一項ニ依リ移出入驛港ニ留置ノ手荷物及附隨小荷物ヲ規則第四條及同第二十四條ニ規定スル稅關所在驛所ニ廻付セムトスルトキハ移出入驛港ニ於テハ左ノ各號ニ依リ取扱ヲ爲スモノトス

- 一 稅關ニ對シ朝鮮移出又ハ朝鮮移入手續未済荷物トシテ陸路運送ノ申告ヲ爲スコト
- 二 陸路運送申告書ノ品名欄ニハ單ニ「旅具」ト記入シ荷物ノ番號欄ニハ手荷物合符又ハ手荷物切符番號ヲ記入スルコト
- 三 手荷物合符、手荷物切符及小荷物切符ノ著驛名ヲ廻送セムトスル稅關所在驛所名ニ赤書訂正スルコト尙此ノ場合其ノ切符餘白ニ「外國貨物」ト附記スルコト

四 規則第二十條第二項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物賃訂正通知書ヲ發行スルコト
第三十六條 前條ニ依リ移出入驛港留置手荷物及附隨小荷物ノ廻付アリタルトキハ當該驛ニ於テハ旅客ニ對シ荷物到着ノ通知ヲ爲スベシ

前項ノ荷物ニ對シテハ朝鮮移出手續又ハ朝鮮移入手續未済ノ儘荷受人ニ引渡シ荷受人ヲシテ朝鮮移出手續又ハ朝鮮移入手續ヲ爲サシムベシ此ノ場合旅客ヨリ通關手續ノ代辦ノ申出アリタルトキハ荷物明細書式紙ヲ流用シ旅客ヲシテ要項ヲ記入提出セシムベシ

前項及第三十四條ニ依リ通關手續ノ代辦ヲ爲シタルトキハ第五節著驛ニ於ケル取扱ニ關スル規定ヲ準用ス
第二項ノ手荷物ガ配達ヲ要スルモノナルトキハ通關手續終了後配達ノ取扱ヲ爲ス此ノ場合他驛ニ轉送シテ配達スルモノニ在リテハ手荷物切符ノ著驛名ヲ抹消シ新ニ驛名札ヲ附シタル上受持驛ニ無賃ニテ廻送スルモノトス

第三章 日本滿洲間
第一節 通則

第三十七條 規則第二十三條ニ依リ通關手續ノ代辨ヲ爲スベキ驛及其ノ取扱範圍ハ左ノ通トス

註一 日本滿洲間發着ノ荷物ニ對シ通關手續ニ付關係アル主ナル法令ヲ示セバ左ノ如シ

日本關係

一 關稅關係

關稅法、同法施行規則

二 關稅率關係

關稅定率法、同法施行規則

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件

資澤品等ノ輸入稅ニ關スル件

關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル件

三 保稅地域關係

保稅倉庫法、保稅工場法、同法施行規則

四 輸出入制限及取締關係

別記第二號根據法令欄參照

五 戻免稅又ハ內國消費稅拂戻關係

砂糖消費稅法、雜物消費稅法、骨牌稅法、以上各法施行規則

酒精、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ノ輸出入稅ニ關スル件

輸出菓子、糖果原料砂糖戻免稅法、同法施行規則

製造品並ニ輸入原料品及之ニ對スル輸入稅ノ免除又ハ拂戻ニ關スル件

滿洲關係

關稅法、同法施行規則

保稅法

滿洲國稅關輸出稅規則

賑災附加稅法

關東州關係

關東州租借地稅關假規則

一 輸出入手續

イ 小荷物

番號	代辨手續	經由	通關擔當驛	發着區
一	日本輸出手續	關釜間 安東 上三峰	イ 下關 (省) ロ 安東 (總局) ハ 上三峰 (總局) ニ 新潟港 (北日本) ホ 敦賀港 (北日本) ヘ 羅津津 (總局)	省線發滿洲著 (朝鮮移入要申告荷物及電球、珐瑯鐵器、ゴム靴、 竝ニ同甲被及同底、靴下、人造絹織物、燐寸、 麻藥類、綿糸、綿製品ニ限ル) 省線發滿洲著 (イニ依リ下關ニテ代辨スルモノヲ除ク) 省線發滿洲著 (電球、珐瑯鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴 下、燐寸、麻藥類ニ限ル) 省線發滿洲著 (電球、珐瑯鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴 下、人造絹織物、燐寸、麻藥類ニ限ル) 省線發滿洲著 (ニ、ホニ依リ新潟港、敦賀港ニテ代辨スルモノ ヲ除ク)
二	日本輸入手續	大連 航路 安東 關釜間 航路 上三峰 航路 上三峰 航路	ト 神戶港 (近商船) 長崎港 (近商船) チ 安東 (總局) 上三峰 (同右) リ 清津港 (北日本) 羅津津 (同右) 又 神戶港 (近商船) 長崎港 (近商船) 又 長崎港 (近商船)	省線發滿洲著 (全部) 滿洲發省線著 (全部) 滿洲發省線著 (全部) 滿洲發省線著 (全部)

口貨物

番號	代辦手續	經由	通關擔當驛	發著區間
一	日本輸出手續	<p>關釜間 路間 上圖安 三峰們東</p> <p>北鮮航路 上圖安 三峰們東</p>	<p>イ 稅關所 (省)</p> <p>ロ 下關 (省)</p> <p>ハ 上圖安 三峰們東 (同右)</p> <p>ニ 圖們 (總局)</p> <p>ホ 稅關所 (省)</p> <p>ヘ 新潟港 (北日本)</p> <p>チ 敦賀港 (北日本)</p> <p>リ 圖們 (總局)</p> <p>ヌ 稅關所 (省)</p>	<p>省線稅關所在驛所發滿洲著但シ集貨スルモノニ限ル</p> <p>(一)省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發滿洲 (奉天、新京、八區、龍井驛ヲ除ク) 著</p> <p>(二)朝鮮移入要申告荷物及電球、珐瑯鐵器、ゴム、靴、同甲被及同底、靴下、人造絹織物、綿絲、綿製品ニ限ル</p> <p>(三)省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發奉天、新京、八區、龍井驛著</p> <p>省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發滿洲 (安東、圖們驛ヲ除ク) 著</p> <p>省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發圖們著但シ配達スルモノニ限ル</p> <p>(ロニ依リ下關ニテ代辦スルモノヲ除ク)</p> <p>省線稅關所在驛所發滿洲著但シ集貨スルモノニ限ル</p> <p>省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發滿洲著</p> <p>(電球、珐瑯鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、人造絹織物、綿絲、綿製品ニ限ル)</p> <p>省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發滿洲 (圖們ヲ除ク) 著</p> <p>(ヘ、トニ依リ新潟港、敦賀港ニテ代辦スルモノヲ除ク)</p> <p>省線 (稅關所在驛所ヲ除ク) 發圖們著但シ配達スルモノニ限ル</p> <p>(ハ、トニ依リ新潟港、敦賀港ニテ代辦スルモノヲ除ク)</p> <p>省線稅關所在驛所發滿洲著但シ集貨スルモノニ限ル</p>

三	四
滿洲輸入手續	滿洲輸出手續
<p>關釜間 航路 上圖安 三峰們東</p> <p>北鮮 航路 上圖安 三峰們東</p> <p>大連 航路</p>	<p>大連 航路</p> <p>上圖安 三峰們東 關釜間 航路</p> <p>上圖安 三峰們東 關釜間 航路</p> <p>大連 航路</p>
<p>ル 稅關所 (總局)</p> <p>ヲ 上圖安 三峰們東 (同右)</p> <p>ワ 稅關所 (總局)</p> <p>カ 清津津 (總局)</p> <p>ヨ 稅關所 (總局)</p> <p>タ 大連埠頭 (總局)</p>	<p>ツ 大連港 (近商船)</p> <p>ソ 清津津港 (北日本)</p> <p>レ 上圖安 三峰們東 (同右)</p> <p>タ 大連埠頭 (總局)</p> <p>ヨ 稅關所 (總局)</p> <p>レ 上圖安 三峰們東 (同右)</p> <p>ソ 清津津港 (北日本)</p> <p>ツ 大連港 (近商船)</p>
<p>省線發奉天、新京、哈爾濱、龍井驛著</p> <p>(滿洲內外國貨物ノ運送ヲナスモノ)</p> <p>省線發滿洲著 (關東州ヲ除ク)</p> <p>(ルニ依リ著地稅關所在驛所ニテ代辦スルモノヲ除ク)</p> <p>省線發奉天、新京、哈爾濱、龍井驛著</p> <p>(滿洲內外國貨物ノ運送ヲナスモノ)</p> <p>省線發滿洲 (關東州ヲ除ク) 著</p> <p>(ヨニ依リ著地稅關所在驛所ニテ代辦スルモノヲ除ク)</p> <p>滿洲發省線著</p> <p>(全部)</p>	<p>滿洲發省線著</p> <p>(全部)</p> <p>滿洲發省線著</p> <p>(全部)</p> <p>滿洲發省線著</p> <p>(全部)</p>

註二 通關手續ヲ荷主ガ自辨スルモノノ範圍ニ付テハ規則第二十三條參照

註三 滿洲內外國貨物運送ノ取扱ヲ爲ス小荷物ノ範圍ニ付テハ第二百二十九條參照

註四 發驛ニ送還ノ場合ニ於ケル日本輸入手續ハ本號ノ規定ニ依ラズ當初日本輸出手續ノ代辦ヲ爲シタル驛所ニ於テ該輸入手續ヲ代辨ス

註五 省線稅關所在驛所著 (註四ノ場合ヲ除ク) ノモノニシテ運輸機關ニ於テ著地ニテ通關手續ヲ爲スラ便ト認ムルモノハ著驛ニ於テ日本輸入手續ヲナス

註六 新潟港ハ人造絹織物ノ輸出港ニ指定ナキヲ以テ發驛ニ於テ日本輸出手續ヲ爲シタルモノ以外ハ新潟港ニテ連帶運輸ノ取扱ヲ爲サズ

註七 日本ト關東州トノ相互間ニ發著スルモノノ大連港ニ於ケル滿洲輸出入手續ニ關シテハ規則第二十三條註參照

大連 航路	二 日本輸入手續		三 滿洲輸入手續																						
	安東 關路	安東 關路	大連 航路	上三 峰	關 門 們	安東 關路	安東 關路	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	關 門 們	
ル	ヲ	ワ	カ	ヨ	タ	レ	ソ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ	キ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
神戶港 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）	安東 關路 （同右）
省線（稅關所在驛所ヲ除ク）發滿洲著（全部）	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル	滿洲發省線稅關所在驛所著但シ配達スルモノニ限ル

大連 航路	四 滿洲輸出手續	
	北鮮航路 （上三峰）	北鮮航路 （上三峰）
ク	オ	ク
大連港（商船）	濟南港（北日本） （同右）	大連港（商船）
滿洲（大連港ヲ除ク）發省線著（全部）	滿洲（關門ヲ除ク）發省線著（全部）	滿洲（大連港ヲ除ク）發省線著（全部）

註八 通關手續ヲ荷主ガ自辨スルモノノ範圍ニ付テハ規則第二十三條參照

註九 滿洲内外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲ス貨物ノ範圍ニ付テハ第二百二十九條參照

註一〇 日本ト關東州トノ相互間ニ發著スルモノノ大連港ニ於ケル滿洲輸出入手續ニ關シテハ規則第二十三條註參照

註一一 新潟港經由ノ人造絹織物ハ運送運轉ノ取扱ヲ爲サズ（註六參照）

註一二 發驛ニ返還ノ場合ニ於ケル日本輸入手續ハ本號ノ規定ニ依ラズ當初日本輸出手續ノ代辨ヲ爲シタル驛所ニ於テ該輸入手續ヲ代辨ス

註一三 第一號イ及ロニ依リ下關驛、新潟港、敦賀港ニ於テ日本輸出手續ヲ代辨スル小荷物及貨物中「綿糸、綿製品」ノ範圍左ノ如シ

日本輸入稅番號

品名

二七二 綿織絲（別號ニ掲ゲタル特殊綿織絲ヲ除ク）

二七二ノ二 特殊綿織絲

二七三 綿絲及長十メートルノ重量三グラムヲ超エザル綿線

二九一ノ内 別號ニ掲ゲザル織絲ニシテ輸入ノモノ

二九二ノ内 別號ニ掲ゲザル絲ニ輸入ノモノ

二九八 綿織物

二九九ノ内 亞麻、苧麻、ラミー、大麻又ハ黃麻ト細トノ交織物

三〇一ノ内 毛綿交織物及毛細ト細トノ交織物

三〇三ノ内 別號ニ掲ゲザル絹入ノ織物ニシテ輸入ノモノ

三〇四ノ内 別號ニ掲ゲザル交織布ニシテ輸入ノモノ

三〇五ノ内 メリヤス地其ノ他類似ノ編ミタル布帛（超毛シタルト否トヲ別タズ）ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ

- 三〇六ノ内
 - 三二五ノ内
 - 三二六ノ内
 - 三三四ノ内
 - 三三四ノ内
 - 三四六ノ内
 - 三四七ノ内
 - 三四八ノ内
- レース地及網地ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ
 浴布(單製ノモノ)ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ
 ブランケット(單製ノモノ)ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ
 漁網又ハ獵網ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ
 肌衣(上下ヲ別タズ)ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ
 手袋ニシテ綿製品又ハ綿入ノモノ
 足袋ニシテ綿製又ハ綿入ノモノ

二 植物検査

註一四 接續驛ノ關係ニ依リ連帶運輸ノ取扱ヲ爲サザルモノアリ第四條註參照
 註一五 滿洲發朝鮮經由内地著ハ鮮滿ノ國境及内地側ニ於テ各検査ヲ施行セラル
 三 家畜竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ノ検査

經由	由	荷物ノ種別	代辦ノ範圍	通關擔當驛	備考
關釜間航路	イ 關釜間航路 ロ 大連航路 ハ 北鮮航路	(一) 小荷物 貨物	朝鮮輸入検査	釜山(朝鮮局) 安東(同) 上三峰(同右)	イ 内地移入要検査ノ範圍ハ第四條參照 ロ 家畜ニ付テハ附添人アルモノニ限
		(二) 小荷物 貨物(下關著ヲ除ク)	内地移輸入検査	下關(北日本) 敦賀(同) 神戶(同右)	

貨物	(二) 内地移入検査	關釜連絡(省)	船船長(省)	ル但シ荷送人ニ於テ通關擔當者ヲ指定シタル場合ハ附添人ナシト雖之ヲ取扱フ爲ス
----	------------	---------	--------	---------------------------------------

註一六 本號ノ小荷物及貨物ハ關釜間航路經由ニ限リ取扱ヒ其ノ他航路經由ハ連帶運輸ノ取扱ヲ爲サズ
 註一七 獸血ニ付テハ本號ニ準ジ検査ヲ受クルモノトス
 註一八 毛ノ範圍ニ付テハ第五條註參照
 註一九 滿洲發朝鮮經由内地著ハ鮮滿ノ國境及内地側ニ於テ各検査ヲ施行セラル

第三十八條 規則第二十九條ニ依リ通關手續代辦手数料ハ左ノ通トス

- イ 日本輸出、日本輸入、滿洲輸出、滿洲輸入ノ各手續毎ニ
 小荷物(手荷物、附隨小荷物ヲ含ム) 一口ニ付 金十五錢
- 貨物 同 金四十錢
- 植物検査及動物検査手續

小荷物(手荷物、附隨小荷物ヲ含ム)貨物共 實際ニ要シタル費用

前項イニ掲グル手数料ニシテ小荷物及貨物ニ對スルモノハ小荷物切符又ハ貨物通知書ニ依リ運賃料金が現拂(後拂豫納ヲ含ム以下同ジ)ノモノニ在リテハ荷送人ヨリ又著拂ノモノニ在リテハ荷受人ヨリ收受ス
 第一項イニ掲グル手数料ニシテ手荷物又ハ附隨小荷物ニ對スルモノ及ロニ掲グル手数料ハ立替金通知書ニ依リ旅客又ハ荷受人ヨリ收受ス

註一 植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辦手数料ニ付テハ第六條註參照
 註二 滿洲發内地著植物及動物等ニ對シテハイニ依ル滿洲輸出及日本輸入ニ對スル通關手續代辦手数料ノ外ロニ依ル鮮滿國境及下關ニ於ケル検査、検査ニ對スル通關代辦手数料(實費)ヲ要ス

第二節 發驛ニ於ケル取扱

第三十九條 日本輸出入手續及滿洲輸出入手續ノ代辨ヲ爲スベキ小荷物及貨物ノ託送者ニ對シテハ荷物一口毎ニ様式第二號ノ荷物明細書ヲ交付シ要項ヲ記入提出セシメ仕入書ト共ニ關釜間航路經由ノモノハ下關、大連航路經由ノモノハ三ノ宮、湊川、下關、門司及北鮮航路經由ノモノハ新潟、沼垂又ハ敦賀港ノ夫々ノ接續驛宛送付スルモノトス

註一 左ノ地點接續ノ小荷物又ハ貨物ノ取扱範圍ノ下記ノ通トス（連帶運輸ノ範圍參照）

- 三ノ宮（大連航路） 小荷物ニ限ル
- 湊川（〃） 貨物ニ限ル
- 下關（〃） 貨物ニ限ル
- 門司（〃） 小荷物及貨物共取扱フ
- 新潟（北鮮航路） 小荷物ニ限ル
- 沼垂（〃） 貨物ニ限ル
- 敦賀港（〃） 小荷物及貨物共取扱フ

規則第二十五條第三項ニ依リ仕入書ノ添附ヲ省略シタル場合ニ於テハ荷送人ヲシテ荷物明細書ニ所定ノ要項ヲ記入セシムルノ外「仕入書ナシ」ト記入セシメ發驛ニ於テハ小荷物切符丙片裏面及貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スベシ

仕入書ナシ

- 註二 荷物明細書ノ記載方ハ様式第二號裏面參照
- 註三 滿洲行新聞紙雜誌（原稿ヲ含ム）及其ノ附録トシテ無代配付スル繪畫等ニ對シテハ假令外國貿易船ニ積載スル場合ト雖

仕入書及荷物明細書ノ添附ヲ要セズ但シ骨牌ハ新聞紙雜誌ノ附録ト爲スモ課税セラルルニ付他ノ分ト區別シ荷物明細書及仕入書ヲ添附スルコト

註四 通關擔當驛ニ於テ作成スル朝鮮輸入（通過）要檢査植物申請書ニハ植物ノ種別ヲ區分記載ヲ要スルニ付荷物明細書ノ載記方ニ付テハ第七條註參照

註五 滿洲發日本輸入ノ木材類、圖書類及活動寫眞用フィルムニ對シテハ鐵道總局線ニ於テハ本號明細書ニ依ラズ同線所定ノ明細書ヲ提出セシム

註六 滿洲發日本輸入手續ノ代辨ヲ爲スベキ引越荷物ニ對シテハ荷物明細書ノ外引越荷物免稅願書ヲ發驛ニ提出セシム内地發滿洲著官吏ノ引越荷物ニ對シテハ荷物明細書ノ外引越荷物免稅願書（便宜用式）ヲ添附シ置クヲ利便トス内地發滿洲著引越荷物ニ對シテハ所定ノ荷物明細書ニ轉居ノ理由、職業、家族數ヲ附記スルノ外左記例示ノ如キ内容ヲ詳記シタル別紙ヲ添附シ置クヲ利便トス

(例)

包裝別	箱數	番號	品名	數量	價格	
行李	1	1號	總額 仙紗 男羽 衣袴帶襪	3 4 1 2 10	6.00 30.00 12.00 18.00 66.00	
箱	1	2號	炊事道具ニユーム 外靴 下計	55 2 1 58	35.00 17.00 2.50 54.50	
布袋	1	3號	夏服 上下布ツ 麻綿毛ツ 計	2 4 4 2 3 3 11	20.00 40.00 25.00 4.50 89.50	
合計					79	210.00

2	滿洲國軍隊各部隊ニ供給スル軍需品ノ滿洲輸入税ノ免除ヲ受ケムトスル場合	軍需品ニ付免税	各兵團長(師團ヲ除ク) (糧食品、建築材料及酒保品ヲ除ク) 各部隊長 (生魚、生野菜ニ限ル)
3	左ノ荷物ニシテ滿洲輸入税ノ免除ヲ受ケムトスル場合 イ 滿洲國駐在大公使、領事館用品 特別ノ取扱ヲ受クル物品	イ 何か公使ノ用品 イ 當該大公使、領事館發給ノ證明書 □ 何々ノ物品 □ 當該個所發給ノ證明書	滿洲國治安部大臣發給ノ軍需品通關證明書

前項第一號7及8ノ小荷物及貨物ニ對シテハ小荷物切符内片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

擔保提供

擔保解除

- 註一 在滿日本軍部隊宛ノ慰問品ノ無税通關ニ付テハ現在例規の取扱ナク隨ツテ滿洲輸入税ノ免否ハ個々ノ事情ニ即シ稅關ノ裁量ニ依リ決定スルニ付斯ノ種荷物受託ノ際ハ軍部隊長ノ慰問品ナルコトノ證明書ヲ提出セシムルコト
- 右證明書ニハ發送人、受取人、品名、數量ノ外軍隊慰問品ニ付無税通關セラレタキ旨ヲ記載セシムルコト
- 註二 輸出入免狀及同認許書ノ様式ニ付テハ様式第十五、十六、二十七及二十八號參照
- 註三 滿洲國政府ノ用品ニ付テハ軍用品等二、三ノ例外ヲ除キ原則トシテ課稅セラルルモ免税ノ取扱ヲ受ケムトスル場合ハ荷物明細書記事欄ニ「滿洲國政府ノ用品」ト記入セシムルノ外滿洲輸出入免稅證明書ヲ添附セシムルヲ要ス
- 註四 免稅品ノ主ナルモノトシテ他ニ左ノ如キモノアリ
- イ 駐滿日本海軍軍需品
 - 滿洲電信電話會社通信專用物品

註五

在滿陸軍各部隊ニ供給ノ軍需品ニ關シテハ左記參照

○軍需品免稅通關手續ニ關スル件(康三、八財稅關第九二三號)
稅務司長通牒各稅關長宛

今般關東軍當局ヨリ軍需品通關證明取扱方ヲ別紙ノ通改正シタル趣申越有之タルニ付委細右ニ依リ了知ノ上軍需品通關上遺憾ナキヲ期セラレ度此段通牒ス

(別紙)

○軍需品通關證明取扱規程ノ件(昭一一、八關經衣第二、六八〇號)
關東軍司令官達關東軍隷下一般宛

軍需品通關證明取扱規程別冊ノ通定メ昭和十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別冊)

○軍需品通關證明取扱規程

第一 在滿陸軍部隊ニ於テ滿洲國外ヨリ軍需品ヲ供給者ヲシテ輸入セシムル場合ノ通關證明ノ取扱ハ本規定ニ依ルベシ
本規程施行ニ必要ナル事項ハ軍經理部長ノ定ムル處ニ依ルベシ

註一 本規定ニ於テ「供給者」トハ單純ナル物件供給者所謂商人ノ謂ニシテ陸軍官衙又ハ部隊ハ之ヲ含マザルモノトス

第二 輸入スル軍需品ニ付其ノ供給者ヲシテ關稅ノ免除ヲ受ケシムルノ要アル場合ニハ本規程ニ依リ軍需品通關證明書ヲ交付スベシ

註一 陸軍部隊又ハ官衙ノ直接輸送ノ場合又ハ代理輸送セシムル場合ニ在リテハ本規程ニ據ラズ單ニ輸送品目ニ付左ノ様式ノ通告書ニ依リ所定事項ヲ稅關ニ通告スレバ可ナリ

荷送人 關東陸軍倉庫大連支庫		通 知 書		荷送人 自 大連驛 至 ……驛	
貨物名及 該表裝記號	箇 數	重 量 一箇平均	總 量	容 積	價 格
上記貨物發送候也					
昭和 年 月 日			稅 關 御 中		
荷送人			關東軍倉庫大連支庫		

第三 前項ノ通關證明書ノ發行擔任官ハ左ノ各號ニ依ル

- イ 兵器並兵器用物品
 - 軍兵器部長
 - 師團兵器部長
 - 野戰兵器廠長
 - 野戰航空廠長
 - 各部隊長
 - 各兵團長(師團ヲ除ク)
- ロ 生魚、生野菜
- ハ イ以外ノ物品
 - 但シ糧食品、建築材料及酒保品ヲ除ク
- ニ イ以外ノ物品全部
 - 軍經理部長
 - 師團經理部長
 - 關東陸軍倉庫長

第四 通關證明書ノ有效期間ハ發行日ヨリ三十日間トス
 第五 軍需品通關證明取扱ニ關スル検査ハ通關證明書ノ發行擔任官區分ニ從ヒ軍(師團)兵器、經理部長ニ於テ之ヲ行

フベシ

◎軍需品通關證明取扱手續ノ件(昭一、八關經衣第二、六八一號)
 關東軍經理部長報
 軍需品通關證明取扱規程別冊關經衣第二、六八〇號ノ通定メラレタルニ就テハ之ガ取扱手續別冊第二ノ通制定致シタルニ付通牒ス

- (別冊) 第二
- ◎軍需品通關證明取扱手續
 - 第一 本手續ハ軍需品通關證明ノ取扱ニ關スル細部ノ事項ヲ規程スルモノトス
 - 第二 通關證明書ヲ供給者ニ交付スル場合ニハ附錄第一様式ニ依リ軍需品通關證明取扱規程(以下單ニ規程ト稱ス)第三ノ發行擔任官ニ之ヲ請求スルモノトス但シ急ヲ要スル場合又ハ已ムヲ得ザル場合ニハ最寄發行擔任官ニ請求シ又ハ電報ニ依リ請求スルコトヲ得此ノ場合ニハ事後速ニ前號ノ請求手續ヲ爲スモノトス
 - 註一 關東軍兵器部ノ取扱ニ係ル軍需品通關證明請求書ノ様式左ノ如シ

部 隊	昭和 年 月 日
兵器班經由	第 號
第 號	軍需品通關證明請求書
關東軍兵器部 御中	部隊名
供給者住所氏名	
發送者住所氏名	
納 期	通關稅關名
發送地(停車場)名	到著地(停車場)名
品 目	數量
	單 價
	價 小 計
	梱 數
	重量又ハ
	數 用 途
	費 支 出

- 第三 前項但書ニ依ル電報請求アリタル場合發行擔任官ハ之ヲ調査シ發行スベキモノト認定シタルトキハ税關及部隊ニ電報ヲ以テ承認ノ手續ヲ爲シ事後速ニ第四項ニ依リ通關證明書ヲ直接税關及請求部隊ニ送付スルモノトス
- 第四 發行擔任官通關證明書ヲ發行シタルトキハ其ノ正本ハ請求部隊ニ送付シ請求部隊ハ之ヲ供給者ニ交付スルモノトス
- 第五 通關證明書ノ様式ハ附錄第二ニ依ル
- 第六 内地ニ追送要求或ハ内地ヨリ購入スルモノ又ハ補給諸廠ヨリノ補給品ト同品種ノモノヲ購入スル場合ハ通關證明書ニ其ノ理由、購入價格ヲ記入スルモノトス

獨歩一經第一號 軍需品通關證明請求書

昭和 年 月 日

關東軍經理部 御中

○責任者印 獨立守備步兵第一大隊 印

品目	數量	價格		數量又ハ才數
		單價	小計	
品目	數量	單價	小計	數量又ハ才數

備考一 決議書、契約書、請書アルモノハ其ノ寫ヲ添附スルモノトス
 調製上ノ注意
 一 供給者住所氏名ハ單ニ商號ノミナラズ例ヘバ大連大矢組ト記入セズ「大連市浪速町二〇大矢組高木庄吉」等ト記入スルコト
 二 數量ハ例ヘバ卵二〇箱ト記入スルノミニテハ其ノ數量ハ判定シ難キニ付卵二〇〇疋、一〇疋入二〇箱ト記入スルコト
 三 物品購入ノ目的(用途)及支出科目ヲ記入スルコト

附錄第二

第 號 軍需品通關證明書

昭和 年 月 日

大連税關 御中

責任者印 關東軍 經理部 印

品目	數量	重量又ハ才數	價格	
			單價	小計
品目	數量	重量又ハ才數	單價	小計

備考一 細數重量又ハ才數ニ限リ供給者ヲシテ記入セシムルコトヲ得
 調製上ノ注意
 一 乙片(正)ニハ部隊印及責任者印ヲ押捺スルコト
 二 丙片(副)ニハ責任者印ノミヲ押捺スルコト
 三 品目欄餘白ニハ「以下餘白」ノ文字ヲ用ヒ抹消スルコト
 四 文字ヲ訂正、削除シタルトキハ何字訂正ト註記シ訂正印ヲ押捺スルコト

附則

昭和七年十二月關經第三一一號軍需品通關證明手續ハ昭和十一年八月三十一日限之ヲ廢止ス

第四十一條 輸出入禁制、制限及取締品竝ニ輸出入ニ付特ニ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證等ヲ要スルモノノ範圍ハ別記第二號(重要輸出品取締法ニ依ル検査機關名及貿易組合法ノ適用アル重要輸出品ニ對シ検査ヲ行フ組合名ニ付テハ本號附錄ニ掲グ)ノ通トス

前項小荷物及貨物受託ノ際ハ荷送人ヨリ所定ノ許可書其ノ他ヲ提出セシムルモノトス

爲替輸出報告書ノ式紙ハ關係驛所ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス

註一 様式第十七乃至第十九號ノ爲替輸出報告書ノ記載方ニ付テハ同報告書注意事項ニ依ルノ外左ノ各號參照ノコト

一 記載方

甲 全部無爲替輸出報告書

上部別欄

輸出申告番號ハ稅關ニ於テ記載スルニ付發驛ニ於テハ記載ノ要ナシ

託送シタル年月日ハ發驛ニ託送シタル年月日ヲ記載スルコト

欄外

年月日ハ報告書提出ノ日付ヲ、住所氏名又ハ商號ハ輸出申告者ノ住所氏名又ハ商號ヲ記載シ捺印スルコト

尙會社ノ場合ニハ代表者氏名ヲ併記シ捺印スルコト

第1欄

荷物ノ記號、番號、品名、箇數及數量欄ナルモ品名、箇數及重量ノミヲ記載シ記號及番號ハ省略スルコトヲ得

第2欄

荷物ノ價額ヲ記載スルコト

尙本價額ハ外國居住者ニ對スル賣價(賣價確定セザルカ又ハ判明セザルモノ若ハ賣價ナキモノハ仕向地ニ於ケル見込賣價)ヲ記載スルコト

第3欄

發驛名ヲ記載スルコト

第4欄

荷物ノ宛地及其ノ到着豫定時期ヲ記載スルモノナルガ宛地ニ付テハ滿洲、關東州、北滿等トセズ新京、大連、哈爾濱ノ如ク其ノ地名ヲ適確ニ記載シ又到着豫定時期ニ付テハ何月何日頃到着ノ豫定ト記載スルコト

第5欄

荷物ノ名宛人ノ住所、氏名又ハ商號ヲ記載スルコト

第6欄

イ 本欄ニハ送狀ヲ作成シタル時ノミ其ノ送り狀金額ヲ記載シ然ラザル場合ハ記載ヲ要セズ

金額ハF・O・B(原價ニ鐵道ニ託送スル迄ノ荷造費、小運送費等ノ費用ヲ加算シタルモノ即本船渡價額)及C・I・F(原價ニ發著區間運賃及保險料込價額)等ノ種類ヲ記入シ又本金額ガ單ナル見込價額ナル場合ハ其ノ旨ヲ附記スルコト

ハ 送り狀金額ガ外國通貨ヲ以テ表示サレ居ルトキハ該通貨ニ依ル價額ヲ記載スルコト尙斯ル場合ニハ成ルベク其ノ金額ノ邦貨換算額及其ノ換算ニ使用シタル爲替相場ヲ附記シ置クコト

第7欄

爲替ヲ取組マザル理由ヲ記載スルモノナルガ其ノ理由ニ付テハ具體的ナルコトヲ要シ出來得ル限り詳細ニ記載スルコト尙理由ニ單ニ「高價習ニ依ル」ト記載スルハ取締上支障アルニ付之ヲ避クルコト

第8欄

本欄ニハ荷物輸出後ニ於ケル荷物代金ノ領收方法及其ノ豫定時期ヲ記載スベキモノナルガ之亦具體的ニ且詳細ナル記載ヲ要シ殊ニ時期ニ付テハ「一ヶ月以内」、「二ヶ月以内」等トセズ「何月何日頃」ト記載スルコト

第9欄

本欄ニハ以上各欄ノ記載事項以外ノ參考事項ヲ記載スルコト例ヘバ無爲替輸出ニ付大藏大臣ノ許可ヲ要スルモノニシテ其ノ許可ヲ受ケタル場合ニハ「無爲替輸出許可證第何號」、「無爲替輸出貨物代金不同收許可證第何號」又ハ「代金回收期間延長許可證第何號」等ノ如ク許可ノ種類ト番號ヲ記載スルガ如シ

乙

一部有爲替輸出報告書

上部別欄

欄外

第1欄乃至第6欄 甲ノ場合ニ同ジ

第7欄

(一) 爲替取組金額ノ欄

イ 外貨ニ依ル取組ノ場合ハ外貨欄ニ外貨取組金額ヲ、邦貨ノ欄ニ邦貨ニ換算シタル額ヲ執レモ記載

ロ 邦貨ニ依ル取組ノ場合ハ邦貨ノ欄ニ邦貨取組金額ノミ記載

(二) 爲替取組年月日ノ欄 爲替取組ノ年月日ヲ記載

- (三) 爲替ノ種類及期限ノ欄 爲替ノ種類及期限ヲ記載
- (四) 爲替取組銀行ノ欄 爲替取組銀行名ヲ記載シ其ノ銀行印ト取扱者ノ印ヲ徴スルコト以上(一)乃至(三)ハ第一回提出(託送ノ際)ノ時ハ豫定ヲ第二回提出(託送後)ノ時ハ實際ヲ記載
- (四)ノ銀行及取扱者印ハ第一回提出ノ時ハ之ヲ要セス第二回ノ時ノミ之ヲ要スルモノトス
- 第8欄 價額ノ一部ニ付爲替ヲ取組マザル理由ヲ記載スルモノナルガ其ノ記載方ニ付テハ甲ノ場合第7欄ニ同ジ
- 第9欄 爲替ヲ取組マザル部分ノ代金額ヲ契約通貨ニ依リ記載シ其ノ受領方法ト豫定期間ヲ記載スルモノナルガ其ノ記載方ハ甲ノ場合ノ第8欄ニ同ジ
- 第10欄 參考事項ヲ記載スルコト例ヘバ一部無爲替輸出ニ付大藏大臣ノ許可ヲ要スルモノニシテ其ノ許可ヲ受ケタル場合ニハ「無爲替輸出許可證第何號」、「無爲替輸出貨物代金不回收許可證第何號」又ハ「代金回收期間延長許可證第何號」等ノ如ク許可ノ種類ト番號ヲ記載スルガ如シ

丙 全部有爲替輸出報告書

上部別欄 甲ノ場合ニ同ジ

第1欄乃至第4欄

第5欄

甲ノ場合ノ第6欄ニ同ジ

第6欄

乙ノ場合ノ第7欄ニ同ジ

第7欄

參考トナルベキ事項ヲ記載

二 記載例

1 各種輸出報告書記載例

命令第十三條ノ二(又ハ第十三條ノ四)ノ規定ニ依ル全部無爲替輸出報告書

輸出申告番號 (記添年月日)
輸出申告年月日 (記添年月日)
(郵便ニ依ル場合)
(ハ差出年月日) 12-8-1

昭和12年8月1日

住 所 東京市神田區錦町二ノ三 野中 太郎

1	貨物ノ記號、番號、品名、箇數及重量 (郵便ニ依ル場合ニハ貨物ノ品名、箇數及重量)	箱メリヤスシャツ 2箱 530疋
2	貨物ノ價	¥400.00
3	積込場合ニハ差出便局名 (積込場合ニハ差出便局名)	(發驛名) 沙留驛
4	仕向地(郵便ニ依ル場合ニハ名宛地) 及到着豫定期	新 京 8月13日頃 新 京 到着ノ豫定
5	荷受人(郵便ニ依ル場合ニハ名宛人)ノ住所、氏名又ハ商號	新 京 市 老松町五番地 山口商會
6	送り状金額(表 示 通 貨 = 依 ル)	¥432.50(運賃 ¥31.50 保險料 1.00) C.I.F.
7	爲替ヲ取組マザル理由	二ヶ月以内ニ東京ニ於テ決済ノ契約アル爲
8	代金ノ受領方法及豫定期間	9月10日頃新 京 正隆銀行經由東京三井銀行ニ送金シ來ル
9	其ノ他參考トナルベキ事項	

- 注意
1. 貨物ノ價額ノ欄ニハ外國居住者ニ對スル實價ヲ、實價確定セズ若ハ判明セザルモノ又ハ實價チキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込實價ヲ記載シ且輸出申告價格又ハ税關告知書記載價額ヲ其ノ右傍ニ括弧書スベシ
 2. 爲替ヲ取組マザル理由ノ欄ニハ本邦内ニ在ル者ヨリ代金ノ全部又ハ一部ヲ支拂ヲ受タル場合ハ其ノ支拂人ノ住所、氏名又ハ商號、尙其ノ支拂人以外ノ者カ外國ヨリ代金ノ全部又ハ一部ヲ受領スル場合ハ其ノ者ノ住所、氏名又ハ商號ヲモ附記スベシ
 3. 郵便ニ依ル場合ニハ輸出申告番號、鐵道便ニ依ル場合ニハ積載船名ヲ記載スルニ及バズ
 4. 本報告書ノ名稱ニ記載スベキ法條ハ關係法條ノミヲ記載スベシ
 5. 爲替取組金額ノ全部ニ付償還又ハ買戻ヲ爲シタル場合ハ本報告書書式ニ依リ報告シ其ノ旨欄外ノ適宜ノ箇所ニ赤書スベシ

命令第十三條ノ三(又ハ第十三條ノ四)
ノ規定ニ依ル一部有爲替輸出報告書

輸出申告番號
輸出申告年月日 (記送年月日)
(郵便ニヨリ本場合)
(ニハ送年月日) 12-8-5

昭和12年8月5日

住名又ハ商號 小倉市砂町百十番地 代表者 長友 幸 雄 幸
氏名又ハ商號 小倉紡績株式会社

1	貨物ノ記號、番號、品名、個數及重量 (郵便ニ依ル場合ニハ貨物ノ品名、個數及重量)	白木綿 3箇 725疋
2	貨物	價額 ¥ 400.00
3	種別 (郵便ニ依ル場合ニハ差出郵便局名)	(郵便名) 小倉 8月13日頃 到着ノ豫定
4	仕向地 (郵便ニ依ル場合ニハ名宛地) 及到着豫定期間	哈爾濱 濱州路第三號ノ二 丸山三郎
5	荷受人 (郵便ニ依ル場合ニハ名宛人)ノ住所、氏名又ハ商號	哈爾濱濱州路第三號ノ二 丸山三郎
6	送り状金額 (表示通貨ニ依ル)	¥ 400.00 F.O.B
7	爲替取組金額	外貨 ¥ 100.00
		邦貨 ¥ 12-8-5
8	爲替ノ種別、種類、及期限	爲替取組銀行 橫濱正金銀行門司支店
		爲替取組期限 荷付D/P一覽後60日掛
9	價額ノ一部ニ付爲替ヲ取組マザル理由	貨物到着後檢收ノ上送金ヲ要スル契約ナラズ
10	爲替ヲ取組マザル部分ノ代金額 (契約通貨ニ依ル) 及其ノ受領方法及豫定期間	爲替ヲ取組マザル部分ノ代金額 ¥ 30,000ハ10月10日頃濱州路正金銀行門司支店經由送金受領ノ豫

- 注意
1. 外貨表示ノ爲替ヲ取組ムトキハ對貨タル邦貨額ヲ邦貨ノ換所ニ記載スベシ
 2. 輸出申告又ハ郵便差出ノ際提出スル本報告書ニ付テハ爲替取組未済ノ場合ハ7ノ欄ノ事項ハ豫定ニ依リ記載スベシ
 3. 爲替ノ種類ハ荷付D/P、荷付D/A又ハバンクノ別ヲ記載スベシ
 4. 爲替取組先銀行ノ證明ハ爲替取組銀行名ノ欄ニ其ノ圖印ヲ受クベシ
 5. 貨物ノ價額ノ欄ニハ外國居住者ニ對スル貨物ヲ、實價確定セズモハ列明セザルモノ又ハ實價ナキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル具及實價ヲ記載スベシ
 6. 且輸出申告價格又ハ税關告知書記載價格ヲ其右列ニ括弧書きスベシ
 7. 爲替ヲ取組マザル理由ノ欄ニハ本邦内ニ在ル者ヨリ代金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ受クル場合ハ其ノ支拂人住所、氏名又ハ商號、御其ノ支拂人以外ノ者ガ外國ヨリ代金ノ全部又ハ一部ヲ受領スル場合ハ其ノ支拂人住所、氏名又ハ商號ヲモ附記スベシ
 8. 郵便ニ依ル場合ニハ輸出申告番號、郵便便ニ依ル場合ニハ積載箱名ヲ記載スルニ及バズ本報告書ノ名欄ニ記載スベシ

命令第十三條ノ三(又ハ第十三條ノ四)
ノ規定ニ依ル全部有爲替輸出報告書

輸出申告番號
輸出申告年月日 (記送年月日)
(郵便ニ依ル場合)
(ニハ送年月日) 12-8-15

昭和12年8月15日

住名又ハ商號 東京市本所區大平町一〇五 代表者 角田仙吉
氏名又ハ商號 日本製靴株式会社

1	貨物ノ記號、番號、品名、個數及重量 (郵便ニ依ル場合ニハ貨物ノ品名、個數及重量)	靴 16箇 840疋
2	貨物	價額 ¥ 1,350.00
3	種別 (郵便ニ依ル場合ニハ差出郵便局名)	(發留名) 沙
4	仕向地 (郵便ニ依ル場合ニハ名宛地)	哈爾濱
5	送り状金額 (表示通貨ニ依ル)	¥ 1,450.00 C.I.F
6	爲替取組金額	外貨 ¥ 1,450.00
		邦貨 ¥ 12-8-25
7	爲替ノ種別、種類、及期限	爲替取組銀行 橫濱正金銀行東京支店
		爲替取組期限 荷付D/A一覽後60日掛



爲替取組銀行 橫濱正金銀行東京支店
(銀行印) (取扱者印)

注意

1. 貨物ノ價額ノ欄ニハ外國居住者ニ對スル實價ヲ、實價確定セズモハ列明セザルモノ又ハ實價ナキモノニ付テハ仕向地ニ於ケル見込額ヲ記載シ且輸出申告價格又ハ税關告知書記載價格ヲ其ノ右傍ニ括弧書きスベシ
2. 郵便ニ依ル場合ニハ輸出申告番號、鐵道便ニ依ル場合ニハ積載箱名ヲ記載スベシ
3. 本報告書ノ名稱ニ記載スベシキ法條ハ關係法條ノミヲ記載スルニ及バズ
4. 外貨表示ノ爲替ヲ取組ムトキハ對價タル邦貨額ヲ邦貨ノ換所ニ記載スベシ
5. 輸出申告又ハ郵便差出ノ際提出スル本報告書ニ付テハ爲替取組未済ノ場合ハ7ノ欄ノ事項ハ豫定ニ依リ記載スベシ
6. 爲替ノ種類ハ荷付D/P、荷付D/A又ハバンクノ別ヲ記載スベシ
7. 爲替取組先銀行ノ證明ハ爲替取組銀行名ノ欄ニ其ノ圖印ヲ受クベシ

□ 全部無爲替輸出報告書第7欄、第8欄及一部有爲替輸出報告書第8欄、第9欄ノ記載例（一部有爲替輸出報告書9欄ニ在リテハ本記載例ニ依ルノ外爲替ヲ取組マザル部分ノ代金額ノ記載）

全部無爲替報告書第7欄爲替ヲ取組マザル理由 一部有爲替報告書第8欄價額ノ一部ニ付爲替ヲ取組マザル理由	全部無爲替報告書第8欄代金ノ受領方法及豫定期間 一部有爲替報告書第9欄爲替ヲ取組マザル部分ノ代金額ニ其ノ受領方法豫定期間
委託取賣ノ爲	何月何日頃郵便爲替ニテ送金シ來ル豫定
廣告物トシテ無代送呈スルモノニ付國際貨借ヲ生ゼザル爲	—
輸出後 ヶ月以内ニ大段ニ於テ決済ノ契約アル爲	何月何日頃奉天安田銀行支店經由大阪安田銀行支店宛送金シ來ル豫定
見本トシテ送呈スルモノナル爲	—
鐵道ニ依ル代金引換ノ取扱ノ下ニ輸出セル爲	鐵道代金引換ノ取扱ニ依リ何月何日頃受領ノ豫定
ハルピン支店ニ送荷スルモノニシテ賣却後一ヶ月以内ニ送金ノ契約アル爲	三菱銀行ハルピン支店經由東京三菱銀行本店宛送金シ來ル豫定
委託取賣ノ爲	荷受人ヨリ直接東京安田銀行ノ當銀行當座へ何月何日頃押込ノ豫定
巡回興業ニテ使用ノ目的ヲ以テ積送スルモノナル爲	—
本支店間送荷品ニシテ大連ニ在庫シ徐々ニ販賣スル爲	販賣後大連支店ヨリ朝鮮銀行經由何月何日頃送金シ來ル豫定
貨物引換證引換ニ東京ニテ受領ノ契約アル爲	何月何日頃東京ニ於テ貨物引換證ト引換ニ直接代金受領ノ豫定
大連支店ニ輸送シ倉庫ニ保管シ支店ニテ注文ニ應ジ順次出荷スル爲	大連支店ヨリ注文者ニ出荷後七十日乃至九十日ノ手形ヲ送付シ引受ケレシメ之ヲ直チニ本社ニ送付スル豫定
代金取立手形ニ依リ取立ナル爲	貨物到着後東京第一銀行宛送金シ來ル豫定（何月何日頃）
東京市神田區小川町一ノ一山田商會トノ契約品ニシテ其ノ委託ニ依リ積送スルモノナル爲	何月何日頃上記山田商會ヨリ貨物引換證ト引換ニ代金受領ノ豫定

三 以上各號ハ大藏省ト協議済ノモノナリ

第四十二條 前二條ニ依リ荷送人ヨリ戻免稅ニ關スル書類並ニ禁制、制限及取締品等ノ輸出入許可ニ付許可書、合格證等ノ提出アリタルトキハ當該書類ノ餘白ニ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書月日、番號ヲ記入スルモノトス

月	小荷物切符	第	號
日	貨物通知書	第	號
著	驛	發	驛

前項ノ場合小荷物切符内片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ其ノ書類名ヲ記入シ相互ノ關聯ヲ明ニスベシ

附 則

註一 戻稅（拂戻金、交付金、下付金等ノ名稱ヲ用フルコトアリ）トハ日本ヨリ外國ニ輸出シタルガ爲一旦納稅シタルモノノ全額又ハ一部ヲ還付セラシムルモノヲ、免稅トハ日本ヨリ外國ニ輸出スルコトヲ條件トシテ内國稅又ハ關稅ヲ最初ヨリ免除セラルモノヲ謂フ

第四十三條 輸出入手續ノ代辦ヲ爲ス場合ニ於テ荷送人ヨリ輸出入免狀及其ノ他書類ノ廻付ノ要求又ハ荷受人ニ送付ノ要求アルモノニ對シテハ發驛ニ於テ小荷物及貨物受託ノ際荷物明細書記事欄ニ其ノ旨記載提出セシメ適宜ノ帳簿ニ記入ノ上之ヲ接續驛ニ送付スベシ

註一 荷物發送後請求アリタル場合モ本條ニ準ジ便宜其ノ取扱ヲ爲スモノトス
註二 陸揚證明ハ安東又ハ圖們ニ在リテハ各其ノ領事館ニ於テ、大連ニ在リテハ大連民政署ニ於テ發給スルモノナルガ戻稅請求ノ際實際ニ小荷物貨物が國外ニ搬出セラレタル證明トシテ稅關又ハ稅務署ニ提出ヲ要スルモノナリ而シテ此ノ場合ハ荷送人ヨリ安東、大連埠頭、圖們、上三峰等ノ著地又ハ之等ノ經由驛港宛又ハ安東領事館、大連民政署等ニ直接請求セシムルモノトシ證明手数料及其ノ他郵送料ハ荷送人ノ負擔トス

陸揚證明手数料（一件ニ付）

イ 安東領事館陸揚證明手数料

(一) 物品ノ價格

五、〇〇〇圓未滿

二圓

(二) 同

二〇、〇〇〇圓未滿

三圓

(三) 同

二〇、〇〇〇圓以上

五圓

ロ 大連民政署陸揚證明手数料

安東領事館ニ同ジ

一圓

ハ 國門領事館陸揚證明手数料

安東領事館ニ同ジ

一圓

第四十四條 發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ前條ノ要求ニ依ル輸出入免狀及其ノ他書類ノ劍付ヲ受ケタルトキハ受託ノ實際入シタル帳簿ニ該書類到着ノ旨記入ノ上荷送人ニ交付スベシ發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ供託受領書ノ劍付ヲ受ケタル場合亦同ジ

註一 供託受領書ニ付テハ規則第三十四條及細則第四十條、第四十八條、第四十九條參照

第四十五條 規則第二十三條第二號及第三號ニ依リ荷送人ヨリ通關手續自辨ノ旨申告アリタル場合及運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲サザル場合ハ荷送人ヲシテ荷物明細書記事欄ニ通關手續擔當者居所氏名ヲ記載セシムルノ外通關手續自辨ノモノニ在リテハ通關手續自辨ノ旨ヲ記載セシムルモノトス
前項ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ且其ノ通關擔當者居所氏名ヲ記入スルモノトス

驛通關自辨
擔當者居所氏名

第三十七條第三號ノ家畜ニ對シ附添人ヲ附シ又ハ檢疫擔當者ヲ指定シタル場合ハ運送狀及荷物明細書ニ附添人氏名又ハ檢疫擔當者居所氏名ヲ記載セシメ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ之ヲ轉記スルモノトス

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續

第一款 通關手續ノ代辨

第四十六條 通關手續代辨ニ關スル各種ノ申告ハ通關擔當驛長ニ於テ之ヲ擔任スルモノトス

第四十七條 通關擔當驛ニ於ケル通關手續及荷物ノ繼送ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 下關驛及關釜連絡船

(一) 日本輸出手續

イ 輸出申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ稅關ニ提出シ立會ノ上稅關官吏ノ検査ヲ受ケ日本輸出免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル日本輸出免狀ハ餘白ニ驛長印ヲ押捺スルノ外同免狀及關係書類ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入シ安東其ノ他ノ國境驛ニ於テ輸出手續取扱上必要アルモノハ釜山營業所經由安東驛（國門又ハ上三峰經由モノハ當該接續驛）ニ荷物ト共ニ繼送ノ手續ヲ爲シ其ノ必要ナキモノハ自驛ニ保存スルコト

月 日 小荷物切符 第 號
發驛 貨物通知書 驛 下關驛

ハ 植物検査、動物檢疫手續ニ對スル通關手續代辨手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキハ立替金通知書ヲ發行シ著驛ニ送付ス此ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ要項ヲ記入スルモノトス

立替金通知書第 號
下關驛

二 植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辦手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲サザルモノニ對シテハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

立替金ナシ
下關驛

ホ 下關驛ニ於テ日本輸出手續ノ代辦ヲ爲シタル日本輸出免狀ヲ第三號ニ依リ安東驛ヨリ還付アリタルトキハ荷送人又ハ荷受人ニ送付ヲ要スルモノハ發驛又ハ著驛ニ送付シ其ノ必要ナキモノハ自驛ニ保存スルコト

(二) 植物ノ日本輸入検査

第十七條ニ依リ處理スルコト

(三) 家畜竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ノ日本輸入検査

第十七條ニ依リ處理スルコト

二 釜山驛

朝鮮移入植物検査

第十八條ニ依リ處理スルコト

三 安東驛

(一) 日本輸出入手續及滿洲輸出入手續

イ 輸出入申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ税關ニ提出シ立會ノ上税關官吏ノ検査ヲ受ケ輸出入免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル輸出入免狀ハ餘白ニ驛長印ヲ押捺スルノ外同免狀及關係書類ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入シ繼送ノ手續ヲ爲シ發驛又ハ著驛ニ廻付ヲ要スルモノハ之方廻付ノ手續ヲ爲シ其ノ他ノモノハ自驛ニ保存スルコト

月 日	小荷物切符 第 號
發驛	貨物通知書 安東驛

ハ 植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辦手数料、關稅其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキ又ハ之方立替拂ヲ爲サザリシ場合ノ小荷物切符丙片裏面、貨物通知書記事欄ニ對スル印章押捺、要項記入方及立替金通知書發行方ニ關シテハ第一號ハ及ニノ項ヲ準用ス

(二) 植物ノ朝鮮輸入検査

本號(一)ニ準ジ處理スルコト

(三) 家畜竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ノ検査

荷送人ヨリ送付ノ平安北道知事發給朝鮮移入許可書ヲ新義州警察署長ニ提出シ立會ノ上検査官吏ノ検査ヲ受ケ検査成績表ノ交付ヲ受クルコト

前項以外ハ本號(一)ニ準ジ處理スルコト
税關所在驛所

(一) 日本輸出手續(集貨スル貨物ニ限ル)

イ 輸出申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ税關ニ提出シ立會ノ上税關官吏ノ検査ヲ受ケ日本輸出免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ日本輸出免狀ノ交付ヲ受ケタルトキハ第百十七條及第百十八條ニ依リ外國貨物トシテ發送ノ手續ヲ爲スコト

ハ 植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辨手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキ又ハ之方立替拂ヲ爲サザリシ場合ノ貨物通知書記事欄ニ對スル印章捺捺、要項記入方及立替金通知書發行方ニ關シテハ第一號ハ及二ノ項ヲ準用ス

ニ 發驛ニ於テ日本輸出手續ノ代辨ヲ爲シタル日本輸出免狀ヲ第三號ニ依リ安東驛ヨリ還付アリタルトキハ荷送人ニ交付ヲ要スルモノハ交付ノ手續ヲ爲シ其ノ必要ナキモノハ自驛ニ保存スルコト

ホ 前各號ニ依ルノ外本章第二節發驛ニ於ケル取扱ニ依リ處理スルコト

(二) 日本輸入手續(省線税關所在驛所著小荷物ニシテ運輸機關方著地ニ於テ日本輸入手續ヲ爲スヲ便ト認メタルモノ及配達スル貨物ニ限ル但シ日本發滿洲著小荷物ヲ發驛ニ返還スル場合ヲ除ク)

イ 輸入申告書(砂糖ニ在リテハ砂糖引取申告書、織物ニ在リテハ織物引取申告書、支那事變特別税法ニ依リ物品税ヲ課セラルベキ物品ニ在リテハ物品税引取申告書共)ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ税關ニ提出シ立會ノ上税關官吏ノ検査ヲ受ケ日本輸入免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル日本輸入免狀ハ餘白ニ驛長印ヲ捺捺スルノ外同免狀及關係書類ノ餘白ニハ左ノ

印ヲ捺捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日番號ヲ記入シ荷受人ニ交付ヲ要スルモノハ之方交付ノ手續ヲ爲シ其ノ他ノモノハ自驛ニ保存スルコト

月 日 小荷物切符 第 號
貨物通知書 第 號
著驛 驛

ハ 植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辨手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキ又ハ立替拂ヲ爲サザリシ場合ノ小荷物切符丙片裏面、貨物通知書記事欄ニ對スル印章捺捺、要項記入方及立替金通知書發行方ニ關シテハ第一號ハ及二ノ項ヲ準用ス

ニ 前各號ニ依ルノ外本章第四節著驛ニ於ケル取扱ニ依リ處理スルコト

註一 省線税關所在驛所ニ於テ當該驛著小荷物及貨物ノ日本輸入手續ヲ爲ス場合ニ於ケル關稅ニ付テハ稅關ヨリ稅額ノ通知ヲ受ケ之ヲ荷受人ニ通知シ豫メ承諾ヲ得タル上輸入手續ヲ爲ス等荷受人トノ間ニ連絡ヲ計ルモノトス

註二 日本發滿洲著小荷物ヲ發驛ニ返還スル場合ハ原發驛方稅關所在驛所ナル場合ト雖總テ當初日本輸出手續ヲ爲シタル驛所ニ於テ日本輸入手續ヲ爲スモノトス(第三十七條註參照)

註三 本號滿洲發日本著小荷物ノ返還ノ場合ノ取扱ニ付テハ第五十七條參照

註四 左ノ書類ノ保存期間ハ發行ノ日共下記ノ通トス
イ 各種免狀 一年半
ロ 運送目錄 五年

第四十八條 關稅定率法第八條ニ依リ日本ニ輸入ノ日ヨリ一年以内ニ日本ヨリ再輸出ヲ爲スベキ小荷物及貨物又ハ同第九條ニ依ル輸入原料品ニシテ輸出品ノ製造ニ充ツルモノヲ日本ニ輸入ノ場合擔保提供ノ必要アルトキハ稅關ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケ著驛ニ通報シ著驛ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受ケ之ヲ稅關ニ提出シ輸入免狀及供託受領書

預り證又ハ供託受領書預り證ヲ兼ネタル輸入免狀ノ交付ヲ受ケ著驛ニ送付スベシ
前項ノ規定ハ輸入免許前小荷物及貨物ノ引取ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス
前二項ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

供託受領書預り證附驛

註一 關稅定率法第八條ハ物品ヲ指定シ日本ニ輸入ノ日ヨリ一年以内ニ再ビ輸出スル場合ノ輸入税ノ免除及擔保提供ニ關スル規定ナリ又同第九條ハ輸出品ノ製造ニ充ツルタメノ輸入原料品ニ對シ輸入税ノ免除又ハ拂戻ニ關スル規定ナリ(第四十條第一號7、8參照)

註二 本條ニ依リ著驛ガ安東驛ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケタル場合ノ取扱方ニ付テハ第六十條參照
註三 輸入荷物ハ輸入免許ヲ受ケタル後ニ非ザレバ之ヲ引取ルコトヲ得ザルモノナルモ當該稅關ノ認許ヲ得相當ノ擔保ヲ提供シタル場合ニ限り輸入免許前ニ小荷物及貨物ノ引取ヲ爲シ得ルモノナリ(關稅法第二十四條參照)此ノ場合ハ引取ヲ爲ス理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スルヲ要ス(關稅法施行規則第四十二條參照)

第四十九條 前條ニ依ル小荷物及貨物ヲ日本ヨリ再輸出ヲ爲シタルガ爲日本輸入ノ際提出シタル供託受領書及供託原因消滅證明書ヲ稅關ヨリ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ發驛ニ送付スルモノトス

註一 日本ニ輸入ノ日ヨリ一年以内ニ再ビ日本ヨリ輸出スルモノハ日本輸入税ヲ免除セラルモノナルガ此ノ場合ハ輸入ノ際税金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要シ此ノ擔保ヲ供託シ供託受領書ヲ稅關ニ提出シ居ルヲ以テ日本ヨリ再輸出ト共ニ擔保提供ノ原因消滅ス仍チ荷送人ハ供託受領書及供託原因消滅證明書ヲ供託局ニ提出スルコトニ依リ茲ニ始メテ發ニ提供シタル擔保ノ返還ヲ受ケ得ルコトナル

第五十條 檢査ヲ受クル爲小荷物及貨物ノ包裝ヲ解キタルトキハ檢査後完全ニ復裝スベシ
荷物ノ一部ヲ見本トシテ稅關ニ提供シタル場合ハ後日ノ證トナルベキ書類ヲ稅關ヨリ受領シ置クベシ

註一 此ノ場合通關擔當驛ニ於テハ關係書類ニ其ノ旨附記スルモノトス

註二 滿洲國稅關ニ於テハ輸入品中左ノ如ク見本ノ提供ヲ要スルニ付豫メ準備シタルトキハ現品ヨリ納付スルニ因リ損傷ヲ防止シ得ルノ外通關上ニモ便アルヲ以テ荷物受託ニ際シテハ成ルベク之ガ見本(織物ニ在リテハ所定寸法ノモノ)ヲ荷物明細書ニ添附提出セシメ若シ油類其ノ他ノ見本ニシテ荷物明細書ニ添附シ難キモノナルトキハ現品ニ見本添附方荷送人ニ勸ムルコト

輸入稅率表稅番	品目	見本採取量
一四六	綿織物	十平方ノ面積ヲ截リ取ルニ充分ナル大サヲ有スルモノナルコト
五八	蚊帳地	
五九	莫大地(綿)	約半リツトル
八九	莫大地(毛)	
九〇、九七	毛織物	約半リツトル
四八二	揮發油	
四九一	液體燃料	約半リツトル
四九五	燈油	
四九七ノ甲	機油(機械油)	約半リツトル
五〇二ノ甲	ミネラル、ターペンタイン	
五〇六ノ内	礦油	約半リツトル
五〇一、五二二	紙	
五二六ノ内	用紙、パット	原型一枚ナルコト但シ卷取用普通印刷料紙ニ在リテハ約一尺平方トス用紙、パット及書式類ノ見本モ同様一枚ナルコト
	所定ノ大サニ切り取り又ハ綴リタルモノ	
	書式	

第五十一條 規則第三十二條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハ

第二款 換價處分

ザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ
 第五十二條 規則第三十二條第二項及同第三十三條第二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ顛末ヲ所屬長ニ報告ス
 ベシ他ノ運輸機關ヨリ規則第三十二條第二項及同第三十三條第二項ノ處分ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合亦
 同ジ

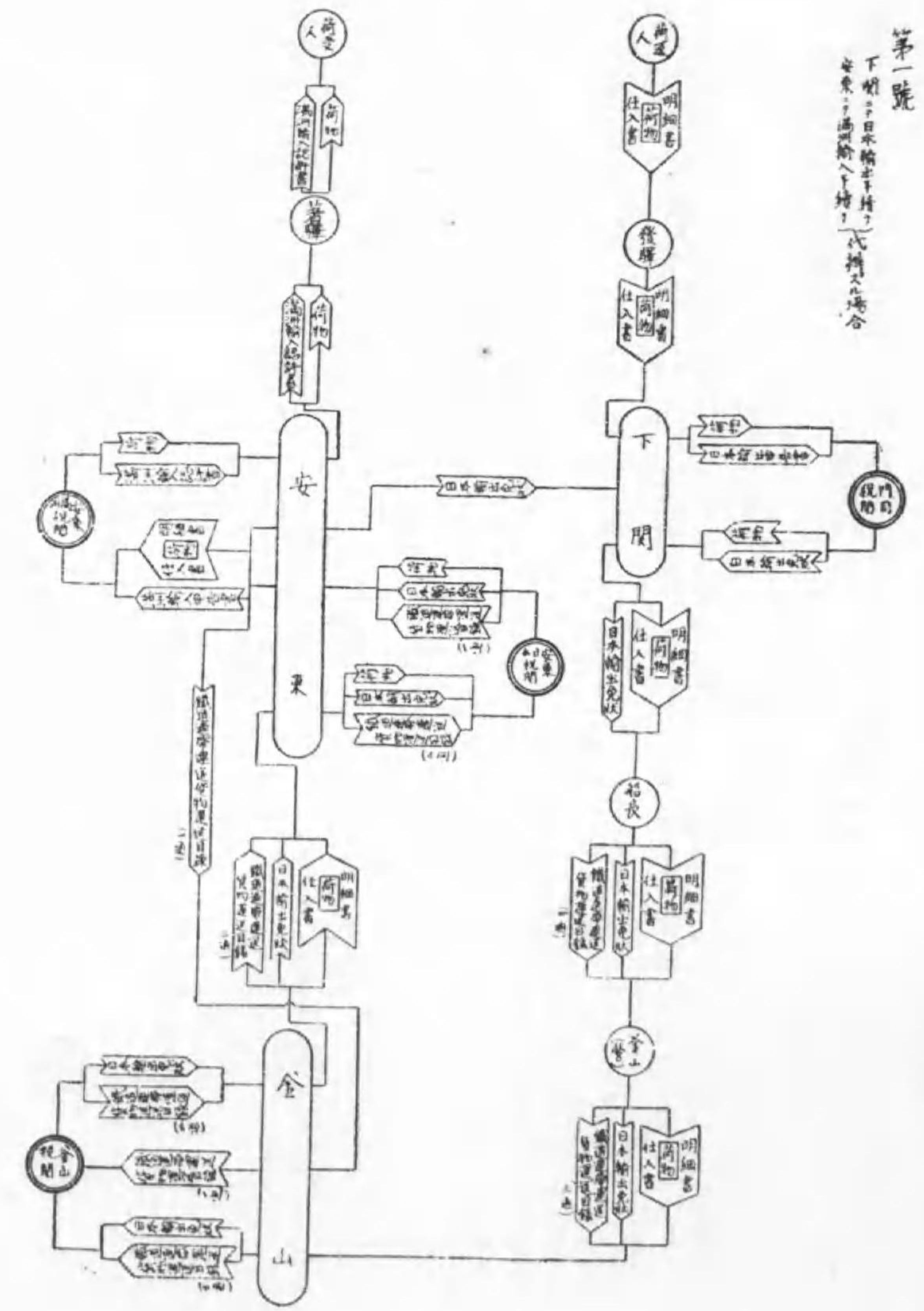
第三款 通關事故

第五十三條 輸出入小荷物及貨物ニ對シ稅關ノ處分ヲ受ケタル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ
 指圖ヲ受クベシ此ノ場合必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷受人ニ通知スベシ
 前項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受
 クベシ
 他ノ運輸機關ヨリ第一項ノ處分ヲ受ケタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合ハ其ノ顛末ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

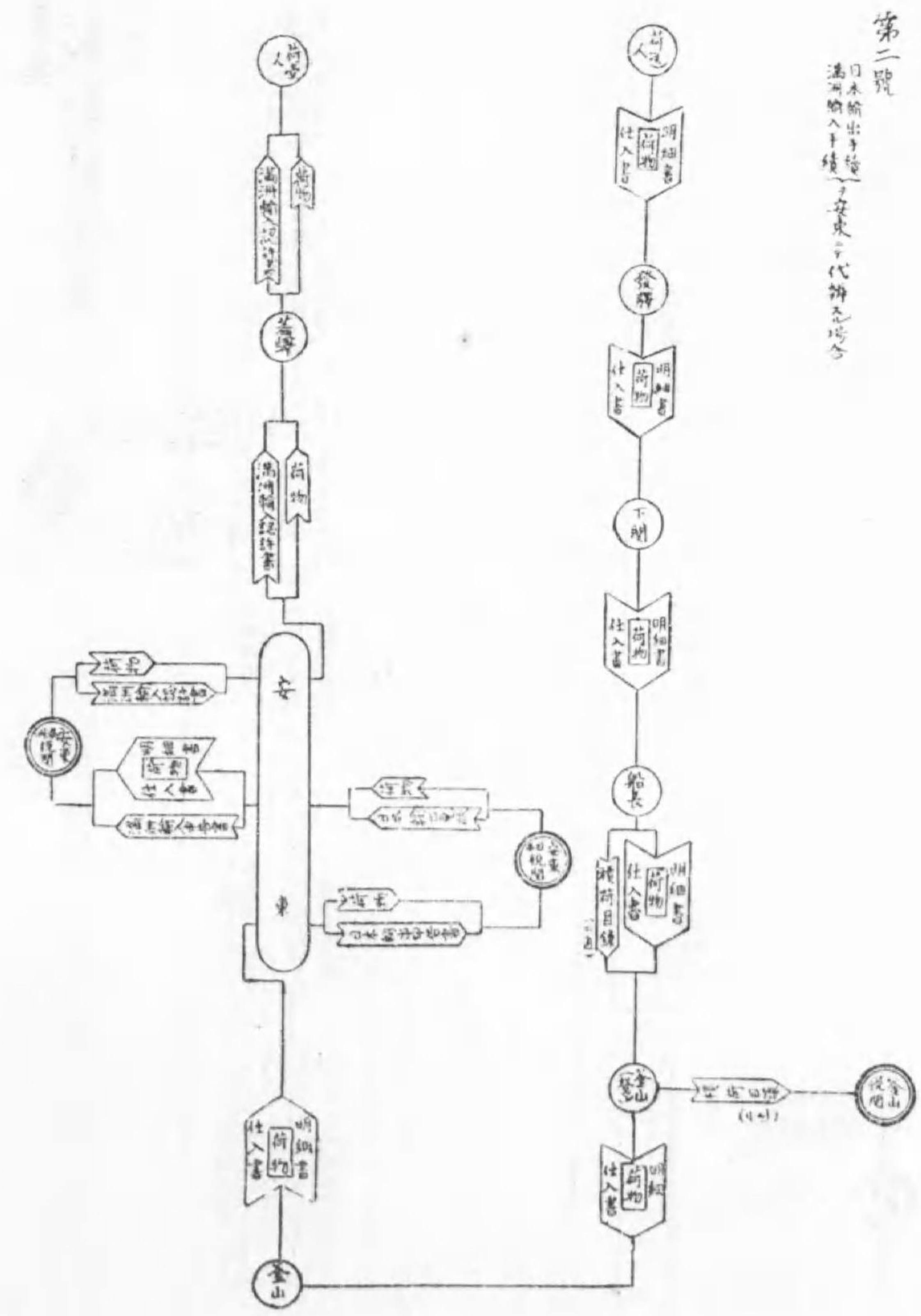
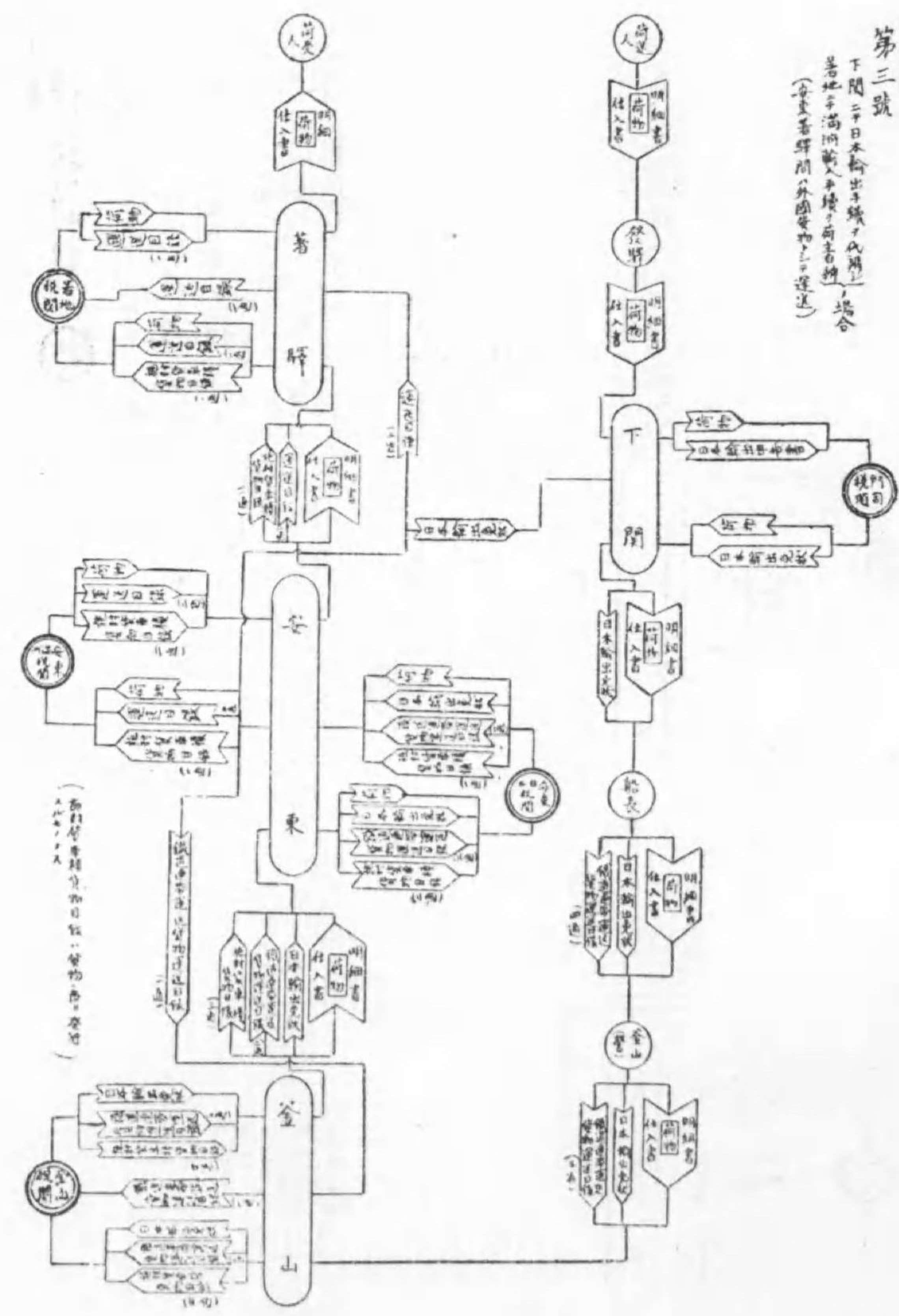
註一 「稅關ノ處分」トハ輸出入禁制品ノ輸出入ヲ圖リ又ハ關稅ノ連脫ヲ圖リタル等ノ場合處罰及荷物ヲ沒收セララルルガ如キヲ、
 植物ニ在リテハ稅關ニ於テ檢査ノ結果病菌又ハ害蟲附著スト認メ植物ノ燒棄、埋沒若ハ著シク毀損シ又ハ輸入ヲ禁止シタ
 ルガ如キヲ又家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ノ檢疫ニ在リテハ檢疫ノ結果病菌附著スト認メ之ヲ燒棄處分ニ附セラレ
 タルガ如キヲ謂フ尙此ノ場合ハ後日ノ證トナルベキ書類ヲ稅關ヨリ受領シ置クコト

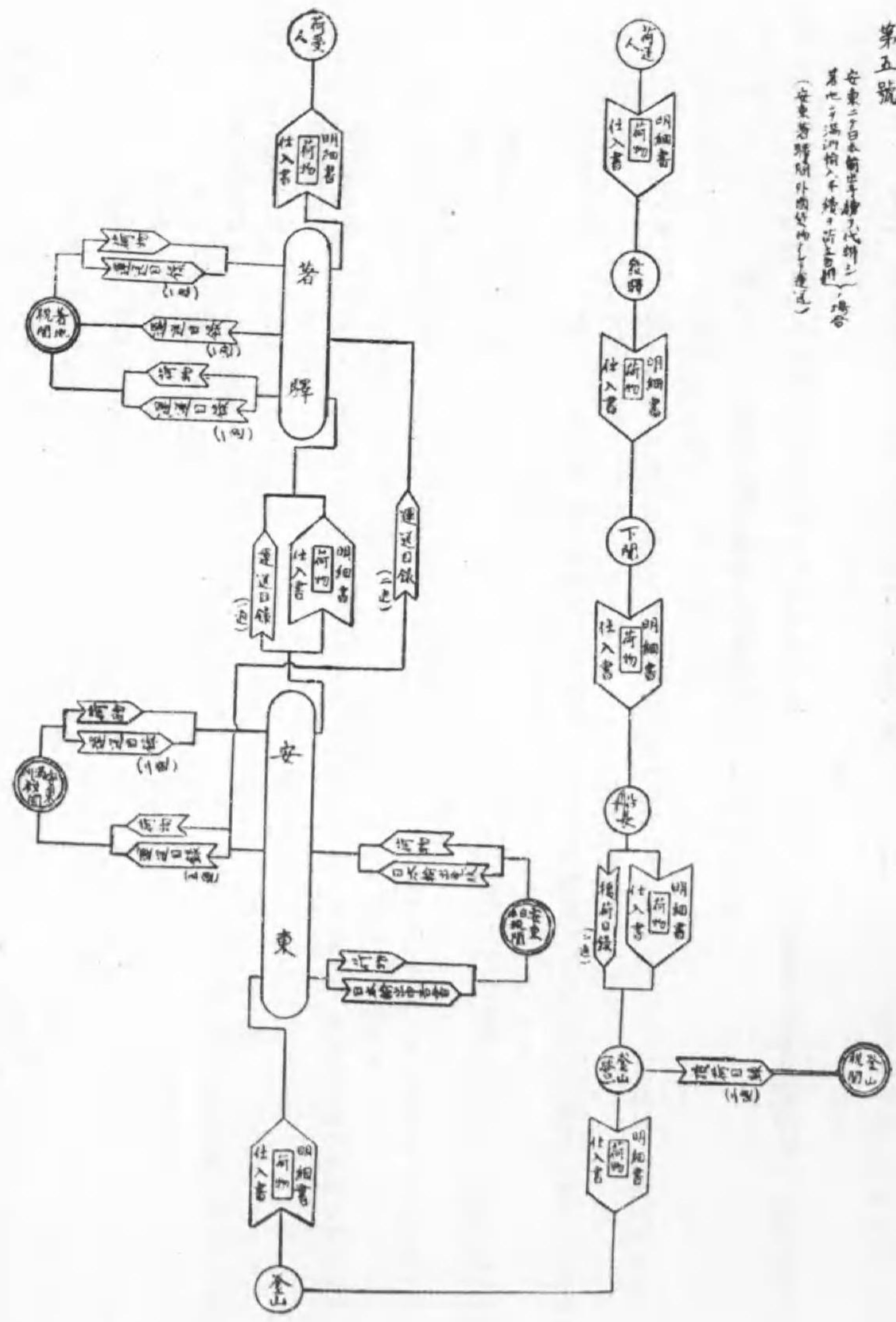
第五十四條 規則第三十三條第一項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷受人ニ通知スベシ
 規則第三十三條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ
 所屬長ノ指揮ヲ受クベシ
 規則第三十三條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第四款 用

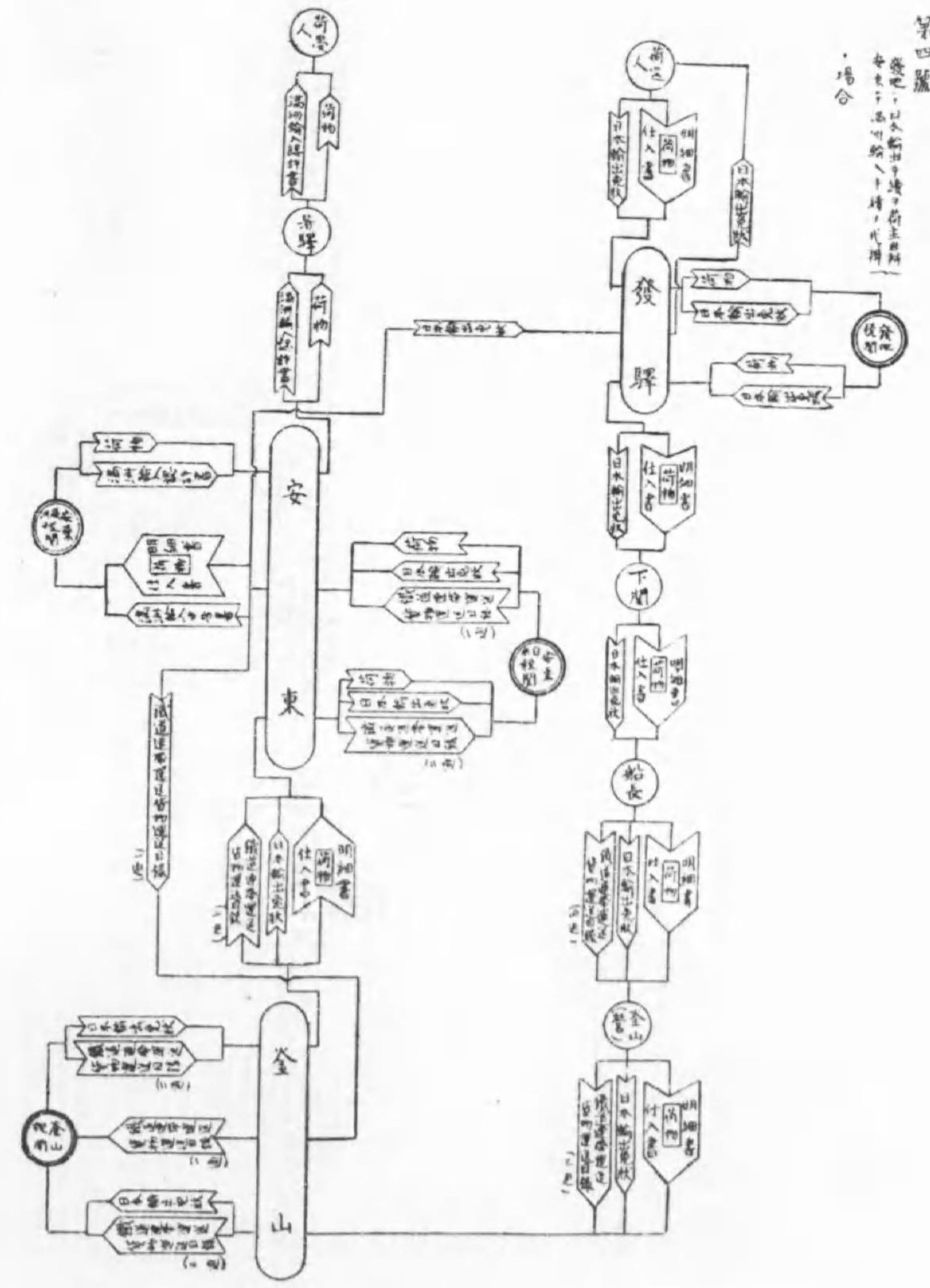


第一號
 下開ニ日本輸送株式「代辦」ノ場合
 東京ニ運入ノ時





第五號
 安東二下白丸船中船代辦二(代辦二)場合
 其七下海河船入下船代辦二(代辦二)場合
 (安東各埠船外船代辦二(代辦二)場合)



第四號
 安東二下白丸船中船代辦二(代辦二)場合
 其七下海河船入下船代辦二(代辦二)場合
 (安東各埠船外船代辦二(代辦二)場合)

第五十五條 第一款ニ規定スル下關又ハ安東驛ニ於ケル通關手續ニ付テハ神戸港、大連埠頭、敦賀港、新潟港、清津、羅津、圖們、上三峰ノ各通關擔當驛ニ於ケル通關取扱ニ關シ之ヲ準用ス

註一 發驛―通關擔當驛―著驛間ニ於ケル通關關係書類ノ經路ヲ圖示セバ左ノ如シ(前掲)

註二 省線發滿洲著小荷物及貨物ヲ發驛ニ返還シタル場合ニ於ケル關稅ノ拂戻ハ大要左ノ如シ

イ 安東、大連埠頭、圖們、上三峰等ノ國境驛ニ於テ滿洲輸入手續ヲ爲シタルモノ

日本輸出稅 (現在制度ナシ)

滿洲輸入稅 拂戻ヲ爲サズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

日本輸入稅 要セズ

日本輸出稅 要セズ

滿洲輸入稅 要セズ

滿洲輸出稅 要セズ

第五十六條 通關手續自辨小荷物及貨物到著ノ場合ノ取扱

サシムルモノトス

規則第三十七條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第五十七條 前條ノ小荷物及貨物又ハ第四十七條第四號ノ省線稅關所在驛所著小荷物及貨物ニシテ外國貨物ノ運送

ヲ爲シタルモノガ引渡不能ノ爲之ヲ滿洲内ノ發驛ニ返還スル場合ハ左ノ各號ニ依リ取扱ヲ爲スベシ

一 輸入申告書ヲ提出シタルモノハ之ガ取消手續ヲ爲シタル後新ニ積戻申告書ヲ作成シ稅關ニ提出シ積戻免狀ノ

交付ヲ受クルコト

第四節 著驛ニ於ケル取扱

第五十八條 立替金通知書ヲ發行シタル小荷物及貨物到著シタルトキハ配達ヲ爲スベキモノハ届先ニ於テ其ノ他ハ

著驛ニ於テ立替金通知書記載ノ金額ト引換ニ引渡ヲ爲スベシ

第五十九條 荷受人ニ於テ通關手續代辦手数料及關稅其ノ他ノ立替金ノ支拂ヲ爲サザル場合ニ於テハ發驛ヲ經テ荷

送人ニ其ノ旨ヲ通知シ指圖ヲ求ムベシ

規則第三十二條及同第三十三條ニ依リ換價處分ヲ爲シタル場合ハ其ノ旨ヲ荷送人ニ通知スベシ

第六十條 第四十八條ニ依リ通關擔當驛ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ旨荷受人ニ通知シ供託受領書ヲ提

出セシメ之ヲ同驛ニ送付スベシ

第五節 關釜連絡船ニ於ケル取扱

第六十一條 關釜連絡船船長ニ於テ作成シ稅關ニ提出ヲ要スル積荷目録及其ノ他書類ニ關シテハ第三十三條ノ規定

スル所ニ依ル

註一 關釜連絡船船長ニ於テ作成スル積荷目録其ノ他ノ様式ニ付テハ様式第九號乃至第十一號參照

第六節 手荷物及附隨小荷物ノ通關手續

第六十二條 手荷物及附隨小荷物ニ對シテハ規則第三十八條ニ規定スル國境驛港又ハ連絡船内ニ於テ旅客自ラ税關官吏ノ日本及滿洲輸出檢査ヲ受ケ課税品アルトキハ直接旅客ヨリ税金ヲ納付スルモノトス
旅客ガ前項ノ檢査ヲ受ケザル場合ニシテ該荷物中ニ課税品アルカ又ハ該荷物ニ鎖錠封印ヲ施シアルガ爲税關ニ留置セラレタルトキハ安東、圖們、上三峰、三ノ宮、門司又ハ大連ノ輸出入驛港ヨリ直ニ其ノ旨ヲ著驛ニ通知スベシ
前項ノ荷物ニ對シ旅客ヨリ輸出入驛港ニ於ケル通關手續ノ代辦ノ申出アリタルトキハ荷物明細書式紙ヲ流用シ旅客ヲシテ要項ヲ記載提出セシメ輸出入驛港ニ送付若ハ電報ヲ以テ其ノ要旨ヲ通知スベシ此ノ場合該荷物が鎖錠ヲ施シタルモノナルトキハ合鍵ヲ輸出入驛港ニ送付スルモノトス

註一 合鍵ノ送付ヲ要スル場合ハ輸出入驛港ハ著驛ニ對シ荷受人ノ住所ヲ電報スルコト

第六十三條 規則第四十條第一項ニ依リ輸出入驛港ニ留置ノ手荷物及附隨小荷物ヲ同第二十四條ニ規定スル税關所在驛所ニ廻付セムトスルトキハ輸出驛港ニ於テハ左ノ各號ニ依リ取扱ヲ爲スモノトス

- 一 税關ニ對シ日本輸入又ハ滿洲輸入手續未済荷物トシテ陸路運送申告書ニ依リ外國貨物ノ運送ノ申告ヲ爲スコト
- 二 陸路運送申告書ノ品名欄ニハ單ニ「旅具」ト記入シ荷物ノ番號欄ニハ手荷物合符又ハ手荷物切符番號ヲ記入スルコト
- 三 手荷物合符、手荷物切符及小荷物切符ノ著驛名ハ廻送セムトスル税關所在驛所名ニ赤書訂正スルコト尙此ノ場合其ノ切符餘白ニ「外國貨物」ト附記スルコト
- 四 規則第三十九條第二項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第六十四條 規則第四十條ニ依リ輸出入驛港留置手荷物及附隨小荷物ノ廻付アリタルトキハ當該驛ニ於テハ旅客ニ對シ荷物到着ノ通知ヲ爲スベシ

前項ノ荷物ニ對シテハ通關手續未済ノ儘保税地域内ニ於テ荷受人ニ引渡シ荷受人ヲシテ輸入手續ヲ爲サシムベシ此ノ場合旅客ヨリ通關手續代辦ノ申出アリタルトキハ荷物明細書式紙ヲ流用シ旅客ヲシテ要項ヲ記入提出セシムベシ

前項及第六十二條ニ依リ通關手續ノ代辦ヲ爲シタルトキハ本章第四節著驛ニ於ケル取扱及第七章第一節第四款著驛ニ於ケル取扱ニ關スル規定ヲ準用ス

第一項ノ手荷物ガ配達ヲ要スルモノナルトキハ通關手續終了後配達ノ取扱ヲ爲ス此ノ場合他驛ニ轉送シテ配達スルモノニ在リテハ手荷物切符ノ著驛名ヲ抹消シ新ニ驛名札ヲ附シタル上受持驛ニ無賃ニテ廻送スルモノトス

第四章 内地臺灣間

第一節 通 則

第六十五條 内地臺灣間發著小荷物及貨物ニシテ通關手續ヲ要スル範圍ハ左ノ通トス

臺灣側

一 臺灣移入要檢査植物

臺灣ニ移入スル植物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ 植物及其ノ部分ニシテ栽植培養ノ用ニ供スルモノ

ロ 種子、地下莖及根ニシテ繁殖ノ用ニ供スルモノ

ハ イ及ロノ外病菌又ハ害虫ノ附著セル處アリト認めラルルモノ

註一 輸出入植物取締法施行規則（大正十二年臺灣總督府令第十七號）第一條第三號ノ臺灣移出柑橘類ノ果實及西瓜ハ植物検査所ノ検査済ノモノニ非ザレバ臺灣交通局線ニ於テハ受託セザルヲ以テ基隆ニ於テハ別ニ臺灣移出手續ヲ要セズ

註二 ハニ依リ検査ヲ施行セラルルモノハ左ノ如シ

- 一 蠶豆（ソラマメ）種子
- 二 豌豆（莢附豌豆ヲ含ム）、菜豆（インゲンマメ）、ササゲ、ライマ豆、綠豆其ノ他ノ豆
- 三 大豆
- 四 小麥、大麥、玉蜀黍及其ノ他ノ穀物種子
- 五 粟種子
- 六 西瓜並ニ胡麻ノ種子
- 七 馬鈴薯
- 八 葱頭（タマネギ）
- 九 蒜頭（葫）
- 一〇 百合根
- 一一 慈姑（クワキ）
- 一二 ツメモノ薯

二 臺灣ニ移入スル家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類

三 臺灣移出酒類、酒精、酒精含有飲料、砂糖、糖蜜、糖水及特用作成（甘蔗及其ノ部分並ニ種子、茉莉及其ノ部分並ニ種子）

内地側

内地移入要検査植物

内地ニ移入スル植物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

イ 植物、其ノ部分、種子及球根ニシテ栽植又ハ培養ノ用ニ供スルモノ

ロ 生果實但シ鳳梨及朝鮮産苹果並ニ芭蕉科、茄子科、荳科、蠶斗科及西瓜、「メロン」、甜瓜以外ノ葫蘆科ニ屬スル植物ノ生果實ヲ除ク

ハ 馬鈴薯ノ生塊莖

ニ 輸移入禁制品ニシテ試験研究ノ用ニ供スルタメ農林大臣ノ輸移入許可ヲ受ケタルモノ

ホ イ乃至ニニ掲グルモノノ外植物検査官吏ニ於テ病菌又ハ害虫ノ附着セル處アリト認ムルモノ

第六十六條 規則第四十二條ニ依リ通關手續ノ代辨ヲ爲スベキ驛及其ノ取扱範圍ハ左ノ通トス

註一 内地臺灣間發著ノ荷物ニ對シ通關手續ニ付關係アル主ナル法令ヲ示セバ左ノ如シ

- 一 關稅一般
 - イ 關稅法其ノ他ヲ臺灣ニ施行スルノ件
 - ロ 臺灣酒類出港稅令、同令施行規則
 - ハ 輸出入植物取締法ヲ臺灣ニ施行スルノ件
 - ニ 臺灣總督府植物検査所位置並ニ分所ノ名稱、位置
 - 二 移出入制限及取締關係
- 別記第二號根據法令欄參照

一 植物検査

經	由	荷物ノ種類	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備	考
イ	基隆航路	小荷物(高雄經由)	内地移入検査	神戸港(商船) 門司港(商船) 下關港(商船)	内地移入要検査植物ノ範圍ハ第六十五條參照	
ロ	高雄航路	小荷物(高雄經由) 貨物	臺灣移入検査	基隆港(商船) 高雄港(商船)	臺灣移入要検査植物ノ範圍ハ第六十五條參照	

註二 植物検査ノ要否（第六十五條参照）

内地

發ハ内地側ニ於テハ検査ヲ要セズ

著ハ内地側ニ於テハ検査ヲ要ス

臺灣

發ハ臺灣側ニ於テハ検査ヲ要セズ

著ハ臺灣側ニ於テハ検査ヲ要ス

註三

内地税關ノ植物検査ニ合格シタルモノハ臺灣ニ於ケル検査ヲ省略セララルルヲ本位トスルモ検査申請ハ合格證ノ有無ニ拘ハラズ之ヲ爲スモノトス、臺灣發内地著ノ場合亦同ジ

二 家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類検査

經	由	荷物ノ種類	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備	考
基隆航路	貨小	貨物	臺灣移入検査	基隆港（商船） （近郵）	臺灣移入要検査ノ範圍ハ第六十五條参照	

三 酒類、酒精、酒精含有飲料、砂糖、糖蜜、糖水及特用作物検査

經	由	荷物ノ種類	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備	考
イ 基隆航路 高雄航路	貨小	貨物 （除高雄航路）	臺灣移出検査	基隆港（商船） 高雄港（近郵）	臺灣移出要検査ノ範圍ハ第六十五條参照	

第六十七條 規則第四十八條ニ依ル通關手續代辨手数料ハ左ノ通トス

イ 移出又ハ移入手續

當分ノ間收受セズ

ロ 植物検査手續

小荷物（手荷物、附隨小荷物ヲ含ム）

金 十 錢

貨物

金 二十 錢

ハ 動物検査手續

實際ニ要シタル費用

前項手数料ハ立替金通知書ニ依リ旅客又ハ荷受人ヨリ收受ス

第二節 發驛ニ於ケル取扱

第六十八條 臺灣移出入手續ノ代辨ヲ爲スベキ小荷物及貨物（植物ヲ除ク）ノ託送者ニ對シテハ様式第二號ノ荷物明細書ヲ交付シ要項ヲ記入提出セシメ夫々ノ接續驛宛送付スルモノトス

註一 左ノ地點ニ於ケル省社線ノ接續驛所ハ左ノ通トス

基隆航路	省線	社航路
小荷物	神戸驛	神戸港
貨物	湊川驛	神戸港

註二 内地又ハ臺灣移入植物ニシテ内地税關又ハ臺灣總督府植物検査所發給ノ植物検査合格證アルモノニ對シテハ該検査合格證ヲ荷物ニ括付シ發送スルコト

第六十九條 規則第四十五條ニ依リ運輸機關ニ於テ臺灣移出入手續ノ代辨ヲ爲ス小荷物及貨物ニシテ荷受人ヨリ通關手續上特殊取扱ノ要求アルトキハ荷物明細書記事欄ニ其ノ要旨、添附書類名及其ノ番號ヲ附記シ之ヲ接續驛ニ送付スルモノトス

第七十條 臺灣移出入禁制、制限及取締品並ニ臺灣移出入ニ付特ニ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證等ヲ要スルモノノ範圍ハ別記第二號ノ通トス

前項小荷物及貨物ノ受託ノ際ハ荷受人ヨリ所定ノ許可書ヲ提出セシメ第七十一條ニ依リ處理シ之ヲ接續驛ニ送付スルモノトス

第七十一條 前二條ニ依リ荷受人ヨリ禁制、制限及取締品等ノ臺灣移出入許可ニ付許可書及合格證等ノ提出アリタルトキハ當該書類ノ餘白ニ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書月日、番號ヲ記入スベシ

月 日 小荷物切符 第 號
貨物通知書 第 號
發驛 發驛 驛

前項ノ場合ハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ其ノ書類ヲ記入シ相互ノ關聯ヲ明ニス
ベシ

附 則

第七十二條 臺灣移出手續ノ代辦ヲ爲ス場合ニ於テ荷送人ヨリ關係書類ノ廻付ヲ要求又ハ荷受人ニ送付ヲ要求ス
ルモノニ對シテハ發驛ニ於テ小荷物及貨物受託ノ際荷物明細書記事欄ニ其ノ旨記載提出セシメ適宜ノ帳簿ニ記入
ノ上之ヲ接續驛ニ送付スベシ

註一 荷物發送後請求アリタル場合モ本條ニ準ジ便宜其ノ取扱ヲ爲スモノトス

第七十三條 發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ前條ノ要求ニ依ル書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ受託ノ際記入シタル帳簿ニ
該書類到着ノ旨記入ノ上荷送人ニ交付スベシ

第七十四條 規則第四十二條第一號及第二號ニ依リ荷送人ヨリ通關手續自辦ノ旨通告アリタル場合及運輸機關ニ於
テ通關手續ノ代辦ヲ爲サザル場合ハ荷送人ヲシテ荷物明細書記事欄ニ通關手續擔當者居所氏名及通關手續自辦ノ
旨ヲ記載セシムルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ且其ノ通關手續擔當者居所氏名
ヲ記入スルモノトス

驛通關自辦
擔當者居所氏名

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續ノ代辦

第一款 通關手續ノ代辦

第七十五條 通關手續代辦ニ關スル各種ノ申告ハ汽船會社ニ於テ之ヲ擔任スルモノトス

第二款 神戸港、下關港及門司港ニ於ケル通關手續

第七十六條 神戸港、下關港及門司港ニ於テ通關手續ヲ要スルモノノ取扱ハ左ノ各號ニ依ル

植物檢査手續

神戸港、下關港及門司港

内地移入要檢査植物ニ對シテハ植物移入檢査申請書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ稅關ニ提出シ立會ノ上稅關官
吏ノ檢査ヲ受ケ檢査合格證ノ交付ヲ受ケ關係書類ト共ニ小荷物及貨物繼送ノ手續ヲ爲スコト

前項ノ場合ニ於テ植物檢査其ノ他ノ手續ニ對スル通關手續代辦手数料及通關ノ爲立替拂ヲ爲シタルトキハ立替金
通知書ヲ發行シ著驛ニ送付ス此ノ場合ニ於テハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺シ要項
ヲ記入スルモノトス

立替金通知書 第 號
汽船會社

植物檢査其ノ他ノ手續ニ對スル通關手續代辦手数料其ノ他ノ立替ヲ爲サザルモノニ對シテハ小荷物切符丙片裏面
又ハ貨物通知書記事欄ニ左ノ印ヲ押捺スルモノトス

立替金 ナシ
汽船會社

第三款 臺灣内ニ於ケル通關手續

第七十七條 基隆港ニ於テ通關手續ヲ要スルモノノ取扱ハ左ノ各號ニ依ル

一 植物検査手續

臺灣移入要検査植物ニ對シテハ植物移入検査申請書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ臺灣總督府植物検査所ニ提出シ立會ノ上検査員ノ検査ヲ受ケ検査済證ノ交付ヲ受ケ關係書類ト共ニ小荷物及貨物搬送ノ手續ヲ爲スコト

註一 本號ノ植物ト其ノ他ノ物品トガ同一梱包ニ在ルトキハ同一梱包内ノ總テノ荷物ニ對シ検査ヲ要ス

二 家畜竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類検査手續

イ 家畜竝ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ニ對シテハ臺北州港務部ニ對シ家畜検査ノ申請ヲ爲シ立會ノ上検査員ノ検査ヲ受ケ検査證明書ノ交付又ハ検査済證ノ認印ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル検査済證ノ餘白ニハ左ノ印ヲ捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入シ小荷物及貨物ト共ニ搬送ノ手續ヲ爲スコト

月 日 小荷物切符 第 號
貨物通知書 第 號
發驛 驛 汽船會社

三 酒類、酒精、酒精含有飲料、砂糖、糖蜜、糖水及特用作物検査手續

イ 酒類、酒精、酒精含有飲料、砂糖、糖蜜、糖水及特用作物ニ對シテハ申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ稅關ニ提出シ立會ノ上稅關官吏ノ検査ヲ受ケ出港許可書又ハ移出承認書ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル出港許可書又ハ移出承認書ノ餘白ニハ左ノ印ヲ捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入シ小荷物及貨物ト共ニ搬送ノ手續ヲ爲スコト

月 日 小荷物切符 第 號
貨物通知書 第 號
發驛 驛 汽船會社

ハ 出港許可書又ハ移出承認書及關係書類ニシテ發驛又ハ著驛ニ廻付ヲ要スルモノハ其ノ手續ヲ爲シ其ノ必要ナキモノハ之ヲ自驛ニ保存スルコト

通關手續代辦手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキ又ハ之ガ立替拂ヲ爲サザリシ場合ノ小荷物切符内片裏面、貨物通知書記事欄ニ對スル印章捺捺、要項記入方及立替金通知書發行方ニ關シテハ前條第二項及第三項ヲ準用ス
前二項ノ規定ハ高雄港ニ於ケル取扱方ニ準用ス

第七十八條 検査ヲ受クル爲小荷物及貨物ノ包裝ヲ解キタルトキハ検査後完全ニ復裝スベシ

荷物ノ一部ヲ見本トシテ稅關ニ提供シタル場合ハ後日ノ證トナルベキ書類ヲ稅關ヨリ受領シ置クモノトス

註一 見本トシテ提供スルコトニ依リ商品價值ヲ失ハザル少量ノモノニ對シテハ稅關ニ於テハ之ガ證明ヲ爲サザルニ付此ノ場合通關發當驛ニ於テハ關係書類ニ其ノ旨附記スルモノトス

第四款 換價處分

第七十九條 規則第五十一條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

第八十條 規則第五十一條第二項及第五十二條第二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ顛末ヲ所屬長ニ報告スベシ

他ノ運輸機關ヨリ規則第五十一條第二項及第五十二條第二項ノ處分ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合亦同ジ

第五款 通關事故

第八十一條 移出小荷物及貨物ニ對シ稅關(植物検査及港務部ヲ含ム以下同ジ)ノ處分ヲ受ケタル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ受クベシ此ノ場合必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷送人ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

他ノ運輸機關ヨリ第一項ノ處分ヲ受ケタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合ハ其ノ願末ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

註一 「稅關ノ處分」トハ移出入禁制品ノ移出入ヲ圖リタル等ノ場合處罰及荷物ヲ沒收セラレルガ如キヲ、植物ニ在リテハ稅關

ニ於テ検査ノ結果病菌又ハ害蟲附著スト認メ植物ノ燒棄、埋沒若ハ著シク毀損シ又ハ移入ヲ禁止シタルガ如キヲ、家畜並ニ其ノ屍體、肉骨、毛及皮類ノ檢疫ニ在リテハ檢疫ノ結果病菌附著スト認メ之ヲ燒棄處分ニ附セラレタルガ如キヲ謂フ

第八十二條 規則第五十二條第一項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷送人ニ通知スベシ
規則第五十二條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

規則第五十二條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第四節 通關手續自辨小荷物及貨物通

第八十三條 通關手續自辨小荷物及貨物が到着シタルトキハ其ノ旨ヲ通關手續擔當者ニ通知シ遲滯ナク通關手續ヲ

爲サシムルモノトス

規則第五十四條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第五節 著驛ニ於ケル取扱

第八十四條 立替金通知書ヲ發行シタル小荷物及貨物が到着シタルトキハ配達ヲ爲スベキ小荷物及貨物ハ届先ニ於テ其ノ他ハ著驛ニ於テ立替金通知書記載ノ金額ト引換ニ引渡ヲ爲スベシ

第八十五條 荷受人ニ於テ通關手續代辨手数料及關稅其ノ他ノ立替金ノ支拂ヲ爲サザル場合ニ於テハ發驛ヲ經テ荷送人ニ其ノ旨ヲ通知シ指圖ヲ求ムベシ

規則第五十一條及同第五十二條ニ依リ換價處分ヲ爲シタル場合ハ其ノ旨ヲ荷送人ニ通知スベシ

第六節 (省 略)

第五章 日本歐洲間

第一節 通

第八十六條 規則第五十五條ニ依リ日本通關手續ノ代辨ヲ爲スベキ驛港及其ノ取扱範圍ハ左ノ通トス
一 輸出入手續

代辨手續		經由	通關擔當驛	荷物	種類
日本輸出手續	ウラチオストツタ	山	敦賀港(北日本)	小荷物及貨物	
	釜山—滿洲里	下關(省)		小荷物及貨物	

日本輸入手續	ウラヂオストツク	敦賀港 (北日本)	小荷物及貨物
	釜山—滿洲里	安東 (總局)	(外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲スモノヲ除ク)
			(外國貨物ノ運送ノ取扱ヲ爲スモノヲ除ク)

二 植物検査

代辨手續	經	由	通關擔當驛	荷物ノ種別	備
内地移入検査及朝鮮輸入検査	釜山	滿洲里	安東 (總局)	小荷物及貨物	輪移入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照
内地輸入検査	ウラヂオストツク		敦賀港 (北日本)	小荷物及貨物	同右
朝鮮移入検査	釜山	滿洲里	釜山 (朝鮮局)	小荷物及貨物	朝鮮移入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照

三 毛及皮類ノ検査

代辨手續	經	由	通關擔當驛	荷物ノ種別	備
内地移入検査及朝鮮輸入検査	釜山	滿洲里	釜山 (朝鮮局)	小荷物及貨物	

註一 第三號ノ小荷物及貨物ハ釜山滿洲里經由ニ限リ取扱ヒウラヂオストツク經由ハ聯絡運輸ノ取扱ヲ爲サズ但シ釜山滿洲里經由ノ小荷物運送ハ當分ノ間之ガ取扱ヲ爲サズ

註二 日本通關手續ニ付關係アル主ナル法令ニ付テハ第三十七條註參照

第八十七條 規則第六十條第二項ニ依ル通關手續代辨手續料ハ日本側運輸機關ニ在リテハ左ノ通トス

イ 日本輸出、日本輸入ノ各手續毎ニ

小荷物(手荷物ヲ含ム) 一口ニ付 金十五錢

貨物 同 金四十錢

ロ 植物検査、毛及皮類検査手續

小荷物(手荷物ヲ含ム) 貨物共

實際ニ要シタル要用

註一 植物検査、毛及皮類検査手續ニ對スル通關手續代辨手續料ニ付テハ第六條註參照

第二節 發驛ニ於ケル取扱

第八十八條 小荷物及貨物ノ通關手續ニ要スル書類ノ様式及作成方ハ様式第二十九號ニ之ヲ掲グ

第八十九條 通關關係書類ヲ送付スル場合ハ小荷物ニ對スルモノニ在リテハシベリヤ經由歐亞小荷物聯絡運輸取扱

細則第十四條ニ依リ、貨物ニ對スルモノニ在リテハシベリヤ經由歐亞貨物聯絡運輸取扱細則第十四條ニ依リ送付スルモノトス

第九十條 規則第五十八條ニ依リ日本輸出入手續ヲ代辨スル小荷物及貨物ニシテ荷送人ヨリ通關手續上特殊取扱ノ

要求アルトキハ第四十條ヲ準用ス

第九十一條 輸出入禁制、制限及取締品竝ニ輸出入ニ付特ニ關係官署ノ許可書又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査

證其ノ他ノ必要書類ヲ要スルモノハ別記第二號(重要輸出品取締法ニ依ル検査機關名及貿易組合法ノ適用アル重要輸出品ニ對シ検査ヲ行フ組合名ニ付テハ本號附録ニ掲グ)ノ通トス

爲替輸出報告書ノ式紙ハ關係驛所ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス

第九十二條 日本輸出手續ノ代辨ヲ爲ス場合ニ於テ荷送人ヨリ輸出免狀、陸揚證明書其ノ他書類ノ廻付ノ要求又ハ

荷受人ニ送付ノ要求アルモノニ對シテハ發驛ニ於テ小荷物及貨物受託ノ際荷物明細書記事欄ニ其ノ旨記載提出セシメ適宜ノ帳簿ニ記入シ置クモノトス

註一 荷物發送後請求アリタル場合モ本條ニ準ジ便宜其ノ取扱ヲ爲スモノトス

註二 陸揚證明書ハ安東ニ在リテハ其ノ領事ニ於テ發給シ、ウラヂオストツクニ在リテハ其ノ領事ニ於テ輸出免狀ノ裏面ニ之ガ證明ヲ爲スモノニシテ用途其ノ他ニ付テハ第四十三條註參照

第九十三條 發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ前條ノ要求ニ依ル輸出免狀及其ノ他書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ受託ノ際記入シタル帳簿ニ該書類到着ノ旨記入ノ上荷送人ニ交付スベシ發驛ニ於テ通關擔當驛ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受ケタル場合亦同ジ

註一 供託受領書ニ付テハ規則第三十四條及細則第四十條、第四十八條及第四十九條參照

第三節 小荷物及貨物ノ通關手續

第一款 通關手續ノ代辨

第九十四條 通關代辨ニ關スル各種ノ申告及請求ハ當該驛長ニ於テ之ヲ擔任スルモノトス

第九十五條 左ノ通關擔當驛ニ於ケル通關手續及小荷物及貨物ノ繼送ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 下關及關釜連絡船

(一) 日本輸出手續

イ 輸出申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ稅關ニ提出シ立會ノ上稅關官吏ノ検査ヲ受ケ日本輸出免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル日本輸出免狀ハ餘白ニ驛長印ヲ押捺スルノ外同免狀及關係書類ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物證書又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入シ安東ニ於テ輸出手續取扱上必要アルモノハ釜山營業所經由安東驛ニ小荷物及貨物ト共ニ繼送ノ手續ヲ爲シ其ノ必要ナキモノハ自驛ニ保存スルコト

月 日 小荷物證書 第 號
發驛 貨物通知書 第 號
下 關 驛

ハ 通關手續代辨手数料其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキハ立替金通知書ヲ發行シ著驛ニ送付ス

二 下關驛ニ於テ日本輸出手續ノ代辨ヲ爲シタル日本輸出免狀ヲ第三號ニ依リ安東驛ヨリ還付アリタルトキ

ハ荷送人ニ送付ヲ要スルモノハ發驛ニ送付シ戻稅ノ請求ヲ要スルモノハ關係書類ト共ニ稅關ニ提出シ其ノ必要ナキモノハ自驛ニ保存スルコト

(二) 植物ノ日本輸入検査

第十七條ニ依リ處理スルコト

(三) 毛及皮類ノ日本輸入検査

第十七條ニ依リ處理スルコト

二 釜 山 驛

朝鮮移入植物検査

第十八條ニ依リ處理スルコト

三 安 東 驛

日本輸入手續

イ 輸入申告書ヲ作成シ必要書類ヲ添附シ稅關ニ提出シ立會ノ上稅關官吏ノ検査ヲ受ケ輸入免狀其ノ他關係書類ノ交付ヲ受クルコト

ロ イニ依リ交付ヲ受ケタル輸入免狀ハ餘白ニ驛長印ヲ押捺スルノ外同免狀及關係書類ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物證書又ハ貨物通知書ノ月日、番號及發驛名ヲ記入シ小荷物、貨物ト共ニ繼送ノ手續ヲ爲シ戻稅ノ請求ヲ爲スベキモノハ關係書類ト共ニ之ヲ稅關ニ提出シ其ノ必要ナキモノハ自驛ニ保存スルコト

ハ 通關手續代辦手数料、關稅其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキハ立替金通知書ヲ發行シ著驛ニ送付ス
内地側ニ於テ日本輸出手續ヲ爲シタルモノニ對スル免狀ノ處理

下關驛ニ於テ日本輸出手續ヲ代辦シタルモノ又ハ發驛ニ於テ日本輸出手續濟ミノモノニ對スル輸出免狀ノ
送付ヲ受ケタルトキハ該免狀ニ日本稅關ノ國外搬出ノ證明ヲ受ケ發驛（下關驛ニ於テ日本輸出手續ヲ代辦
シタルモノハ下關驛）ニ返還スルコト

註一 通關手續代辦手数料、關稅其ノ他ノ立替拂ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ依ルノ外シベリヤ經由歐亞小荷物運輸取扱細
則及同貨物取扱細則ノ規定ニ依リ小荷物證書、運送狀及貨物通知書ノ相當欄ニ立替金額ヲ記入ノ上所定ノ驛印ヲ押捺シ
置クベキモノトス

註二 省線著小荷物、貨物ニ對シ外國側運輸機關ニ於テ立替ヘタル通關手續代辦手数料其ノ他ノ費用ニ對シテハ立替金通知書
ヲ發行セズ小荷物證書、運送狀及貨物通知書ノ相當欄ニ記入シアルモノトス

註三 左ノ書類ノ保存期間ハ發行ノ日共下記ノ通トス
イ 各種免狀 一年半
ロ 運送目錄 五年

註四 歐亞聯絡小荷物ハウチオストツク經由ノミニシテ滿洲里經由ノモノハ近ク之ガ取扱ヲ開始スル豫定ナリ

第九十六條 關稅定率法第八條ニ依リ日本ニ輸入ノ日ヨリ一年以内ニ日本ヨリ再輸出ヲ爲スベキ小荷物、貨物又ハ
同第九條ニ依ル輸入原料品ニシテ輸出品ノ製造ニ充ツルモノヲ日本ニ輸入ノ場合擔保提供ノ必要アルトキハ稅關
ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケ著驛ニ通報シ著驛ヨリ供託受領書ノ廻付ヲ受ケ之ヲ稅關ニ提出シ輸入免狀及供託受領書
預リ證又ハ供託受領書預リ證ヲ兼ネタル輸入免狀ノ交付ヲ受ケ著驛ニ送付スベシ

前項ノ規定ハ輸入免許前小荷物及貨物ノ引取ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス
前二項ノ場合ニ於テハ小荷物證書裏面及貨物通知書ニ左ノ印押ヲ捺スルモノトス

供託受領書預リ證附

註一 本條ニ依リ著驛ガ安東驛ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケタル場合ノ取扱方ニ付テハ第六十條參照
註二 輸入小荷物、貨物ハ輸入免許ヲ受ケタル後ニ非ザレバ之ヲ引取ルコトヲ得ザルモノナルモ當該稅關ノ認許ヲ得相當ノ擔
保ヲ提供シタル場合ニ限リ輸入免許前ニ小荷物、貨物ノ引取ヲ爲シ得ルモノナリ（關稅第二十四條）此ノ場合ハ引取ヲ
爲ス理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スルコトヲ要スルモノトス（關稅施行規則第四十二條）

第九十七條 前條ニ依リ小荷物及貨物ヲ日本ヨリ再輸出ヲ爲シタルガ爲日本輸入ノ際提供シタル供託受領書及供託
原因消滅證明書ヲ稅關ヨリ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ發驛ニ送付スルモノトス

註一 日本ニ輸入ノ日ヨリ一年以内ニ再ビ日本ヨリ輸出スルモノハ日本輸入稅ヲ免除セラルルモノナルガ此ノ場合ハ輸入ノ際稅
金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要シ此ノ擔保ヲ供託シ供託受領書ヲ稅關ニ提供シ居ルヲ以テ日本ヨリ再輸出ト共ニ擔
保提供ノ原因消滅ス仍テ荷送人ハ供託受領書及供託原因消滅證明書ヲ供託局ニ提出スルコトニ依リ茲ニ始メテ義ニ提供シ
タル擔保ノ返還ヲ受ケ得ルコトナル

第九十八條 検査ヲ受クル爲荷物ノ包装ヲ解キタルトキハ検査後完全ニ復裝スベシ
荷物ノ一部ヲ見本トシテ稅關ニ提供シタル場合ハ後日ノ證トルナベキ書類ヲ稅關ヨリ受領シ置クベシ

註一 稅關ニ見本ヲ納付シタルトキハ稅關ヨリ證明ヲ徵スルモノトス此ノ場合通關擔當驛ニ於テハ關係書類ニ其ノ旨附記スルモ
ノトス

第二款 換價處分

第九十九條 規則第六十二條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハ
ザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

第三百條 規則第六十二條第二項及同第六十三條第二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ願末ヲ所屬長ニ報告スベシ
他ノ運輸機關ヨリ規則第六十二條第二項及同第六十三條第二項ノ處分ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合亦同ジ

第三款 通關事故

第三百一條 輸出入小荷物及貨物ニ對シ稅關ノ處分ヲ受ケタル場合ハ直ニ其ノ旨發驛ヲ經テ荷送人ニ通知シ其ノ指圖ヲ受クベシ此ノ場合必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷受人ニ通知スベシ
前項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

他ノ運輸機關ヨリ第一項ノ處分ヲ受ケタル旨ノ通知ヲ受ケタル場合ハ其ノ願末ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

第三百二條 規則第六十二條第一項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ著驛ヲ經テ荷受人ニ通知スベシ

規則第六十三條第一項ノ場合ニ於テ荷送人不明其ノ他ノ事由ニ因リ荷送人ニ對シ通知ヲ爲スコト能ハザル場合ハ所屬長ノ指揮ヲ受クベシ

規則第六十三條第三項ニ依リ保管料ノ收受ヲ要スルトキハ便宜荷物貨訂正通知書ヲ發行スルモノトス

第四款 準用

第三百三條 第一款ニ規定スル下關又ハ安東ニ於ケル通關手續ニ付テハ敦賀港ニ於ケル通關取扱ニ關シ之ヲ準用ス

第四節 著驛ニ於ケル取扱

第三百四條 通關手續代辦手数料、關稅其ノ他ノ立替ヲ爲シタル小荷物及貨物到著シタルトキハ著驛ニ於テ立替金ト引換ニ引渡ヲ爲スベシ

第三百五條 荷送人ニ於テ通關手續代辦手数料關稅其ノ他ノ立替金ノ支拂ヲ爲サザル場合ニ於テハ發驛ヲ經テ荷送人ニ其ノ旨ヲ通知シ指圖ヲ求ムベシ規則第六十二條及同第六十三條ニ依リ換價處分ヲ爲シタル場合ハ其ノ旨ヲ荷送人ニ通知スベシ

人ニ通知スベシ

第三百六條 第九十六條ニ依リ通關擔當驛ヨリ擔保額ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ旨荷受人ニ通知シ供託受領書ヲ提出セシメ之ヲ安東驛又ハ敦賀港ニ送付スベシ

前項ノ小荷物及貨物ニ對シ安東驛又ハ敦賀港ヨリ送付ヲ受ケタル輸入免狀及供託受領書預リ證又ハ供託受領書預リ證ヲ兼ネタル輸入免狀ハ小荷物及貨物ト共ニ荷受人ニ交付スベシ

第五節 關釜連絡船ニ於ケル取扱

第三百七條 關釜連絡船船長ニ於テ作成シ稅關ニ提出ヲ要スル積荷目録及其ノ他書類ニ關シテハ第三十三條ノ規定スル所ニ依ル

第六章 日本中華民國間

第三百十一條 通關手續ノ代辦ヲ爲スベキ驛及其ノ取扱範圍ハ左ノ通トス

一 輸出入手續

番號	代辦手續	經由	通關擔當驛	發著區間
日本輸出手續	安東	東	イ 下關(省)	省線發北支線著 朝鮮移入要申告荷物及電球、珐瑯鐵器、ゴム靴並ニ(同甲被及同底、靴下、人造絹織物、熨寸、麻藥類、) 綿糸、綿製品ニ限ル
			ロ 安東(總局)	省線發北支線著省 (イニヨリ下關ニテ代辦スルモノヲ除ク)
			ハ 新潟港(北日本)	省線發北支線著 (電球、珐瑯鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、) 熨寸、麻藥類、綿糸、綿製品ニ限ル

五	四	三	二	
輸中 出華 手民 續國	輸中 入華 手民 續國	運滿 送洲 手保 續稅	日本 輸入 手續	
天津 航路 東	天津 航路 東	天津 航路 東	天津 航路 東	北 鮮 航 路
塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	二 敦 賀 港 (北日本)
北支線發省線著	北支線發省線著	北支線發省線著	北支線發省線著	省線發北支線著 (電球、鉄脚、鐵器、ゴム靴並ニ同甲被及同底、靴下、 人造絹織物、織寸、麻藥類、綿糸、綿製品ニ限ル)

註一 發驛ニ送還ノ場合ニ於ケル日本輸入手續ハ本號ノ規定ニ依ラズ當初日本輸出手續ノ代辦ヲ爲シタル驛所ニ於テ該輸入手

續ヲ代辦ス
省線稅關所在驛所著(註三ノ場合ヲ除ク)ノモノニシテ運檢機關ニ於テ著地ニテ通關手續ヲ爲スヲ便ト認ムルモノハ著
驛ニ於テ日本輸入手續ヲ爲ス

五	四	三	二	一	番號
輸中 出華 手民 續國	輸中 入華 手民 續國	運滿 送洲 手保 續稅	日本 輸入 手續	日本 輸出 手續	代 辦 手 續
天津 航路 東	天津 航路 東	天津 航路 東	天津 航路 東	天津 航路 東	經 由
塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	塘 沽 天 津 海 關 (北支線)	通 關 擔 當 驛
北支線發省線著	北支線發省線著	北支線發省線著	北支線發省線著	北支線發省線著	發 著 區 間

註三 發驛ニ送還ノ場合ニ於ケル日本輸入手續ハ本號ノ規定ニ依ラズ當初日本輸出手續ノ代辦ヲ爲シタル驛所ニ於テ該輸入手

續ヲ爲ス

註四 第一號イニ依リ下關驛ニ於テ日本輸出手續ヲ代辨スル小荷物及貨物「中綿絲、綿製品」ノ範圍ニ付テハ第三十七條註參照
二 植物検査

經 山	荷物ノ種別	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備 考
ニハロイ 安東 大連 北鮮 天津 航路 東路	(一) 小荷物	朝鮮輸入検査	釜山(朝鮮總局) 安東(同) 圖們(同) 上三峰(同) 羅津(同) 下關(同)	朝鮮輸入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照
	(二) 小荷物 (下關著ヲ除ク)	内地輸入検査	下關(北日本) 敦賀(商船) 門司(近郵) 下關(同) 神戸(同)	内地輸入要検査植物ノ範圍ハ第四條參照

註五 接續驛ノ關係ニ依リ聯絡運輸ノ取扱ヲ爲サザルモノアリ第四條參照
三 毛皮類ノ検査

經 由	荷物ノ種別	代辨ノ範圍	通關擔當驛	備 考
安東	小荷物	(一) 朝鮮輸入検査 (二) 内地輸入検査	安東(總局) 關連(省) 船長(省)	内地輸入要検査ノ範圍ハ第四條參照

註六 本號ノ小荷物及貨物ハ安東經由ニ限リ取扱ヒ其ノ他經由ハ連絡運輸ノ取扱ヲ爲サズ
第一百一條ノ二 規則第七十二條ノ三ニ依ル通關手續代辨手数料ハ左ノ通トス

イ 日本輸出、日本輸入、中華民國輸出、中華民國輸入ノ各手續毎ニ

小荷物(手荷物ヲ含ム) 一口ニ付 金十五錢

貨物 同 金四十錢

口 植物検査及動物検査手續

小荷物(手荷物ヲ含ム) 貨物共

實際ニ要シタル費用

前項イニ掲グル手数料ニシテ小荷物及貨物ニ對スルモノハ小荷物切符又ハ貨物通知書ニ依リ運賃料金が現拂ノモノニ在リテハ荷送人ヨリ又著拂ノモノニ在リテハ荷受人ヨリ收受ス
第一項イニ掲グル手数料ニシテ手荷物ニ對スルモノ及口ニ掲グル手数料ハ立替金通知書ニ依リ旅客又ハ荷受人ヨリ收受ス

註一 運賃、料金ノ一部現拂、一部著拂ノ貨物ニ對スル通關手續代辨手数料ハ荷送人ヨリ收受スルモノトス

註二 植物検査、動物検査手續ニ對スル通關手續代辨手数料ニ付テハ第六條註參照

註三 中華民國發内地着植物及動物等ニ對シテハイニ依ル中華民國輸出及日本輸入ニ對スル通關手續代辨手数料ノ外口ニ依ル鮮滿國境及下關ニ於ケル検査、検査ニ對スル通關手續代辨手数料(實費)ヲ要ス

第一百十二條 通關關係書類ヲ送付スル場合ハ小荷物ニ對スルモノニ在リテハ日中國際旅客及荷物聯絡運輸取扱細則第六十七條ニ依リ、貨物ニ對スルモノニ在リテハ第三條ニ依リ送付スルモノトス

第一百十三條 輸出入禁制、制限及取締品並ニ輸出入ニ付特ニ關係官署ノ許可證又ハ法令ニ定メラレタル機關ノ検査證其ノ他ノ必要書類ヲ要スルモノハ別記第二號(重要輸出品取締法ニ依ル検査機關名及貿易組合法ノ適用アル重要輸出品ニ對シ検査ヲ行フ組合名ニ付テハ本號附録ニ掲グ)ノ通トス

爲替輸出報告書ノ式紙ハ關係驛所ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス

第一百十四條 前各條ニ定ムルモノヲ除キ第三章ノ規定ヲ準用ス

第七章 外國貨物

第一節 内地内及内地朝鮮間ノ運送

第一款 通 則

第一百五條 外國貨物ノ受託、藏置、積卸及引渡ヲ爲スコトヲ得ベキ場所ハ鐵道局長ニ於テ豫メ稅關長ト打合セノ上之ヲ定ムベシ

註一 外國貨物ノ取扱上保稅域ニ搬入及搬出ニ付外國貨物庫入申告書、外國貨物搬入報告書等ヲ要スルモノハ夫々當該稅關所定ニ依リ其ノ手續ヲ爲スコト

第十六條 規則第七條第二號ニ規定スル保稅工場又ハ保稅倉庫ニ出入スル所定藏置貨物ハ別記第三號ノ通トス

第二款 發驛ニ於ケル取扱

第十七條 外國貨物ヲ發送セムトスルトキハ發驛ハ左ノ各號ニ依リ取扱ヲ爲スベシ

一 輸出手續未済小荷物及貨物ヲ發送スル場合ニ於テハ運送免狀ノ餘白ニ驛長職印ヲ押捺シ運送目録ニ代ヘ小荷物及貨物發送前稅關ノ認印ヲ受ケ小荷物及貨物ト共ニ又ハ之ニ先チ之ヲ著驛(朝鮮滿洲發著ニ在リテハ接續驛)ニ送付スルコト

二 輸入手續未済小荷物及貨物ヲ内地著驛ニ發送セムトスル場合ニ於テハ運送免狀ニ依リ様式第二十六號ノ陸路運送目録四通ヲ作成シ内一通ヲ控トシ他ノ三通ヲ小荷物及貨物發送前稅關ニ提出シ其ノ一通ニ稅關ノ認印ヲ受ケ小荷物及貨物ト共ニ又ハ之ニ先チ著驛ニ送付シ運送免狀ハ小荷物及貨物發送後荷送人ニ返付スルコト

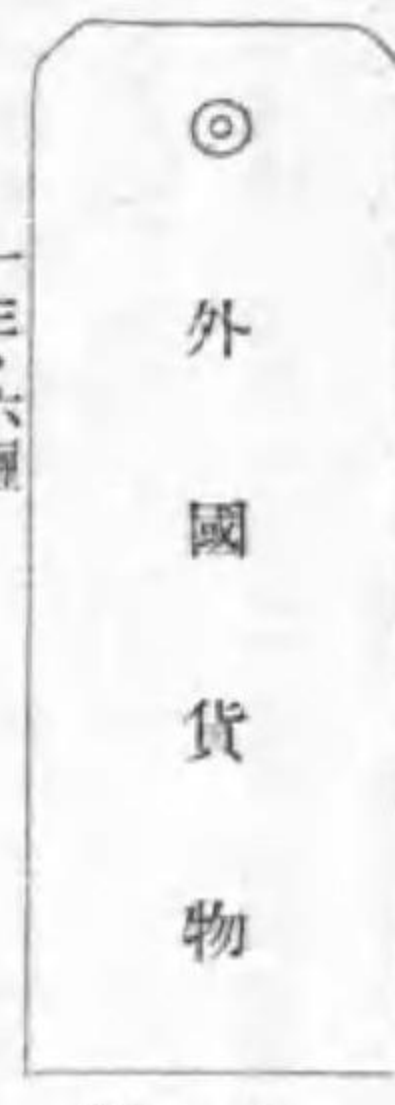
三 輸入手續未済小荷物及貨物ヲ内地ト朝鮮稅關所在驛所及滿洲トノ相互間ニ於テ發送セムトスルトキハ様式第十四號ニ依ル鐵道運送通過貨物運送目録四通ヲ作成シ一通ヲ控トシ他ノ三通ヲ運送免狀ト共ニ小荷物及貨物發送前稅關ニ提出シ其ノ二通及運送免狀ニ稅關ノ認印ヲ受ケ小荷物及貨物ト共ニ又ハ之ニ先チ著驛ニ送付スルコト

四 前各號ノ運送免狀ノ餘白ニハ左ノ印ヲ押捺シ小荷物切符又ハ貨物通知書ノ月日、番號、小荷物及貨物ノ著驛名及貨車積ノ場合ハ貨車番號ヲ記入スルコト

著驛	
貨車番號	
切符、貨通	月 日 番 號

註一 陸路運送目録其ノ他ノ目録ヲ朝鮮ニ於テ作成スル場合ニ付テハ様式第十、十一、十二、二十六號參照

第十八條 外國貨物(規則第二條第四號イヲ除ク)ニハ小荷物及貨物(宅扱、小口扱及應扱貨物ニ限ル)一箇毎ニ左ノ荷票ヲ括付スルモノトス



外國貨物(規則第二條第四號イヲ除ク)ニハ小荷物切符丙片裏面又ハ貨物通知書記事欄ニ「外國貨物」ト記入スルモノトス

第十九條 發驛ニ於テ第二百二十三條ニ依リ著驛ヨリ送付ヲ受ケタル運送免狀ハ之ヲ荷送人ニ返付スベシ

第二十條 下關驛及釜山營業所ニ於テハ運送免狀、運送目録及貨物通知書ハ取纏メ關係驛ニ之ヲ繼送スルモノトス

第二十一條 外國貨物ノ取扱ヲ爲サザル驛發小荷物及貨物ニシテ下關驛ニ於テ輸出免許及下關安東(又ハ圖們、上三峰)間運送免許ヲ受ケ繼送ヲ爲ス場合ハ他ノ外國貨物ノ下關驛ニ於ケル中繼ノ取扱ニ準ジ處理スルモノトス

第二十二條 釜山營業所ニ於テハ輸入手續未済小荷物及貨物ノ引繼ヲ受ケタルトキハ省線、朝鮮又ハ滿洲ヨリ送

付ヲ受ケタル運送目録ニ税關ノ認印ヲ受ケ之ヲ著驛（内地著ハ下關驛經由）ニ送付スベシ但シ貨物ノ一部積殘ヲ生ジタルトキハ運送目録ハ最後ニ繼送ノモノト共ニ之ヲ送付スルモノトス

第四款 著驛ニ於ケル取扱

第二百二十三條 外國貨物ガ著驛ニ到着シタル場合ハ第一百七條第一號乃至第三號ニ依リ發驛ヨリ送付ヲ受ケタル運送免狀及運送目録ハ左ノ各號ニ依ル取扱ヲ爲ス

一 運送免狀ニハ小荷物及貨物到着ノ裏書ヲ爲シ之ヲ税關ニ提出シ税關ヨリ小荷物及貨物到着ノ裏書ヲ受ケ發驛ニ返付スルコト

二 運送目録ニハ小荷物及貨物到着ノ裏書ヲ爲シ之ヲ税關ニ提出スルコト但シ朝鮮及滿洲發ニシテ運送目録二通ノ送付ヲ受ケタル場合ハ其ノ一通ニ税關ノ運送濟ノ證印ヲ受ケ之ヲ發驛ニ返送スルコト

著驛ニ於テ特ニ必要アリト認メタル場合ハ前項第二號ノ運送目録ノ外其ノ寫一通ヲ作成シ税關ノ運送濟ノ證印ヲ受ケ之ヲ保存スルコトヲ得

第二百二十四條 荷受人ニ對スル外國貨物ノ到着通知ハ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲ス場合ハ運送目録ノ提出及輸入手續ヲ了シタル後其ノ他ノ場合ハ運送目録提出後直ニ之ヲ發スベシ

註一 本條ノ到着通知ヲ要スルモノハ驛留致ハ外配達付ノモノニシテ荷主ガ通關手續ヲ自辨スルモノヲ含ム

第二百二十五條 配達ヲ爲スベキ小荷物及貨物ハ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲スベキモノヲ除キ荷受人ヲシテ輸入手續ヲ爲サシメ其ノ免狀ヲ提出セシメ之ヲ確認シタル後之ガ配達ヲ爲スベシ

荷受人ヨリ配達ヲ爲サザル小荷物及貨物ノ引渡ノ請求アリタルトキハ運輸機關ニ於テ通關手續ノ代辨ヲ爲スベキモノニ在リテハ運送目録ノ提出及輸入手續ヲ爲シタル後之ガ引渡ヲ爲シ運輸機關ニ於テ代辨ノ取扱ヲ爲サザルモノニ對シテハ運送目録提出後保税地域内ニ於テ之ヲ荷受人ニ引渡シ荷受人ヲシテ輸入手續ヲ爲サシムベシ

第二百二十六條 荷受人ニ於テ輸入手續ノ自辨ヲ爲ス外國貨物ノ荷受人ニ引渡前ニ税關ニ於テ收容シタルトキハ收容迄ノ時間ニ對シ保管料ヲ收受スルモノトス

前項ノ荷物ガ荷受人ニ引渡後税關ニ收容セラレ驛構内ニ留置スルトキハ引渡ノ時ヨリ引取完了迄ノ時間ニ對シ留置料ヲ收受スルモノトス

註一 「收容」トハ保税地域内ニ搬入シタル荷物ヲ搬入ノ日ヨリ七日以内（實例トシテハ七日以上ニ宣ル場合多シ）ニ搬出セザルトキ處分セラシルコトヲ謂フ而シテ此ノ處分ハ單ニ搬出ヲ促スタメノ處置ナルモノ一且收容セラレタルトキハ更ニ手續ヲ爲スル非ザレバ自由ニ荷物ヲ處理スルコトヲ得ザルモノナリ（關稅法第四十六條參照）

第五款 臨時開廳及仕役特許

第二百二十七條 一般外國貨物取扱驛ニ於テハ貨物輻輳ノ際執務時間外及税關ノ休日其ノ他一般仕役時間外ニ於テ小荷物及貨物ノ託送又ハ引取ヲ促進スル爲必要アルトキハ運輸機關ノ費用ヲ以テ臨時開廳又ハ仕役特許ノ手續ヲ爲スコトヲ得

註一 「臨時開廳」トハ税關ノ執務時間外及休日（規則第十七條、第三十七條及第五十四條註參照）ニ於テ臨時ニ開廳ヲ請フ場合「臨時開廳特許申請書」ヲ提出シ特許ヲ得タルモノヲ謂フ尙此ノ場合其ノ特許ニ對シテハ特許手数料ヲ納入スルヲ要ス
註二 「仕役特許」トハ日没ヨリ日出迄ノ間又ハ税關ノ休日ニ於テ小荷物及貨物ヲ保税地域ニ搬入シ又ハ保税地域ヨリ搬出セムトスル場合「定時間外貨物取扱特許申請書」ヲ税關ニ提出シ特許ヲ得タルモノヲ謂フ尙此ノ場合其ノ特許ニ對シテハ特許手数料ヲ納入スルヲ要ス（關稅法施行規則第三十條參照）

第六款 關釜連絡船ニ於ケル取扱

第二百二十八條 外國貨物ヲ釜山ニ陸揚スル場合ハ關釜連絡船船長ハ第三十三條ニ定ムル積荷目録及其ノ他ノ目録ヲ釜山税關ニ提出スルモノトス

一 記帳書
二 記帳簿
三 記帳簿
四 記帳簿
五 記帳簿
六 記帳簿
七 記帳簿
八 記帳簿
九 記帳簿
十 記帳簿
十一 記帳簿
十二 記帳簿
十三 記帳簿
十四 記帳簿
十五 記帳簿
十六 記帳簿
十七 記帳簿
十八 記帳簿
十九 記帳簿
二十 記帳簿
二十一 記帳簿
二十二 記帳簿
二十三 記帳簿
二十四 記帳簿
二十五 記帳簿
二十六 記帳簿
二十七 記帳簿
二十八 記帳簿
二十九 記帳簿
三十 記帳簿
三十一 記帳簿
三十二 記帳簿
三十三 記帳簿
三十四 記帳簿
三十五 記帳簿
三十六 記帳簿
三十七 記帳簿
三十八 記帳簿
三十九 記帳簿
四十 記帳簿
四十一 記帳簿
四十二 記帳簿
四十三 記帳簿
四十四 記帳簿
四十五 記帳簿
四十六 記帳簿
四十七 記帳簿
四十八 記帳簿
四十九 記帳簿
五十 記帳簿
五十一 記帳簿
五十二 記帳簿
五十三 記帳簿
五十四 記帳簿
五十五 記帳簿
五十六 記帳簿
五十七 記帳簿
五十八 記帳簿
五十九 記帳簿
六十 記帳簿
六十一 記帳簿
六十二 記帳簿
六十三 記帳簿
六十四 記帳簿
六十五 記帳簿
六十六 記帳簿
六十七 記帳簿
六十八 記帳簿
六十九 記帳簿
七十 記帳簿
七十一 記帳簿
七十二 記帳簿
七十三 記帳簿
七十四 記帳簿
七十五 記帳簿
七十六 記帳簿
七十七 記帳簿
七十八 記帳簿
七十九 記帳簿
八十 記帳簿
八十一 記帳簿
八十二 記帳簿
八十三 記帳簿
八十四 記帳簿
八十五 記帳簿
八十六 記帳簿
八十七 記帳簿
八十八 記帳簿
八十九 記帳簿
九十 記帳簿
九十一 記帳簿
九十二 記帳簿
九十三 記帳簿
九十四 記帳簿
九十五 記帳簿
九十六 記帳簿
九十七 記帳簿
九十八 記帳簿
九十九 記帳簿
一百 記帳簿

(甲)

仕入書 (参考)

本溪湖 煤鐵公司配給所 御中
袋號岩・海苔箱入産包細掛 空個 鐵道便 第15號

食料品遺草岩海苔

◆HS	臺箱 200 束入		
# 7	① 1束10枚 重量 50匁		
	1束=付 ② 重量 50匁	¥ 60.00	
保	險 料	¥ 0.15	
荷	造 料	0.60	
積	込 料	0.30	
運	賃(本溪湖迄)	6.14	
		7.19	

本溪湖 cif ¥ 67.19
税金ハ受主ニ於テ御負擔ノ事
上記ノ通相違無之候也
昭和 年 月 日

清 津 海 産 物 會 社 印

(乙)

仕入書 (参考)

奉天 若尾瀬戸物店 御中
陶器 薬包細掛及箱入 貳個 鐵道便 第17號

荷印箱番	品名	商標	寸法	重量	數量	單價	原價	摘要
# 1	陶器製茶(質)器(椀)	(MK)	組 200匁				60.00	一組宛一紙箱入
# 2	陶器製肉皿(薬包)	(MK)	8寸	枚 50匁	枚 1000	0.02	20.00	

保	險 料	¥ 0.20	
荷	造 料	0.80	
積	込 料	0.60	
運	賃(奉天迄)	7.82	
		8.42	

奉天 cif ¥ 89.42
税金ハ受荷主御負擔ノ事
上記ノ通相違無之候也
昭和 年 月 日

釜 山 日本販賣陶器株式会社印

(丙)

仕入書 (参考)

無 須 狩野公司 御中 第 92 號
地下足袋及運動沓 箱入 貳個 鐵道便

荷印番號	品名	商標	文數	足數	單價	原價	摘要
# 1	大丸地下足袋	☆	10.5	50	0.40	20.00	120足
	底付		10.7	40	0.45	18.00	
# 2	〃	〃	11.0	30	0.50	15.00	53.00
	黑運動沓		9.0	60	0.28	16.80	
	底付		10.0	50	0.30	15.00	
	〃	〃	7.0	40	0.25	16.00	105足
							41.86

保 險 料	¥ 0.07	270	¥ 94.80
荷 造 料	1.00		
積 込 料	0.70		
運 賃(撫順迄)	7.29		9.06

撫 順 cif ¥ 103.92
税金受荷主負擔

上肥ノ通相違無之候也
昭和 年 月 日 久 留 米
つちや足袋株式会社 印

(丁)

仕入書 (参考)

奉 天 東洋船花株式会社 御中 第3740號
船織物 麻布包 鐵帶縮 貳個 鐵道便

船織物生地細布

(軍人票)

◆ 2個 每個 40 反入			
T. M. K 36吋×40碼=40平方碼	12封度		
# 5/6 平方吋内糸數 經54本 緯60本	合計1114本		
總 計	80反		
① 1 反=付	¥ 3.50	¥ 280.00	
荷 造 料		¥ 1.00	
積 込 料		0.80	
保 險 料		0.20	
運 賃(奉天迄)	8.22		10.22

奉 天 cif 290.22
輸入税金ハ受荷主御負擔ノ事

上肥ノ通相違無之候也
昭和 年 月 日 大 阪
株式会社 伊藤町店 印

專 用 線

國防力の要素 (一)

＝人的要素＝

人的要素は國防力の第一義的重要性を持つものにして、その優劣は精神力と體力との如何、又夫等の結合體としての數的多少に依つて決定する。従つて人口問題と民族統制問題とがとり上げられ人口の増加、質的向上、思想の統合等が叫ばれるのである。

専用線作業契約準則

六一〇、一〇
八三六

第一條 専用鐵道及特定貨主ノ専用ニ供スル側線（以下併せて専用線ト稱ス）ニ對スル作業契約ハ本準則ニ依リ鐵道局長ニ於テ之ヲ締結スベシ但シ本準則ニ依リ難キモノハ理由ヲ附シ認可ヲ承クベシ

第二條 専用線ニ依リ取扱フ貨物ハ第二十條ノ場合ヲ除クノ外省線又ハ連帶線ニ互リ運送セラルル貨切扱ノモノニ限ル

第三條 専用線ニ發著スル貨車ノ専用線出入作業ハ第四條及第五條ノ場合ヲ除クノ外相手方ニ於テ之ヲ行フモノトス前項ノ作業ニ關シ相手方ハ接續停車場驛長又ハ所管停車場驛長ノ指揮ニ從フモノトス

第四條 省有機關車ニ依リ専用線貨車出入作業方申出アリタルトキハ省ノ作業ニ支障ナキ限り之ニ應ズルモノトス機關車ニ依リ専用線ニ貨車ノ出入ヲ爲ス場合（相手方ノ機關車ニ依ル場合タルト省有機關車ニ依ル場合タルトニ拘ラズ）ニ於テハ省ノ定ムル運轉方法及運轉時刻ニ依ルモノトス

第五條 省ニ於テ専用鐵道ノ運轉管理ヲ爲ス場合ニ於テハ車輛、附屬品及取扱人ヲ提供シ省ノ定ムル入換方式ニ依ル但シ必要ノ場合ニ於テハ列車トシテ取扱ヲ爲スモノトス

第六條 前條ノ場合ニ於テ専用鐵道所有者ハ常ニ其ノ線路ヲ車輛又ハ列車ノ運轉ニ支障ナキ状態ニ置クモノトス省ニ於テ専用鐵道線ガ列車運轉ニ支障アリト認ムルトキハ其ノ運轉ヲ中止スルコトヲ得ルモノトス

第七條 貨物及貨車ノ受授ハ接續停車場又ハ所管停車場構内ニ於テ之ヲ爲シ其ノ地點ハ當該驛長ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第八條 専用線ニ廻入シタル貨車ハ前條ニ依リ受授ヲ爲シタル時刻ヨリ起算シ片道貨物積載ノトキハ六時間、往復共貨物積載ノトキハ十二時間以内ニ之ヲ受授地點ニ返還スベキモノトス但シ省有機關車ヲ以テ専用線ヨリ牽出スル場合ニ於テハ同時内ニ積卸ヲ終了スベキモノトス

省有機關車ヲ以テ専用線ニ廻入シタル貨車ニ對シテハ前項ノ時間ハ接続停車場又ハ所管停車場發時刻ヨリ之ヲ計算ス

前二項ノ規定ハ私有貨車ニ對シテハ之ヲ適用セズ

第九條 専用線作業行程(以下單ニ作業行程ト稱ス)ハ其ノ分岐點ヨリ當該専用線ノ最長終端ニ至ル行程ニ依リ省ニ於テ之ヲ測定スルモノトス但シ専用線ニ發著スル貨車ノ出入方接続停車場又ハ所管停車場ノ作業ニ對シ特別ノ作業トナルベキ場合ニ於テハ配線狀態其ノ他實況ヲ參酌シ其ノ作業トナルベキ地點ヨリ當該専用線ノ最長終端ニ至ル行程ニ依ル

前項ノ作業行程ハ一専用線上(相接続スルモノヲ含ム)ニ於テ數箇ノ積卸場アル場合ニ於テハ各積卸場ノ終端ニ至ル行程ニ依リ各別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ作業行程ヲ測定スル場合ニ於テ籽以下ハ小數一位トシ端數ハ四捨五入トス

第十條 専用線ニ發著スル貨車ニ對シテハ貨車使用料トシテ作業行程片道一籽(籽未滿ハ之ヲ一籽ニ切上グ)貨車一車ニ付左ノ料金ヲ收受ス

- 一 標記荷重應數(二ノ荷重應數ヲ掲記シタルモノハ大ナルモノニ依ル) 十四應以下ノ貨車 一錢五厘
 - 一 標記荷重應數(二ノ荷重應數ヲ掲記シタルモノハ大ナルモノニ依ル) 十五應以上ノ貨車 二錢二厘五毛
 - 一 標記荷重應數(二ノ荷重應數ヲ掲記シタルモノハ大ナルモノニ依ル) 二十應以上ノ貨車 三錢
- 空貨車、省用貨物積載貨車及私有貨車ニ對シテハ前項ノ車貨使用料ハ之ヲ收受セズ其ノ他ノ貨車ト雖作業行程ガ零

籽八分以下ナルトキ亦同ジ

第十一條 省有機關車ニ依リ貨車出入作業ヲ爲ス場合ニ於テハ運轉料(乗務員費ヲ含ム)トシテ一籽一往復ニ付蒸氣機關車及電氣機關車ニ在リテハ一回二十五錢、ディーゼル機關車ニ在リテハ五十錢ノ割合ヲ以テ作業行程ニ應ジテ之ヲ收受ス但シ其ノ最低ハ一往復ニ付蒸氣機關車及電氣機關車ニ在リテハ五十錢、ディーゼル機關車ニ在リテハ二十錢トス

接続停車場又ハ所管停車場以外ノ停車場ヨリ特ニ機關車ヲ廻送スル場合ニ於テハ廻送料(乗務員費ヲ含ム)トシテ其ノ廻送行程一籽(籽未滿ハ之ヲ一籽ニ切上グ)ニ付蒸氣機關車及電氣機關車ニ在リテハ六十錢、ディーゼル機關車ニ在リテハ二十五錢ヲ收受ス

第一項ノ運轉料ハ省用貨物積載用貨車出入作業ニ對シテハ之ヲ收受セズ但シ省用貨物積載貨車ト其ノ他ノ貨車トヲ併結運轉ノ場合ニ於テハ其ノ車數ニ依リ按分シ運轉料金ヲ低減ス此ノ場合ニ於テ錢未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第十二條 (削除)

第十三條 第八條ニ定メタル制限時間内ニ貨物ノ積卸ヲ終ラザルトキ又ハ貨車ノ返還ヲ爲サザルトキハ以後ノ時間ニ對シ省所定ノ貨物運送規則ニ定ムル貨車留置料ヲ收受ス但シ省ノ都合ニ依リ遅延シタル時間ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

貨車ヲ専用線ニ廻入シタル後其ノ使用ヲ取消シタルトキハ省所定ノ貨物運送規則ニ定ムル處分手數料及貨車留置料ヲ收受ス

第十四條 専用線貨車出入ノ爲特ニ踏切看手ノ配置ヲ要スル場合、専用線連絡ノ爲特ニ信號場ノ設置ヲ要スル場合並専用線内ニ於ケル貨物取扱及構内作業ノ爲特ニ係員ノ増加ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ經常費ヲ收受ス
前項ノ經常費ハ年額ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

第十五條 専用鐵道線内列車運轉ノ爲特ニ省ヨリ貨物緩急車ヲ提供シタルトキハ車輛使用料トシテ一車一日又ハ其ノ未滿ニ付二回ヲ收受ス

第十六條 専用線内ニ於テ發生シタル貨物、車輛其ノ他ニ對スル損害ハ相手方ノ負擔トス但シ省ノ責ニ歸スベキ事出ニ因リ發生シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ相手方ガ専用線ニ非ザル線路ニ於テ作業ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

相手方ノ負擔ニ屬スベキ省有車輛ノ破損箇所修理ハ省ニ於テ之ヲ爲シ其ノ費用ヲ相手方ヨリ收受スルモノトス

第十七條 省ハ運輸上ノ必要アルトキハ自己ノ爲ニ専用線ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

第十八條 相手方ガ第三者ニ對シ専用線ノ使用ヲ爲サシメムトスルトキハ省ノ承認ヲ受クベキモノトス此ノ場合ニ於テハ本準則ヲ適用シ相手方ハ第三者ノ使用ニ關シ省ニ對シ其ノ責ニ任ズルモノトス

前項末段ノ規定ハ官公署ノ専用線ヲ第三者ガ使用スル場合ニ於テ第三者ガ省ニ對シ責任ヲ負フベキ旨ヲ承諾シタルトキハ之ヲ適用セザルコトヲ得

第十九條 相連結スル二箇以上ノ専用線ニ對シ作業契約ヲ締結スル場合ニ於テハ省ヲ當事者ノ一方トシ他ノ當事者ヲ併セ當事者ノ一方トス此ノ場合ニ於テハ當該當時者ハ省ニ對シ連帶シテ責任ヲ負擔シ且單獨ニ行爲スルコトヲ得ザルモノトス

第二十條 相手方ガ其ノ専用線内、専用線ト其ノ接續停車場間又ハ同一停車場ニ接續スル二専用線間ニ於テ貨物運送ノ爲省有貨車ヲ使用セムトスルトキハ車輛貸渡及使用規則ニ依リ之ガ貸渡ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

専用線ト其ノ接續停車場間又ハ同一停車場ニ接續スル二専用線間ニ於テ前項ニ依リ貸渡シタル貨車又ハ相手方所有ノ貨車ヲ運轉セシメタルトキハ積空ニ拘ラズ其ノ接續停車場發着又ハ通過ニ對シ一發、一著又ハ一通過毎ニ發著手數料トシテ左ノ料金を收受ス

貨車標記荷重應數(二ノ荷重應數ヲ掲記シタルモノハ大ナルモノニ依ル)

一應ニ付 拾 錢

専用線内ニ於テ第一項ニ依リ貸渡タル貨車又ハ相手方所有ノ貨車運轉ノ爲省有機關車ヲ使用シタルトキハ第十一條ノ運轉料ヲ收受ス

第二十條ノ二 省線ト其ノ連帶線トノ接續點ニ於テ各別ノ停車場ヲ有スル場合(共同使用ニ非ザル場合)省停車場ニ接續スル専用線ト連帶線トノ間ニ出入スル貨車ノ省停車場構内通過ニ對シ一通過毎ニ發著手數料トシテ前條ノ料金を收受ス

第二十一條 第十條、第十一條、第十三條、第十五條、第二十條及第二十條ノ二ノ料金を毎月二十日迄ニ其ノ前月分ヲ收受スルモノトス此ノ場合ニ於テ錢未滿ノ端數ハ其ノ合計額ニ於テ之ヲ切捨ツ

第十四條ノ費用ハ左ノ二期ニ等分シ之ヲ仕拂ハシムルモノトス但シ契約ノ期間ガ一年ニ滿タザル場合ニ於テハ日割計算トシ仕拂期日ハ別ニ之ヲ指定スルモノトス

四月上旬	自	四月	半期分
	至	九月	
十月上旬	自	十月	半期分
	至	翌年三月	

第二十二條 本準則ニ依ル契約ハ双方三ヶ月前ノ豫告ヲ以テ之ヲ解除スルコトヲ得ルモノトス

省ハ一ヶ月前ノ豫告ヲ以テ料金を取扱條項ノ變更ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

相手方ニ於テ契約違反ノ行爲アリタルトキハ省ハ何時ニテモ車輛ノ出入ヲ停止シ又ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第二十三條 本準則ニ依ル契約ノ期間ハ會計年度ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ期間ノ末日一ヶ月前迄ニ双方ヨリ何等ノ申出ナキトキハ契約ヲ次ノ一ヶ年間繼續スルコトヲ得以後ノ期間ニ付亦ジ

附 則

- 第二十四條 本準則ハ大正十年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第二十五條 本準則ニ依ル施行細則ハ鐵道局長ニ於テ之ヲ定ムルモノトス
- 第二十六條 本準則ニ依リ契約ヲ締結シタルトキハ鐵道局長ハ契約書寫及專用線圖面ヲ添ヘ之ヲ大臣ニ報告スベシ
前項ノ規定ハ契約ヲ變更シ又ハ第二十五條ニ依リ施行細則ヲ定メタル場合ニ之ヲ準ス
- 第二十七條 本準則ハ第十條第二項後段ノ規定ヲ除キ省有砂利線内等ニ於テ貨物積卸ノ爲メ貨車ヲ出入セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ第十條ノ貨車使用料ハ作業料程片道一料積載貨物一應ニ付二錢トス
- 第二十八條 專用線車輛出入作業ニ關スル現行契約ハ其ノ期間滿了迄本準則ニ依ラザルコトヲ得

專用線作業契約準則施行細則

大 一五、九
札 達 甲 三二七

- 第一條 本細則ニ於テ專用線ト稱スルハ省線又ハ共同使用驛ニ於ケル會社線ニ接続又ハ連絡（以下單ニ連絡ト稱ス）スル左記線路ニシテ特定貨主ノ専用又ハ使用ニ供スルモノヲ謂フ
 - 一 專用鐵道規程ニ依リ敷設セル專用鐵道
 - 一 官廳所有ノ專用鐵道
 - 一 請願ニ依リ敷設セル專用側線
 - 一 省用砂利線等ノ非營業線

第二條 專用線ニ貨車出入方申込アリタルトキハ關係驛長ハ左ノ事項ヲ記載シタル專用線作業申込書及平面圖（專用鐵道以外ハ略圖ヲ用フルコトヲ得）ヲ徵シタル上所管運輸事務所長ニ提出シ運輸事務所長ハ保線事務所長ト協議ノ上之ニ意見ヲ附シ運輸部長ニ進達スルモノトス

- 一 專用線接続又ハ所管驛名
- 二 專用線名稱
- 三 積卸場名稱並専用線延長
- 四 作業方法
- 五 發著貨物品名及見込數量
- 六 契約期間

線路ノ變更アリタルトキニ於テモ前項ニ準ジ取扱フモノトス

- 註一 專用鐵道線ノ貨車出入作業ヲ省有機關車ニ依ラムトスルモノハ別途運輸管理委託ノ手續ヲ爲サシムルコト
- 二 細則第十二條ノ第三者使用ノ申込書ニハ第三使用者ノ氏名ヲモ記入セシムルコト
- 三 共同出願ニ依リ敷設シタル專用線及相連絡スル二個以上ノ專用線ニ對スル作業契約申込書ハ各相手方連名トシ細則第十三條ノ代表者ヲ選定記載セシムルコト

第三條 專用線（專用鐵道線ヲ除ク）ノ敷設又ハ變更工事竣工シタルトキハ線路ノ測定及圖面ノ作成ハ工務部ニ於テ之ヲ爲シ運輸部長ニ廻付スルモノトス

第四條 專用線作業契約ヲ締結シタルトキハ運輸部長ハ直ニ其ノ契約事項ヲ接続又ハ所管驛長、運輸、保線事務所長ニ通知スルモノトス

第五條 専用線作業契約準則(以下準則ト稱ス)第八條ニ定ムル制限時間ハ左ニ掲グル時刻ヨリ之ヲ計算スルモノトス

一 省有機關車又ハ移動起重機ニ依リ作業ヲ爲ストキハ接続又ハ所管驛發時刻

二 前號以外ノ動力又ハ手押ニ依リ作業ヲ爲ストキハ貨車ノ受授時刻

三 驛構外線路ノ途中ヨリ分岐スル(以下本線途中分岐ト稱ス)専用線ニシテ列車ヲ停止シ其ノ機關車ニ依リ作業ヲ爲ストキハ其ノ前驛發時刻

四 契約相手方以外ノ名義ヲ以テ接続又ハ所管驛ニ到着シタル貨物ニシテ取卸ヲ爲サズ其ノ儘専用線ニ廻入方契約者ヨリ申出アリタルトキハ荷受人ニ對シ貨物到着通知ヲ發シタル時刻

第六條 準則第八條ニ定ムル制限時間ハ貨物運送規則第二十九條補則三ヲ準用シ驛長ニ於テ之ヲ延長スルコトヲ得ルモノトス

第七條 専用線上分割シテ作業行程ヲ設定シタルトキノ貨車使用料計算行程ハ其ノ起點ヨリ作業ヲ爲シタル積卸場終端迄ノ作業行程ヲ合計シタルモノトス

同一貨車ニ對シ二個以上ノ積卸場ニ於テ分割積卸ヲ爲ス場合ハ貨車使用料計算行程ノ長キモノニ依ル

第八條 省有機關車ニ依ル作業ニシテ左ノ場合ニ於ケル運轉料計算方ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 相連絡スル専用線ニシテ行程計算起點ヨリ各線別ニ行程ヲ設定シタルモノニ對シ併結作業ヲ爲シタルトキハ最長線路ニ於ケル一個ノ作業行程ニ依ル

二 専用線ヲ二以上ニ分割シテ作業行程ヲ設定シタルモノニ對シテハ作業ヲ爲シタル各線路ノ合算行程ニ依ル

註一 準則第十一條ノ機關車一往復トハ接続又ハ所管驛構内(苗穂札幌驛間北側及南側々線ハ當該所管驛ノ構内ト看做ス)一發著ヲ謂フ但シ本線途中分岐ノ専用線ニ於テ列車ヲ停止シ作業ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ分岐點一發著ヲ以テ一往復トス
二 突放ニ依リタルトキト雖之ヲ機關車作業ト看做ス
三 移動起重機ニ依ル貨車入換作業ハ手押作業ト看做ス

第九條 準則第十一條第三項ニ依リ省用貨物積載貨車ト其ノ他ノ貨車トヲ併結運轉ノトキ又ハ其ノ併結運轉ニ依リ運轉料低減ノ爲按分ヲ爲ストキハ特ニ定メアルモノヲ除キ一ヶ月分ヲ取纏メ月末ニ於テ一契約毎ニ左ノ算式ヲ以テ計算スルモノトス

$$\frac{\text{併結區間一往復ノ運轉料} \times \text{併結作業回数} \times \text{併結作業ニ於ケル一契約ニ對スル總車數}}{\text{併結車數}}$$

註一 「特ニ定メアルモノ」トハ作業ノ都度收入スベキモノ又ハ省用貨物ニ對シ發驛ニ於テ貨物通知書ニ依リ收入スルモノヲ謂フ
二 算式ニ於テ「併結」トハ其ノ一契約ニ對スル貨車ガ他ノ契約者又ハ省用貨物ニ對スル貨車ト併結サレタルモノヲ謂フ
三 按分計算ノ結果端數ヲ生ズルモノハ厘位マデ求メ以下切捨トス

第十條 準則第十四條ニ依リ専用線作業ノ爲特ニ驛員ノ増加ヲ要スルトキハ運輸事務所長ハ其ノ事由ヲ具シ運輸部長ニ稟申スルモノトス之方異動ニ付亦同ジ

第十一條 準則第十六條ニ定ムル相手方ノ負擔ニ屬スベキ損害發生シタルトキハ驛長ハ損害負擔承諾書ヲ徵シ一般ノ例ニ依リ處理スルモノトス

第十二條 契約相手方ヨリ第三者ニ對シ専用線ヲ使用セシメタキ旨申込アリタルトキハ驛長ハ第二條ニ準ジ申込書ヲ運輸事務所長ニ提出シ運輸事務所長ハ之ニ意見ヲ附シ運輸部長ニ進達スルモノトス但シ倉庫業者ノ専用線ニ倉庫寄託者又ハ運送取扱業者名義ノ貨物ヲ出入セシムルトキハ本條ノ手續ヲ要セズシテ使用セシムルコトヲ得

専用鐵道線ヲ第三者ニ使用セシムルトキハ前項ニ依ルノ外目的外使用認可書寫ヲ提出セシムルモノトス
註 準則第十八條第二項ノ第三者ガ省ニ對シ責任ヲ負フベキ旨承諾シタルモノハ申込書ニ其ノ事項ヲ明瞭ナラシムルコト

第十三條 共同出願ニ依リ敷設シタル専用線及相連絡スル二個以上ノ専用線ニ對シ準則第十九條ニ依リ作業契約締結ノ場合ハ相手方ノ内一名ヲ代表者トシ専用線作業ノ諸料金、經常費、準則第十六條ノ損害負擔額等ハ其ノ代表者ヲシテ納入セシムルモノトス

相連絡セザル二個以上ノ専用線ニシテ連名契約ヲ爲スモノニ付亦同ジ

第十四條 私有貨車又ハ連帶線所屬車ヲ専用線ト其ノ接続停車場間又ハ同一停車場ニ接続スルニ専用線間ニ運轉セシメタルトキハ準則第二十條第二項ニ定ムル發著手數料ヲ收受スルモノトス貨渡車ヲ専用線ニ差入レノトキノ空車發及返還取引ノトキノ空車著ニ對シテハ發著手數料ヲ收受セザルモノトス

第十五條 準則第十四條ノ經常費ハ局ニ於テ徵收ノ手續ヲ爲スモノトス

第十六條 運轉料、貨車使用料ヲ收受セザル専用線ニ於ケル貨車留置料、處分手數料並官公衙ノ専用線ニシテ相手方ニ於テ指定シタル荷主ノ負擔ニ屬スベキ各種料金ハ諸切符ヲ發行シ直ニ收受スルモノトス

第十七條 準則第二十一條ニ定ムル諸料金ハ貨物運賃料金ノ豫納又ハ後拂契約アルモノト雖其ノ取扱ヲ爲サザルモノトス但シ官公衙ヨリ收受スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 専用線作業契約期間又ハ第三者ニ對シ専用線使用ヲ承認シタル期間中ニ於テ其ノ必要ナキニ至リタルモノニ對シテハ驛長ハ相手方ニ就キ確認ノ上運輸事務所長經由運輸部長ニ報告スルモノトス

第十九條 専用線ヲ省ニ於テ常時使用ノ必要アルニ至リタルトキハ運輸事務所長ハ狀況ヲ具シ運輸部長ニ報告スルモノトス

第二十條 運輸部長ハ専用線作業契約臺帳ヲ備ヘ契約事項ヲ明瞭ナラシメ置クモノトス

地方鐵道又ハ軌道會社線ト共同使用ヲ爲ス停車場ニ於ケル會社ノ驛務ハ左記ニ依リ處理スベシ

一 共同使用停車場(以下連絡驛ト稱ス)ニ於ケル會社ノ通常驛務ハ社線列車ニ對スル乗務、掃除及點燈ヲ除クノ外省ニ於テ之ヲ

共同使用停車場ニ於ケル社線驛務處理方

(抜萃) 昭八、七
札達甲一四八

處理スルモノトス但シ社線列車組成、社線發著及社線間連絡車輛入換ニ關シテハ社ノ動力車(乗務員共)ヲ使用スルモノトス

三 連絡驛ニ於テ會社ノ驛務處理ニ要スル運輸收入ニ關スル諸帳表、運轉報告其ノ他ノ消耗品ハ省ノモノヲ使用スルモノトス

四 連絡驛ニ於ケル社ノ收得トナルベキ運輸收入及雜收入ハ省ノ收入トシテ取扱フモノトス但シ其ノ後拂ニ關スルモノハ會社ニ於テ直接之ヲ收入スルモノトス

五 一項(略)

社線ヨリ連絡驛ニ到着シタル著拂扱、配達扱及代金引換以外ノ貨物ニ對スル通知書乙片配達ヲ爲サザル手荷物及配達ノ取扱ヲ爲シ得サル小荷物ニ對スル切符丙片(代金引換ノモノヲ除ク)ハ旬間毎ニ取纏メ直接會社ニ送付スルモノトス

六 社線方面ヨリ連絡驛ニ到着スル配達ノ取扱ヲ爲スコトヲ得ベキ小荷物及宅扱貨物ニ對シテハ社ニ於テ集配人ヲ指定シ又ハ自ら集配ヲ經營スル場合ヲ除キ總テ省ニ於テ配達ヲ爲スモノトス宅扱貨物ノ集貨ニ付亦同ジ

一〇 社線營業料、旅客、手荷物、小荷物、附隨小荷物及貨物運賃其ノ他取扱上ノ條件等ハ會社ノ定ムルトコロニ依ルモノトス

専用線一覽

昭五、一二
通報

大正十年十月達第八三六號ノ専用線及之ニ準スルモノノ接続驛、所管驛、作業方法及行程ハ別表専用線一覽表ノ如シ契約相手方以外ノ名義ヲ以テ接続驛又ハ所管驛ニ到達シタルモノト雖積卸ヲ爲サズ其ノ儘専用線ニ廻入方契約者ヨリ申出タルモノハ當該契約者ノ名義ニテ到着シタルモノト看做シ之ヲ取扱フコトヲ得ルモノトス此ノ場合ニ於ケル専用線作業契約準則第八條ノ制限時間ハ取卸ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ發シタル時ヨリ之ヲ起算スルモノトス

本年中ノ契約相手方名ハ貨物運送規則、同補則及貨車輸送手續ニ依リ運送狀、通知書及車票ニ記載スベキ専用線名トシテ之ヲ用フルモノトス但シ錯誤ヲ生ゼザル程度ニ之ヲ省略シテ記載スルモ妨ゲナキモノトス

大正十二年一月二十三日公報通報省車輛ノ出入作業ヲ爲ス専用線及之ニ準ズルモノノ接続驛、所管驛及作業方法等ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

専用線一覽表(省略鐵道法規類抄第十四編運輸別輯四五四ノ一六頁參照)

專用線作業契約相手方以外使用方ノ件

注 昭一三、四
意

昭和五年十二月五日通報専用線一覽中本文第二項「契約相手方以外ノ名儀ヲ以テ接続驛又ハ所管驛ニ到着シタルモノト雖積卸ヲ爲サズ其ノ儘専用線ニ廻入方契約者ヨリ申出タルモノハ當該契約者ノ名儀ニテ到着シタルモノト看做シ之ヲ取扱フコトヲ得ルモノトス」ハ事情已ムヲ得ザルモノニ對シ臨機ノ處置トシテ特ニ之ヲ認メントスル趣旨ニシテ當時廻入ヲ要スルモノニハ適用スベキニアラザルニ付取扱上注意ヲ要ス

室蘭及釧路驛接續木材防腐會社専用線發

省用貨物ニ關スル件

昭一二、五
札達甲一二六

釧路驛接續北海木材防腐株式會社専用線並ニ室蘭驛接續東亞木材防腐株式會社専用線發省用貨物ニ對シテハ特種貨物運送手續第十六條ノ例外トシテ北海道線内到着ノモノニ限り取扱（積込ハ託送者負擔）ノ取扱ヲ爲ス

室蘭及釧路驛接續木材防腐會社専用線發

省用貨物取扱方ニ就テ

注 昭一二、五
意

本日札鐵甲第一二六號ヲ以テ釧路驛接續北海木材防腐會社専用線並ニ室蘭驛接續東亞木材防腐會社専用線發送ニ係ル省用貨物取扱

方指定セラレタルガ有省用用品ニシテ二口以上ノ貨物ヲ一車ニ積合セタル場合ノ専用線内運賃計算方ハ託送口數ニ依リ按分スルモノトス

專用鐵道又ハ専用側線トナルベキ線路ノ
建設工事用品運送方ノ件

大 一五、八
達 六四一

省ニ於テ工事ノ委託ヲ受ケタル専用鐵道又ハ専用側線トナルベキ線路ノ建設工事用品ヲ省線ト該工事線トヲ通ジ運送方申込アリタルトキハ工事線内ノ運送ニ付テハ専用線作業契約準則ヲ準用シ鐵道局長ニ於テ之ガ取扱ヲ爲スベシ

自
動
車

國防力の要素 (二)

二 自然的要素

領土と其の上に散布される諸資源とが之である。即ち領土の位置、廣狹、地勢、可耕地積、海岸線の様相、國境等は國防、作戰上に多大の關係を有つものにして、資源の蓄積、培養、開發等の關係も亦領土と共に自然的要素として相互不可分の關聯をもつ。

自動車線貨物運送規則同補則

昭五、一二 告三五七
達一〇六六

第一條 省所管ノ自動車線ニ於ケル貨物ノ運送ニ付テハ別段ノ定アル場合ヲ除キ本規則ニ依ル

自動車線ト省所管ノ鐵道又ハ航路（以下鐵道ト稱ス）ト通シ運送（以下通シ運送ト稱ス）スル場合ノ鐵道ニ於ケル運送及自動車線ニ於ケル宅扱貨物ノ運送ニ付テハ特ニ本規則ニ定メアル場合ヲ除キ貨物運送規則ニ依ル

註 貨物運送規則第二條及同補則ハ本運送ニ準用アリ（第二十九條及同補則一參照）隨テ以下本規則及補則ニ於テモ同規則及補則ニ定ムル略語ヲ使用セリ

第二條 左ニ掲グル貨物ハ運送ノ引受ヲ爲サズ

- 一 自動車線ヲ經由シテ鐵道相互間ニ亘リ運送スルモノ但シ南豫線ヲ經由スル宅扱貨物ハ此ノ限ニ在ラズ
- 二 一箇ノ高二・三五米、幅一・六米又ハ重量二千疋ヲ超ユルモノ
- 三 特種貴重品、甲種ノ火藥類並小口扱ニ對シ等級ノ定ナキモノ
- 四 運送ニ付特殊ノ管理ヲ要スルモノ

註 本條第一號ニ掲グル貨物ニシテ鐵道ト自動車線トノ接續驛ニ發着スルモノハ之ヲ除クモノトス

第三條 左ニ掲グル貨物ハ省ニ於テ承諾シタル場合ニ限り小口扱又ハ車扱貨物運送引受ヲ爲ス

- 一 一箇ノ長四・五米、重量一千五百疋又ハ容積八立方米ヲ超ユルモノ
- 二 水ニ容レタル活魚並汚穢品
- 三 自動車線ニ於ケル運送時刻ヲ荷送人ニ於テ指定スルモノ
- 四 鐵道ヲ貸切扱トシ通シ運送スル貨物ニシテ鐵道ニ於ケル運送列車又ハ連絡船ヲ荷送人ニ於テ指定スルモノ

五 運送経路ヲ荷送人ニ於テ指定スルモノ

六 通シ運送スル貨物ニシテ鐵道ヲ臨時列車ニ依リ運送ノ請求アルモノ

補則一 本條ニ定ムル貨物ヲ運送ノ申込アルトキハ左ニ掲グル場合ニ限り驛務掛ニ於テ之ヲ引受け其ノ他ハ鐵道局長ノ指揮ヲ受クベシ

一 貨物ノ長、重量又ハ容積ガ本條第一號ノ制限ヲ超ユルモ自動車又ハ途中積換ヲ要セザル貨車ニ積載シ得ルコト明ナルトキ

二 水ニ容レタル活魚ハ積合貨物ニ損害ヲ及ボス虞ナキトキ又汚穢品ハ糞尿以外ノモノニシテ完全ナル荷造ヲ施シ毫モ臭氣ヲ發シ若ハ汚物漏出等ノ虞ナキトキ

三 運送時刻ヲ指定シタルモノハ最寄ノ自動車所主任ト打合せ其ノ手配可能ナルトキ

四 列車又ハ連絡船ヲ指定シタルモノハ別ニ定ムル列車又ハ連絡船ニ依リ運送スルトキ

註一 自動車ノ積載制限ハ左ノ通ナルガ長ニ付テハ貨物ノ形態(例ヘバ細長キモノ等)ニ依リ必ズシモ此ノ制限ニ拘ラザルコトヲ得ルヲ以テ 四・五米以下ノモノハ通常ノ場合積載可能ノ見込ナルモノヲ超ユルモノハ其ノ都度積載ノ能否ヲ判斷シ積載シ得ルコト明カナルトキニ限り本補則第一號ニ依リ驛務掛ニ於テ引受け得ルモノトス

一・五 積貨物自動車 長 二・五〇米 幅 一・六〇米 高 二・四五米

二 積貨物自動車 〃 三・〇〇米 〃 一・七二米 〃 二・三五米

一・五 積附隨自動車 〃 三・五〇米 〃 一・八〇米 〃 二・四〇米

二 積附隨自動車 〃 五・五〇米 〃 一・六八米 〃 二・三六米

二 第四號中ノ「別ニ定ムル列車又ハ連絡船」トハ列車又ハ連絡船指定貨物運送ノ件(昭和四年九月十日通報)ニ定ムルモノヲ謂フ

第四條 貨物ノ扱種別ハ宅扱、小口扱及車扱トス

註一 宅扱貨物ノ取扱制限ニ付テハ貨物運送規則第四條ノ定ムル所ニ依ルモノトス

二 車扱ハ鐵道ニ於ケル貨切扱ト異リ貨主ヲシテ常ニ一車ヲ専用セシムルモノニ非ザルヲ以テ積卸輸送等(集配ヲ除ク)ニ付テハ小口扱ト同様トス

第五條 前條ノ扱種別ハ荷送人ノ選擇ニ依リ之ヲ定ム但シ運送規則第四條第二號ニ掲グル貨物ハ小口扱ニ依ルコトヲ得ズ

通シ運送スル場合ノ扱種別ハ自動車線ヲ車扱トスルモノハ鐵道ハ扱扱又ハ貨切扱ニ依リ其ノ他ハ自動車線ト鐵道トハ同一種別ニ依ル

註 通シ運送スル場合ハ宅扱又ハ小口扱ニ在リテハ自動車線ト鐵道ト同一扱ニ依ルコトトシ自動車線ヲ車扱トスルモノニ在リテハ鐵道ハ扱扱又ハ貨切扱ノ孰レニモ連絡ノ取扱ヲ爲シ得ルモノトス尤モ航路ニ跨リ運送スルトキハ自動車線以外ノ線ハ常ニ同一扱種別ニ依ルコトヲ要スルモノトス

第六條 一口ト爲シ得ベキ貨物ノ制限ニ付テハ貨物運送規則第五條第一號及第二號ノ例ニ依ル但シ鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル貨物ニシテ自動車線發ノモノハ八廬—十廬又ハ十三廬—十五廬ノ貨車一車ニ積載シ得ル數量ノモノタルコト

第七條 貨物ノ引渡期間ハ小口扱及車扱ニ在リテハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

通シ運送スル場合ノ引渡期間ハ自動車線ト鐵道トノ程ヲ通算シ鐵道ノ例ニ依リ之ヲ算出ス

第十二條ニ依リ一口ノ貨物ヲ分割シテ引受けケタル場合ノ引渡期間ハ最後ノ引受ノ時ヨリ之ヲ起算ス

輸送期間ハ營業程ニ依リ之ヲ計算ス

註一 一口ノ貨物ヲ二回以上ニ分割シテ引受けケタル場合ニ於ケル引渡期間ノ終期ハ各部分ニ付之ヲ計算スルモノトス

二 輸送期間ヲ計算スル場合ハ自動車線ニ在リテモ貨物營業程ニ依ラズ營業程ニ依ルモノトス

第八條 荷送人ハ左ニ掲グル場合ニ限り貨物託送ノ際一口毎ニ運送狀ヲ提出スルモノトス

一 引換證ヲ請求スル場合

- 二 代金引換ノ取扱ヲ請求スル場合
- 三 要償額ヲ表示スル場合

通シ運送スル場合ハ鐵道ヲ貨切扱トスルトキ及前項第一號乃至第三號ニ該當スルトキニ限り運送狀ヲ提出スルモノトス

運送狀ヲ要セザル貨物ノ受託方及運送狀ノ様式ニ付テハ鐵道ノ例ニ依ル

補則一 運送狀、通知書、引換證等ノ記入方ハ鐵道ノ例ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 通シ運送スル場合ノ運賃及扱種別(同一種別ニ依ルトキヲ除ク)ハ發線ヲ先ニシ各線各別ニ記入スルコト此ノ場合運賃ニ端數ヲ生ジタルトキハ自動車線ノ分ニ合算整理スルコト

- 二 自動車ニ於ケル運送時刻ノ指定ニ應ジタルトキハ記事欄ニ其ノ旨及指定時刻ヲ「何日何時著(又ハ發)」ノ例ニ依リ記入スルコト

第八條ノ二 自動車線ト船舶ノミニ跨リ運送スル場合ハ全運送ニ對シ貨物引換證ノ發行ヲ爲サズ

註 本條ニ謂フ船舶トハ省所管ノ青森函館間、下關釜山間及稚内大泊港間航路ヲ指スモノトス

第九條 貨物ノ荷造及容器ニ付テハ鐵道ノ例ニ依リ此ノ場合車扱貨物ニ付テハ自動車線内ノミヲ運送スルモノ及鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スルモノニ限り鐵道ニ於ケル貨切扱貨物ノ例ニ依ル

第十條 貨物ノ荷札(又ハ之ニ代ルベキ表示、以下同ジ)ニ付テハ小口扱及車扱貨物ニ在リテハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル但シ自動車線内發著ノモノ及鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スルモノニ限り其ノ枚數ハ貨物ノ一端ニ一枚(省ニ於テ運輸上支障ナシト認メ特ニ承諾シタル場合ハ荷札ヲ省略スルコトヲ得)ヲ附スベキモノトス

補則一 貨物ノ荷票ハ小口扱及車扱貨物ニ在リテハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル但シ自動車線内發著ノ車扱

貨物ニシテ集貨及配達ヲ爲スモノニ對シテハ之ヲ要セズ

第十一條 荷送人ヨリ秤量ノ委託又ハ繼送通知ノ請求アルトキハ鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル場合ニシテ秤量驛又ハ繼送驛ガ鐵道線内ナルトキニ限り鐵道ノ例ニ依リ之ニ應ズ

第十二條 一口ノ貨物ガ自動車ニ積付クベキ状態ニ於テ長二・五〇米、幅一・六〇米若ハ高二・三五米又ハ重量千五百斤ヲ超ユルトキハ運送ノ都度分割シテ貨物ノ引受ヲ爲シ又ハ引取ヲ求ムルコトアルベシ

註 自動車線ノミニ由リ運送スル場合ハ一口ノ數量ニ付別段ノ制限ナキモ(一箇ノ數量ニ付テハ第二條第一號及第三條第一號ノ制限アリ)鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル貨物ニシテ自動車線發ノモノハ第六條但書ノ制限ヲ受クルモノトス

補則一 本條ノ制限ヲ超ユル場合ニシテ一車ニ積載シ得ザルトキハ左ノ各號ニ依リ分割シテ運送スベシ

- 一 通知書ハ受託ノ際作成スルモ其ノ甲片(引換證付ノ場合ハ引換證)ハ貨物全部ノ引受ヲ爲シタル後之ヲ交付スルコト

- 二 初回便ニテ運送スルモノハ通知書ニ依リ、又二回目以後ノ分ハ積殘ノ場合ノ例ニ依リ貨物送付書ニ依リ運送スルコト但シ貨物送付書ハ時宜ニヨリ之ヲ省略スルコトヲ得

- 三 著驛ハ必要ニ應ジ到着ノ都度引渡ノ手續ヲ爲スコト但シ貨物保管料ノ計算方ニ付テハ最終便ノ到着シタル時ヲ以テ貨物到着ノ時ト看做スコト

- 四 前二號ノ場合分割シテ引受又ハ引渡ヲ爲ストキハ通知書ニ其ノ要旨ヲ記載シ又二回目以後ノ分ハ受授簿ニ依リ貨主トノ間ニ於ケル受授ヲ明カニシ置クコト

- 五 現拂ノ運賃料金又ハ著拂ノ運賃料金引換代金引換證等ハ特ニ定ムル場合ヲ除キ受託若ハ最初ニ集貨ノ際又ハ最初ニ引渡ノ際其ノ全部ヲ收受スルコト

- 六 通シ運送スル場合ハ連絡驛ニ於テナルベク取纏メ繼送スルコト

註一 第五號中ノ「特ニ定ムル場合」トハ貨物運送規則第百三條補則二ノ例ニ依リ取廻メ收受スル場合ヲ謂フ
二 第四號ノ受授簿ノ様式等ハ第十七條補則三ニ依リ鐵道局長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス

補則二 小口扱貨物ニシテ一口ノ重量千疋又ハ容積八立方米ヲ超ユルモノ及車扱貨物ヲ發送又ハ繼送スル場合ハ最寄自動車所主任ト打合セ其ノ都度運送ノ手配ヲ爲スベシ但シ定期便ニ積載餘力アルトキハ自動車ニ依リ集貨又ハ配達ヲ爲スモノ及運送時刻ノ指定アルモノヲ依キ定期便ニ依リ運送スルコトヲ得

第十三條 貨物ノ積込及取卸ハ各扱トモ省ノ負擔トス但シ左ニ掲グル貨物ニ在リテハ事宜ニ依リ貨主ノ負擔（通シ運送ノ場合連絡驛ニ於ケル自動車積卸ヲ除ク）トスルコトアルベシ

一 一箇ノ重量三百疋又ハ容積一立方米ヲ超ユルモノ
二 バラ積ノモノ

註一 本條第一號及第二號ニ掲グル貨物ト雖支障ナキ限リ省ニ於テ積卸ヲ爲シ特ニ費用ヲ要スルモノ、貨主ノ申出アルモノ、慣例上貨主ニ於テ積卸ヲ爲スモノ等ニ限リ貨主ニ對シ其ノ作業ヲ請求スベキモノトス
二 貨物運搬用ノ建木其ノ他ノ積付用品ヲ貨物ト共ニ積載方申出アルトキハ便宜之ニ應ズルコトヲ得此ノ場合其ノ重量ハ貨物ノ重量ニ加算セザルモノトス

補則一 本條但書ニ依リ積込又ハ取卸ヲ貨主ノ負擔トスル必要アリト認ムルトキハ適宜ノ方法ニ依リ關係驛ヲ經テ其ノ旨ヲ貨主ニ豫告スベシ

前項ノ場合貨主ニ於テ作業シ難キ事情アルトキハ省ニ於テ便宜之ヲ爲スベシ但シ特別ノ費用又ハ特殊ノ手配ヲ要スルトキハ貨主ノ承諾ヲ得テ取次ノ方法ニ依リ指定店ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

第十四條 鐵道ヲ貸切扱トシテ通シ運送スル場合自動車線ト鐵道トノ連絡驛ニ於ケル貨物ノ積込又ハ取卸並貨車ノ施封又ハ開封ハ省ニ於テ之ヲ爲ス

前項ノ場合貨物ノ貨車積込又ハ取卸作業ニ對シテハ實重量（貨物運送規則第六條ニ定アル貨物ハ其ノ重量又ハ箇數ニ依ル）

一 應迄毎ニ金二十五錢ノ接續料ヲ收受ス

註一 自動車線ト鐵道トノ連絡驛ニ於ケル自動車ヘノ積卸ハ前條ニ依リ自動車線ニ於ケル貨物ノ積込又ハ取卸トシテ各扱トモ省ノ負擔トナルモ貨車ヘノ積卸ハ鐵道ニ於ケル積卸トシテ貨物運送規則第二十八條所定ニ依ルモノトス、隨テ鐵道ヲ貸切扱トシテ通シ運送スル場合ハ連絡驛ニ於ケル貨車積卸モ貨主ノ負擔トナルモノニ付之ニ對シ其ノ費用トシテ本條第二項ニ定ムル料金ヲ收受スルモノトス
二 本條第一項ノ施封又ハ開封ハ積合車ノ例ニ依ルモノトス

第十五條 貨物ノ種類性質等ニ依リ鎖錠保護又ハ雨浸ヲ避クル等ノ必要アルモノト雖自動車線ニ在リテハ無蓋自動車（必要ニ應ジ覆布使用）ニ積載運送スルコトアルベシ

註 鐵道運送ノ場合ハ必ズ有蓋貨車ヲ使用スベキ貨物ト雖自動車線ニ在リテハ無蓋自動車ニ積載運送スルコトヲ得ルモノトス

第十六條 貨物ハ引換證付ノモノヲ除キ荷受人ノ印章ニ依リ引渡ヲ爲ス
補則一 貨物ノ引渡ノ請求アルトキハ引換證付ノモノヲ除キ通知書乙片ニ受領印ヲ徴シ之ニ應ズベシ
補則二 驛ノ中間ニ於テ貨物引渡方ノ請求アルトキハ左記各號ニ當ル場合ニ限リ自動車車掌又ハ自動車運轉手ニ於テ便宜之ニ應ズルコトヲ得

- 一 貨物が引換證付又ハ要償額表示ノモノニ非ザルトキ
- 二 貨物ノ損害等ニ關シ荷受人ガ留保ヲ爲サズシテ引取ヲ承諾スルトキ
- 三 荷受人ノ住所又ハ營業所ガ自動車運行路線タル道路ニ沿ヒ且正當荷受人タルコトヲ確認シ得ルトキ
- 四 運輸上ノ支障ナキトキ

前項ノ請求ニ應ジタルトキハ著驛ニ於ケル例ニ依リ自動車車掌又ハ自動車運轉手ニ於テ引渡ヲ爲シ通知書記事欄ニ其ノ要旨ヲ記載シタル上通知書ハ之ヲ著驛ニ引繼グベシ

第十七條 車扱貨物ハ自動車ノ通ズル箇所ニシテ別ニ定ムル區域内ナルトキニ限リ荷受人ノ指定セル箇所ニ於テ別ニ

料金ヲ收受セズシテ集貨又ハ配達ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

註 自動車線ヲ取扱トスルモノハ同線内ハ特ニ貨主ニ於テ反對ノ意思ヲ表示シタル場合又ハ自動車ニ依リ集貨又ハ配達ノ不能ナル場合ヲ除キ貨物ノ品種類等ニ拘ラズ凡テ集貨付及配達付トシテ受託スルモ通シ運送ノ場合鐵道ニ於ケル發驛又ハ着驛ノ集配取扱方ニ付テハ貨物運送規則及同補則所定ニ依ルモノトス（第一條第二項參照）

補則一 取扱貨物ノ集貨及配達ノ取扱方ハ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 集貨及配達ノ作業ハ本線ノ運送ニ使用スル自動車ニ依ルコト
- 二 驛發ハ集貨ノ申込ヲ受ケタル際其ノ要領ヲ適宜記録シ且之ニ基キ通知書ヲ作成シタル上其ノ甲乙二片ヲ自動車車掌又ハ自動車運轉手ニ交付スルコト
- 三 自動車車掌又ハ自動車運轉手ハ荷送人ヨリ貨物ヲ受取ル際發驛ニ於ケル例ニ依リ監査シ異狀ナキヲ確メタル上通知書ノ甲片ハ荷送人ニ交付シ乙片ハ貨物ト共ニ携行スルコト
- 四 二及三ノ場合貨物ガ引換證付ナルトキハ引換證ノ受授ニ付テハ通知書甲片ノ例ニ依ルコト
- 五 自動車車掌又ハ自動車運轉手ハ集貨先ニ於テ收受シタル運賃料金運送狀其ノ他ノ書類等ハ之ヲ發驛ニ、又配達先ニ於テ收受シタル運賃料金引換代金通知書乙片引換證等ハ之ヲ着驛ニ引繼グコト

註 一車ニ積載シ得ザル大口貨物ノ取扱方ニ付テハ第十二條補則一參照

補則二 取扱貨物ノ運送申込アルトキハ集貨先又ハ配達先ヲ自動車ノ通ズル箇所トシテ一應處置スベシ通シ運送スル場合ニシテ自動車線ヲ取扱トシ同線内ニ於テ集貨又ハ配達スルトキ亦同ジ

前項ノ場合受託後集貨先又ハ配達先ガ自動車ノ通ゼザル箇所ナルコトヲ知りタルトキハ荷送人又ハ荷受人ニ其ノ旨ヲ通知シ其ノ指圖ヲ俟テ相當處理スベシ

補則三 集貨付又ハ配達付取扱貨物ニ關シ貨主ニ交付スベキ帳表類ハ發驛又ハ着驛ニ於テ之ヲ作成スベシ

貨主又ハ驛ト自動車車掌又ハ自動車運轉手トノ間ニ於テ貨物、現金又ハ引換證ヲ受授スル場合ハ必要ニ應ジ受授簿ニ依リ其ノ事實ヲ明カニシ置クベシ

前項ノ受授簿ノ様式等ハ鐵道局長ニ於テ適宜之ヲ定ムベシ

第十八條 取扱貨物ヲ貨主ノ責ニ歸スバキ事由ニ因リ届先ニ於テ引渡スコト能ハザル場合ノ取扱方ニ付テハ宅扱貨物ノ例ニ依ル但シ再配達ノ取扱ヲ爲サズ

第十九條 貨物ノ滅失、毀損又ハ延著ニ對スル損害賠償等ニ付テハ鐵道ノ例ニ依ル但シ無蓋自動車ニ積載シタルニ因ル損害ニ付テハ省ニ於テ賠償ノ責ニ任ゼズ

第二十條 貨物ノ運賃計算料程ハ貨物營業料程ニ依ル

通シ運送スル場合ニ於ケル宅扱貨物ノ運賃計算料程ハ鐵道及航路ト之ヲ通算ス

通シ運送スル場合運送經路二以上アルトキハ左ニ掲グル區別ニ依リ運賃ヲ計算ス

- 一 運送經路ノ指定ニ應ジタルトキハ其ノ經路ニ依ル
- 二 前號以外ノ場合ハ運賃總額ニ於テ低廉ナル經路ニ依ル

第二十一條 小口扱貨物ノ等級ハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

車扱貨物ノ等級ハ其ノ貨物ノ小口扱ニ於ケル等級ヨリ一級低キモノトス但シ小口扱ニ對シ特別等級ノ定アル貨物ハ小口扱ノ特別等級ニ依ル

註 車扱貨物ノ等級ハ小口扱貨物ノ等級ヨリ一級低キモノナルヲ以テ例ヘバ一級割増貨物中十割増ノモノヲ車扱トスル場合ノ等級ハ一級五割増トナルモノトス

第二十二條 貨物ノ割引貨率ハ別表ニ之ヲ掲グ

第二十三條 貨物ノ運賃ハ小口扱八十疋毎、車扱ハ百疋毎ノ計算（十疋又ハ百疋未滿ノ端數八十疋又ハ百疋ニ切上グ）ト

シ其ノ運賃計算重量ノ最低ヲ左ノ通トス

一 小口扱

鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

二 車扱

千五百疋但シ一口ノ容積十立方米ヲ超ユルモノヲ除ク

通シ運送スル場合ニ於ケル運賃計算重量ノ最低ハ自動車線發ニシテ鐵道ヲ貨切扱トスル場合ニ在リテハ八應又ハ十三應トス但シ貨物運送規則第八十條ニ定ムル減應ノ取扱ヲ爲ス

註一 一口ノ容積十立方米ヲ超ユルモノヲ車扱トシタルトキハ其ノ實重量(百疋未滿ハ端數切上)ニ對シ小口扱ニ於ケル等級ヨリ一級低キ等級ヲ適用シテ運賃ヲ計算スルモノトス

二 自動車線發ニシテ通シ運送スル貨切扱貨物ノ鐵道ニ於ケル運賃計算最低重量ハ貨物ノ重量及容積ニ從ヒ八應—十應ノ貨車ニ積載シ得ルモノハ八應、之ヲ超ユルモノハ十三應トス(十三應—十五應ノ貨車ニ積載シ得ザルモノハ第六條但書ニ依リ一口ト爲スコトヲ得ズ)

第二十三條ノ二 鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル貨物ニシテ自動車線發ノモノノ容積二・八立方米ニ付重量一應ニ滿タザルトキハ鐵道ニ於ケル運賃及料金(接續料ヲ除ク)ハ二・八立方米ヲ一應トシテ之ヲ計算ス但シ貨物運送規則第八十條ニ定ムル減應ノ取扱ヲ爲ス

第二十四條 潤大品ノ運賃割増ニ付テハ小口扱、車扱トモ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

第三條第三號ニ依リ運送時刻ノ指定ニ應ジタル場合ハ自動車線ニ於ケル運賃ニ對シ二割ノ割増ヲ爲ス

前項ノ貨物ヲ省ノ責ニ歸スベキ事由ニ因リ指定ノ時刻ニ運送セザル場合(早著ノ場合ヲ除ク)ハ運賃割増額ノ拂戻ヲ爲ス但シ延著ニ因リ損害賠償ノ請求アルトキハ拂戻ヲ爲サズ

補則一 本條第三項ニ依リ運賃拂戻ノ請求アルトキハ鐵道局長ノ指揮ヲ受クベシ

第二十五條 通シ運送スル場合ニ於ケル運賃ハ小口扱及車扱貨物ニ於テハ自動車線ト其ノ他ノ線トヲ各別ニ算出シテ之ヲ合算ス

註一 計算上生ジタル錢未滿ノ端數ハ最後ニ切捨ツルモノトス

二 本條ニ定ムル運賃計算ノ場合ニ於ケル自動車線ノ程ハ鐵道、航路、地方鐵道、軌道等ヲ介スル場合ト雖モ之ヲ通算スルモノトス

第二十六條 運賃ノ最低ハ小口扱貨物ニ在リテハ火藥類ハ五十錢其ノ他ハ二十錢、車扱貨物ハ百疋ニ付十錢トス

通シ運送スル場合ニ於ケル運賃ノ最低ハ前條ニ依リ算出シタル合算額ニ付鐵道ノ例ニ依ル但シ自動車線ト鐵道ト扱種別ヲ異ニスルトキハ其ノ多額ナルモノニ依ル

第二十七條 要價額表示料ハ通シ運送スル場合ト雖之ヲ通算スルモノトス

第二十八條 (削除)

第二十九條 貨物運送規則第二條、第六條、第七條、第九條、第十一條、第十六條乃至第二十三條、第三十二條、第三十三條、第四十三條乃至第四十六條、第六十條、第六十一條第一項及第三項、第六十二條、第六十四條乃至第六十八條、第六十九條第三項、第七十一條乃至第七十三條、第七十四條第三項乃至第七項、第七十五條、第七十六條第八十六條第一項、第九十條乃至第一百一條、第一百三條、第一百五條乃至第一百七條、第一百九條、第一百十條、第一百五條及第一百五條ノ二ノ規定ハ特ニ定ムル場合及宅扱ヲ除キ本運送ニ之ヲ準用ス此ノ場合車扱ニ付テハ鐵道ニ於ケル應扱ノ例ニ依ル

註一 運賃計算ノ場合ニ於ケル應扱及貨切扱ノ數量ノ單位ハ應ニシテ車扱ハ百疋毎ノ計算ナルヲ以テ貨物運送規則第六條ヲ準用スルモ鐵道ニ於ケル應扱及貨切扱ノ例ニ依リ一應當リノ簡數ヲ其ノ儘適用スルコトヲ得ズ故ニ此ノ場合車扱百疋當リノ簡數ハ應扱及貨切扱ノ一應當リ簡數ノ十分ノ一ヲ適用スルモノトス

二 荷物代金引換規程、荷物運賃料金豫納規程等貨物運送ニ關スル從來ノ諸規定ハ其ノ當時省所管ノ運送機關ガ鐵道及船舶ノ

ミナリシヲ以テ、自然之方適用範圍モ鐵道及航路ノ運送ニ限ララルガ、之等ノ規定ノ中別段ノ定アルモノ又ハ條理上適用範圍ヲ極限セラルベキモノノ外ハ運送機關ガ鐵道ナルト船舶ナルト將又自動車ナルトヲ問ハザルモノニ付、自動車ニ依ル運輸營業開始ノ時ニハ本運送ニ付テモ亦當然之等ノ規定ニ據ルベキモノトス

荷物代金引換取扱手續、荷物運賃料金豫納取扱手續、荷物事故調査及損害賠償處理規程、鐵道運輸規程第百條ニ於ケル擔保物取扱手續、特種貨物運送手續等ニ付亦同ジ

補則一 貨物運送規則ハ特ニ定ムル場合ヲ除キ本運送ニ之ヲ準用ス此ノ場合車扱ニ付テハ鐵道ニ於ケル應扱(又ハ貸切扱)ノ例ニ依リ又驛長ノ權限ニ屬スル事務ハ驛務掛ニ於テ之ヲ行フモノトス

附 則

本規則ハ昭和五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

貨物割引貨率表

品 目	發 驛	著 驛	投 種 別	貨 率	記 事
乾 滿	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱	同 一級	
陶磁器及磁器 (三級ノモノニ限ル)	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱	同 三級	
博覽會、共進會、 品評會等ノ出品物	省線及連帶線	省線及連帶線	各 扱	同 四割減	
移住者引越荷物	省線及連帶線	内地港灣驛所在驛、北海道、朝鮮、滿洲、樺太内 省線及連帶線各驛	小口扱	二 割 減	本貨率適用條件ハ貨物運送規則別表貨物割引貨率表ノ例ニ依ル
開墾地移住者 引越荷物	省線及連帶線	本土、四國、九州内省線 及連帶線各驛	小口扱	二 割 減	右ニ同ジ
貨物運搬用建木 (鐵 製 共)	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱	五 割 減	右ニ同ジ

貨物送用容器 箱、籠、罐、樽、 桶、酸類耐味 袋、瓶、箱、枠、 淋用、瓶、箱、枠、 袋、瓶、箱、枠、 吠	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱	五 割 減	一、本貨率ハ貨物引渡後三ヶ月以內ニ其ノ着驛ヨリ原發驛ニ返送スルモノナルコトヲ以テ認メタルモノニ限リ適用ス 二、本貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス
貸出文庫ノ圖書	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱	三 割 減	一、本貨物ハ官公立圖書館、學校、青年團(處女會)等ノ間ニ往復スル貸出圖書ニ限ル 二、本貨率ハ官公立圖書館長又ハ市町村長ニ於テ無料貸出圖書ナルコトヲ證明シタルモノニ限リ適用ス
牛乳用空罐、 運搬箱	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱	五 割 減	一、本貨率ハ貨物引渡後三ヶ月以內ニ其ノ着驛ヨリ原發驛ニ返送スルモノナルコトヲ以テ認メタルモノニ限リ適用ス 二、本貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス

自動車線旅客及荷物並貨物取扱手續

(抜萃) 昭一〇、一〇 札達甲二九一

第一章 總 則

第一節 通 則

第一條 自動車線ニ於ケル旅客及荷物並貨物ノ取扱ニ關シテハ一般ノ規定ニ依ルノ外本手續ニ依ルベシ

第二條 前條一般規定中ノ驛長ニ關スル事項ハ自動車線(除連絡驛)ニ在リテハ驛務掛ニ於テ之ヲ取扱フ爲スベシ

第三條 本手續ニ驛及乗降場ト稱スルモノハ左ノ如シ

- 一 連絡 驛 自動車線ト鐵道トヲ連絡スル驛
- 二 驛員配置驛 自動車線ニ於ケル驛務掛ヲ配置セル驛
- 三 驛員無配置驛 業務委託驛ヲ除キタル驛員ヲ配置セザル驛
- 四 業務委託驛 手荷物及附屬小荷物ノ到着並小荷物及貨物ノ驛務ヲ指定店ニ請負ハシタル驛
- 五 管理 驛 業務委託驛ヲ管理スル驛
- 六 乗降 場 驛ノ中間ニ於テ便宜旅客ノ乗降ヲ爲サシムル驛

第二節 業務委託及管理

- 第四條 業務委託驛(以下委託驛ト稱ス)ニ於ケル一切ノ事務ハ管理驛驛長又ハ管理驛驛務掛ニ於テ之ヲ指示スベシ
- 第五條 委託驛ニ於ケル發着ノ書類ハ總テ管理驛ヲ經由セシムヘベ
- 第六條 委託驛ニ於ケル驛務中左記事項ニ關スル事務ハ管理驛ニ於テ處理スベシ
 - 一 貨物引換證及各種證明書ノ發行
 - 二 繼送通知ニ關スル事項
 - 三 旅客及荷物運送取扱細則第二百八十五條ニ依ル照會狀並貨物運送規則第四十七條補則六ニ依ル問合書ノ發信
 - 四 旅客及荷物運送規則第三百十二條及貨物運送規則第六十條ノ處分及變更ニ關スル事項
 - 五 引換代金ノ支拂及運賃料金ノ拂戻
 - 六 諸報告統計類ノ作成
 - 七 荷物事故ノ處理其ノ他之ニ準ズベキ事項
- 第七條 委託驛ニ對シテハ別途契約シタル條項ニ基キ驛務ヲ代理取扱ハシム

前項ノ契約ヲ爲シタル時ハ關係運輸事務所長、自動車區長並管理驛驛長又ハ管理驛驛務掛ニ對シ其ノ謄本又ハ寫一通ヲ交付ス

第八條 委託驛ハ毎日其ノ取扱ニ係ル手小荷物及貨物ノ發着數量及代金引換荷物ノ口數並保管料及貨物留置料ヲ驛務代理取扱日報(様式一)ニ記載シ關係證憑ト共ニ管理驛ニ提出スベシ

第九條 管理驛ハ委託驛驛務請負人ヲシテ毎月十日迄ニ前月中ノ驛務ニ對シ驛務代理取扱料金請求書(様式二)ヲ提出セシメ當該驛務代理取扱日報ト照合精算一括ノ上自動車區長經由所管運輸事務所長ニ提出スベシ

第十條 委託驛ニ於テ使用スル帳表類其ノ他物品ノ配給及保存期間ヲ經過シタル使用済帳表類ノ戻入ハ管理驛經由自動車區長之ヲ爲スベシ

第三章 貨物

第一節 通則

第三十一條 自動車線内ニ於ケル貨物ノ自動車ヘノ積卸作業ハ積卸請負人ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

第三十二條 自動車區長貨物積卸ノ爲必要ト認メタル場合ハ貨物積卸請負人ノ所要作業人ヲ添乗セシムルコトヲ得

前項ノ添乗者ニ對シテハ其ノ都度自動車區長ニ於テ自動車添乗許可證ヲ交付シ携行セシメ使用後遲滞ナク回收スベシ

第三十三條 前條ニ依ル自動車添乗許可證ノ様式ハ左ノ通トス

第 號
自動車添乗許可證
、、、自動車區長

縱九種(厚〇・六種)
幅四種(木製)

第三十四條 自動車貨物運送規則（以下自動車貨物規則ト稱ス）第十四條ノ連絡驛ニ於ケル通シ運送貨物ノ貨車積卸作業ハ當該驛指定店ヲシテ之ヲ請負ハシム

連絡驛長ハ前項ノ作業ニ就キ請負人ヲ指揮監督スル外左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

- 一 貨車取卸ノ場合ハ豫メ自動車區長ト打合ノ上作業及運送ノ方法ヲ講ズルコト
- 二 貨車積込ノ場合ニシテ一口ノ貨物ガ所定ノ制限ヲ超エザルモ當該貨車ニ積載シ得ザルトキハ所管運輸事務所長ノ指揮ヲ受クルコト

第二節 貨物取扱

第三十五條 自動車貨物規則第三條ニ定ムル貨物ニシテ驛長及驛務掛限リ引受ケ得ザルモノハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

- 一 鐵道局長ノ指揮ヲ受クベキモノハ必要ニ應ジ當該貨物ノ状態及申込ノ要旨其ノ他ヲ自動車區長經由所管運輸事務所長ニ申出ヅルコト

二 前號ノ申出ヲ受ケタル運輸事務所長ハ貨物ガ鐵道ニ跨リ運送スルモノナルトキハ鐵道運送ノ場合ニ準ジ取扱ヒ自動車線内ノミヲ運送スルモノナルトキハ運輸事務所長限リ適宜處置スルコト

第三十六條 自動車貨物規則ニ定ムル制限以内ノ貨物ナルモ自動車ノ關係其ノ他ニ依リ輸送困難ナリト認メラルル貨物運送方申出アリタルトキハ其ノ長サ容積等參考トナルベキ事項ヲ具シ受託方ニ付自動車區長ト協議スベシ

第三十七條 一口ノ貨物數量多クシテ分割運送スルモ同日中ニ發送シ得ザルコト明カナルモノハ「延著承知」ノ特約ヲ爲シ受託スベシ

第三十八條 自動車貨物規則第十二條補則一第四號及同第十七條補則三第二項ニ依リ受授方ハ貨物運送規則第三十四條補則一局補一ニ準ジ取扱フベシ此ノ場合現金又ハ引換證ナルトキハ其ノ旨及現金ニ對シテハ合計金額、引換證ニ

對シテハ其ノ番號ヲ受渡簿ノ記事欄ニ記載シ受領印ヲ微スベシ

第三十九條 積卸請負人（含作業人）ノ添乗セザル自動車ニ積載シタル貨物ヲ驛ノ中間ニ於テ引渡ス場合ノ取卸作業ハ乗務員ニ於テ之ヲ爲スベシ

第四十條 自動車ニ積載シタル貨物ノ積付整理ハ乗務員ニ於テ積卸請負人ト協力シ運轉中轉落又ハ其ノ他事故ナカラシムル様特ニ注意スベシ

第三節 積卸請負作業

第四十一條 第三十一條及第三十四條ニ依ル貨物ノ積卸作業ヲ請負ハシムル爲指定店ト別途之ヲ契約ス

前項ノ契約ヲ爲シタル時ハ關係運輸事務所長、自動車區長、連絡驛長並管理驛務掛ニ對シ其ノ謄本又ハ寫一通ヲ交付ス

第四十二條 自動車區長、連絡驛長並管理驛務掛ハ契約條項ニ基キ常ニ請負人ヲ指揮監督スベシ

第四十三條 第三十一條ニ依ル請負料計算方法ハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

- 一 請負料金を支拂フベキ貨物ノ積卸數量ハ宅扱、小口扱、應扱共貨物通知書面記載ノ實重量（貨物運送規則第六條ニ定メアル貨物ハ其ノ重量又ハ簡數ニ依ル）ヲ一箇月分通算シ其ノ結果百疋未滿ノ端數ハ之ヲ百疋ニ切上グルコト

二 積換貨物ニ對シテハ自動車ヨリ一旦取卸シ他ノ自動中ニ積換作業ヲ爲シタルモノニ限り前記重量ノ二倍ニ換算スルコト

三 料金計算ノ際生シタル錢未滿ノ端數ハ最後ニ切捨ツルコト

第四十四條 第三十四條ニ依ル請負料金方法ハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

- 一 請負料金を支拂フベキ積卸數量ハ貨物通知書面記載實ノ重量（貨物運送規則第六條ニ定メアル貨物ハ其ノ重量

又ハ箇數ニ依ル）ニ依ルコト

二 一應未滿ノ端數アル場合ハ一口毎ニ一應ニ切上ゲ計算スルコト

第四十五條 連絡驛、驛員配置驛及管理驛ハ毎日料金支拂ヲ要スベキ貨物ノ數量ヲ記録シ置キ請貨料金請求書ノ提出アリタルトキハ之ヲ照合ノ上相違ナキヲ確認スベシ

委託驛ハ毎日料金支拂ヲ要スベキ貨物ノ數量ヲ驛務代理取扱日報所定欄ニ計上管理驛ニ報告シ管理驛ニ於テハ請貨料金請求書ノ提出アリタルトキハ之ト照合ノ上相違ナキヲ確認スベシ

第四十六條 連絡驛、驛員配置及管理驛ハ請負人ヲシテ毎月十日迄ニ前月分ノ作業ニ對シ請負料金請求書（様式三、様式四）ヲ提出セシメ其ノ内容ヲ關係書類ト照合精査確認シ之ニ認印ノ上自動車區長經由所管運輸事務所長ニ提出スベシ

省營自動車線ニ於ケル一般運輸營業ヲ爲ス停車場 及特種停車場其ノ他ニ關スル件

昭八、九
通 報

省營自動車線ニ於ケル一般運輸營業ヲ爲ス停車場及旅客、荷物ノ取扱上制限アル停車場其ノ他左ノ如シ
（以下省略鐵道法規類抄第十四編運輸別輯五二頁參照）

省營自動車線ニ於ケル一般運輸營業ヲ爲ス停車場及特種停車場其ノ他ニ關スル件

用 地

分隊長とその部下 (一)

私の下に十三人の部下が居る。それは一體どう云ふことか。それらの人々は悉く昨日までは自分とは何の關係もない人達であつた。たゞ同じ日本人であつたといふだけである。動員が發せられ、部隊が編成され、それらの人々は第二分隊長となり、私が第二分隊長となつた。それは唯部隊本部に於ける都合に依つてさう定められたに過ぎない。

貨物置場使用取扱手續

大 一、八
札達 三、四、三

貨物置場使用手續

- 第一條 停車場構内貨物置場ノ使用又ハ使用許可地内ニ上家設置ノ出願アリタルトキハ驛長ハ第一號様式ノ願書及附屬書類三通ヲ作成セシメ保線區長ニ協議シ左ノ書類ヲ添付シテ願書及附屬書類二通ヲ運輸事務所長ニ進達スベシ
- 一 願人及保證人ノ職業、資力、信用並箇所、地積、施設物ノ構造、使用料金率、土地ノ使用又ハ上家ノ設置ヲ必要トスル事由其ノ他構内作業上支障ノ有無ニ關スル調書
- 二 保線區長ノ調製シタル實測圖(上家設置願ノ場合ハ之ヲ要セズ)
- 上家ノ増築改築又ハ移設ヲ爲サムトスル者アルトキハ前項ニ準ジ出願セシムベシ
- 第二條 運輸事務所長ハ前條ノ書類ヲ審査シ其ノ委任權限ニ屬セザルモノナルトキハ保線事務所長ニ協議シ意見ヲ附シテ願書及附屬書類一通ヲ運輸部長ニ提出スベシ
- 第三條 許可書其ノ他ノ處分命令書ハ運輸事務所長、保線區長、驛長ヲ經由シテ願人ニ交付スルモノトス
- 運輸事務所長ハ許可書寫(附屬圖面共)又ハ處分命令書ヲ遲滞ナク保線事務所長ニ回覽スベシ
- 第四條 運輸事務所長ハ許可セラレタル貨物置場ノ返還又ハ上家ノ撤去ヲ必要トスルモノアルトキハ事由ヲ附シ局長ニ稟中スベシ
- 使用人ノ都合ニ依リ土地ノ返還又ハ上家ノ撤去ヲ爲サムトスルトキハ期日及事由ヲ具シ其ノ旨出願セシムベシ
- 第五條 運輸事務所長及驛長ハ鐵道財産使用許可簿ヲ整備スル外停車場構内設備圖ニ許可ノ地域及願人名ヲ記入整理スベシ

第六條 驛長ハ願人ニ對シ許可書ヲ交付シタルトキハ遲滯ナク左ノ手續ヲ爲スベシ

一 請書ヲ徵シ運輸事務所長ヲ經由シテ運輸部長ニ提出スルコト

二 保線區長ニ協議シ現場使用其ノ他ノ指揮監督ヲ爲スコト

三 許可地内ノ各隅ニ願人ノ費用ヲ以テ境界標ヲ建植セシムルコト但シ境界標ハ角九厘以上高サ地上四十五厘以上ノ材質堅牢ナルモノヲ用ヒ使用者名、目的及地積ヲ明記セシメ腐朽又ハ破損シタルトキハ改植セシムルコト

第七條 驛長ハ使用人ニ對シ常ニ左ノ事項ニ注意ヲ拂ヒ土地使用上ニ付監督スベシ

一 許可ナクシテ用法ヲ變更シ又ハ地域ヲ擴張シ若ハ變更セシメザルコト

二 許可ノ條件ニ違背スル施設物ヲ設置セシメザルコト

三 他人ニ使用セシメザルコト

四 火氣ノ危険其ノ他鐵道作業上支障ヲ及ボサシメザルコト

第八條 驛長ハ施設物ノ工事又ハ撤去ニ關シテハ保線區長ニ協議スベシ

第九條 驛長ハ使用人又ハ保證人ノ職業、資力、信用等ニ關シ變更ヲ生ジタル者アルコトヲ認メタルトキハ遲滯ナク運輸事務所長ニ報告スベシ

第十條 運輸事務所長ハ前項ノ報告ニ付審査シ意見ヲ附シテ運輸部長ニ提出スベシ

第十一條 貨物置場ノ繼續使用又ハ上家ノ繼續設置出願ハ期間滿了ノ一ヶ月以前ニ第二號様式ニ依リ之ガ手續ヲ爲サシムベシ

第十二條 貨物置場ノ撤去ヲ爲サストスル者アルトキハ前項ニ準ジ報告スベシ

附屬様式
第一號ノ一
貨物置場使用許可願
一 場所 何停車場構内別紙圖面ノ通 何平方米
一 使用目的
一 期間 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日
一 使用料 御指定ノ通り
右御許可相成度御規則命令ヲ遵守可致ハ勿論一切ノ事項ハ保證人連帶履行可致連署相願候也
年 月 日

住所 職業 願人 氏 年齢 名
住所 職業 保證人 氏 年齢 名
札幌鐵道局長 殿

備考
一 願人ハ公務所、會社、組合其ノ他法定ノ代表者若ハ代理人又ハ公認運送取扱人ナルトキハ其ノ資格ヲ肩書セシムベシ
二 公務所及公共組合ノ出願ニ付テハ保證人ヲ要セズ但シ公共組合ニ在リテハ其ノ認可書寫ヲ添付セシムルコトヲ要ス
三 保證人ハ驛附近ニ住所ヲ有シ獨立ノ業務ニ從事シ資力、信用確實ナル者ナルヲ要ス
第一號ノ二

貨物置場内ニ上家設置許可願
別途出願貨物置場内() 年 月 日 札運第 號ヲ以テ使用許可相成候貨物置場内()ニ上家設置致度ニ付御許可相

札幌鐵道局長

殿

備考

一 第一號ノ一備考ニ同ジ

第三號

年 月 日

何 驛 長 印

局長

何運輸事務所長印 何保線區長印

一 場所

何停車場構内 何平方米

一 使用目的

一 期間

一 返地受領

一 保線區員立會ノ有無

右報告候也

一 使用人名

一 許可年月日番號

一 返地事由

一 施設物撤去原狀恢復方

一 其ノ他ノ事項

上家ノ構造ニ關スル標準ノ件

昭三、四
札運七二六

貨物置場内ニ設置ノ上家ノ構造ニ關シテハ大正十一年七月十五日運第三五九八號通牒鐵道用地事務ニ關スル件第五項第一號ニヨリ其ノ大要ヲ示シ置キ候處爾今左記標準ニ依リ取扱ノコトニ御了知相成度候

尙貨物置場使用取扱手續第一條附屬様式第一號ノ二中上家構造大要圖ハ爾今上家ノ建圖及斷面圖ヲ提出セシメラレ度

記

一 上家ハ貨物置場ニ於テ一時的貨物ノ雨露ヲ凌グニ足ルベキ假設構造トスルコト

二 前項ノ目的ヲ達成スル程度ニ止ムルヲ以テ移轉撤去容易ナルモノトシ建物ト認メラザル程度ノモノトスルコト

三 掘建吹抜ニシテ床張ヲ爲サズ小屋組及柱ハ丸太材ヲ用フルヲ本則トスルコト

四 前項ヲ以テ本則トスルモ

(1) 土地濕潤等ノ爲貨物ノ保護上已ムヲ得ザル箇所ニ在リテハ轉根太ニ敷板ヲ爲シ得ルコト

(2) 小屋組及柱ハ出願者ノ都合ニ依リ挽材ヲ用フルヲ容易トスルニ於テハ挽放シノ儘使用スルニ止ムルコト

五 屋根ハ板葺ヲ本則トスルモ出願者ノ都合ニ依リ葺葺ヲ容易トスルニ於テハ之ヲ葺葺ト爲スコトヲ得ルコト但シ火防上ヲ顧慮シ波型亜鉛鐵板葺トスルコトヲ得

六 外圍ハ可成施サザルヲ可トスルモ貨物保存上ヲ顧慮シ雨雪ヲ防グ爲荒板一枚張り又ハ亜鉛鐵板ヲ張ル程度ノモノトスルコトヲ得ルコト

七 屋根及外圍ニ廣告ノ表示ヲ施サザルコト必要ニヨリ其ノ入口ニ使用者ノ氏名貨物上家ノ用途ヲ記載セル表札ヲ張ル程度ノモノトスルコトヲ得ルコト

八 破風、鼻隠其ノ他假設物ニアラザル一般の建物トシテ施設スル化粧類ニ近キ取附ケヲ爲サザルコト

箱番ノ構造ニ關スル件

昭一〇、三
札運貨一、二、八、四

各運輸保線事務所長宛連名各通

十一月十五日野運第二七九五號ノ二ヲ以テ野付牛運輸事務所長ヨリ箱番ノ構造並最大限度ニ關シ照會有之別紙ノ通回答致置候條右ニ依リ取扱相成度

別 紙

十一月十五日野運第二七九五號ノ二ヲ以テ箱番ノ構造並其ノ最大限度ニ關シ照會有之候處右ハ簡易ナル番屋程度ノモノタルコトヲ要シ餘リ過大ナルトキハ一般建物トノ差別ヲ失シ又之ヲ極度ニ制限スルトキハ折角ノ使用目的ヲ達シ得ザルコト、可相成ニ付特ニ冬期煖房ノ點ヲ考慮シ構造ハ地杭又ハ基礎工事ヲ施サマル收去移轉容易ナルモノニシテ建坪十七平米ノ範圍ニ於テ取扱相成度

貨物置場使用願進達ニ關スル件

大 一四、三
運 七一九

貨物置場使用取扱手續第一條第一號ニ於テ貨物置場使用ノ出願アリタルトキハ該土地ノ使用ヲ必要トスル事由等ニ關スル調書ヲ添付スベキコトニ規定有之候處從來ノ例ニ徴スルニ單ニ支障無之トアリテ出願ノ地域又ハ位置ハ出貨ノ種類及數量等ニ對シ果シテ必要ノ限度ニアルヤ否ヤ判明セサルモノ往々有之土地ノ利用關係査定上支障尠カラズ候條爾今必ズ出願者ノ出貨ノ種類及數量調（現在及將來ノ豫想數量共）地勢ニ應ジ一坪當リ平均積置得ベキ最大數量調並ニ位置ノ適否ニ關スル説明書等ヲ添付スルコトニ御取計相成度

上家設置附屬書類進達ニ關スル件

昭 五、八
札 運 貨 六 四 二

從來貨物置場内ニ上家設置出願ノ場合左記附屬書類ハ一通宛進達ノコトト相成居候處爾今二通宛進達ノコトニ取計相成度

記

- 一 貨物置場内ニ上家配置ノ平面圖
- 二 上家ノ構造大要圖（建圖及斷面圖）
- 三 上家ノ構造仕様書

停車場構内鐵道用地使用承認書其ノ他關係書類交付方ニ關スル件

昭 一 三、六
札 運 貨 七 六 四

停車場構内鐵道用地ハ旅客及貨物運輸上常ニ其ノ用法ニ注意スベキハ勿論是等建造物ノ保守及管理ニシテモ夫々當務者ハ克ク常態

ヲ知悉シ置ク必要有之ニ付省自體ニ於テ工事スルトキハ固ヨリ他ニ貸付スル場合ニ於テモ運輸工務兩者ハ充分連絡協調シ處理上遺憾ナキ様期セラレ度

道而新規又ハ繼續承認或ハ返地等ノ場合ノ承認書其ノ他關係書類ヲ受理シタル際ハ驛長及保線區長共交互認知セシムルコト、相成居候處偶々之ヲ洩ス向アルヤニモ及開候條爾後如斯コトナキ様注意相成度

鐵道用地使用料ニ關スル件

大 三、四
北 技 一 一 三 二

- 一 改訂料金適用範圍ハ停車場構内及之ニ接近シ稍構内ト等シキ狀態ニアル箇所並構外線ヲ利用スル爲メ又ハ途中待積ヲ行フニ依リ用地ヲ使用スルモノノ爲メ處理上ノ便宜ヲ稽ヘ料金率ヲ特ニ設定スルモノトス但シ耕作目的ニ供スルモノハ除外ス
- 二 各驛用地中位置及利用上ノ狀態ニ依リ其ノ區域ヲ大體上中下ノ三階級ニ區分シ即チ驛本屋前面重要位置ヲ占メ又ハ之ト取テ選フナク旅客貨物何レノ方面ニ於テモ利用上優位ニアル部分ヲ上トシ「驛前面ナルモ前段ノ如キ好位置ニアラズ例之ハ貨物取扱ニ供シ得ルモ旅客待合所等ニハ不便ナルカ又ハ單ニ貨物ノ積卸或ハ倉庫上家敷地ニ供用スルニ過ギザル比較的不便ナル箇所即チ上トスル部分ヲ除キ驛前面左右ノ區域ヲ中ト定メ「驛構内ト雖モ背後ニ位シ最モ不便ナルカ又ハ構外ニシテ稍構内ニ準ズベキ部分及構外側線ヲ利用シ或ハ途中ニテ貨物ノ待積卸ノ爲メ用地ヲ使用スルモノヲ下トシ」各階級ニ於ケル料金率課スルモノトシ又上中及中下ノ中間ニ位シ其ノ一方ニ編入スルトキハ土地ノ階級ト料金率ノ權衡ヲ得ザル據アリト認メタル場合ハ雙方料金單位ヲ合算シ二分シテ當該地ノ單價率ヲ定ムルコトアルベシ甲乙兩驛中間ニ於ケル場合ニモ之ヲ準用ス但シ四圍ノ狀態ニ依リ上中下ノ區域ハ夫々反對ノ實況ニ在ルカ又ハ地形劣惡ニシテ所定料金ニ依リ難キモノ其ノ他特種ノ事由アルモノハ其ノ實況ニ應ジ位置ヲ轉到シ各階級ノ料金率課シ又ハ之ニ相當割引ヲ加フルコトヲ得
- 三 停車場構内用地ニ關シ驛等級ヲ特等及一等ヨリ十二等ニ區別シ上中下各階級ニ於ケル一ヶ月一平米當使用料ヲ左ノ通定ム但シ函館、手宮、室蘭ニ於ケル棧橋利用貯炭場使用料ハ別ニ定ムルコトニ依ル
- 四 左記省略（規程類抄營業編第一〇八頁參照）

貨物置場使用願進達ニ關スル件
上家設置附屬書類進達ニ關スル件
停車場構内鐵道用地使用承認書其ノ他關係書類交付方ニ關スル件

土地貸付料分割前納ノ件

大正五、五
北經會五四九

從來石炭又ハ木材置場等ノ爲メ用地ヲ使用セシムルニ當リ土地貸下料ハ官有財産管理規則第六條ノ趣旨ニヨリ使用期間ノ全部ヲ
(數年ニ涉ルモノハ一年分毎ニ)前納セシメ來リ候處使用期間全部一時ニ前納セシメズ三ヶ月分位ヅツ分割前納セシムルコトハ法
規上差支有之間敷哉何分ノ回示有之度

大正五年六月一日會第一九九號總理局會計課長回答

北經第五四九號ヲ以テ照會相成候土地貸付料分割前納セシムル件ハ差支無之ト存候

追テ分納期間ハ成可ク年度ヲ跨ラザルヤウ致度

備考

照會案中官有財産管理規則第六條トアルハ現在ノ國有財産法第十七條ニ該當スルモノニシテ大正十年四月八日法四三ヲ以テ改正
ノモノナリ

鐵道局長ニ於テ分納承認ニ關スル件

昭七、九
經二五〇

依命通牒

歳入金ニシテ納入無資力ノ爲一時ニ納付困難ノモノ分賦納付方願出タル場合ハ總金額五百圓以下期間三ヶ年迄ノモノニ限り鐵道局
長ニ於テ承認シ得ルコトニ決裁相成候ニ付自今左記ニ依リ處理相成度

追而明治四十五年三月鐵會發第一五三六號依命通牒ハ廢止セラレ候

記

- 一 承認ノ際ハ一回タリトモ滞納セシ場合ハ期限ノ利益ヲ失シ未納ノ金額ヲ一時ニ徵收スベキ旨附記スルコト
- 一 本通牒ニ依リ承認ノ分ハ其ノ都度請書ノ寫ヲ經理局長ニ送付スルコト

國庫出納金端數計算法

大五、一
法二

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ金錢一錢未滿ナルトキハ一錢トス

第三條 分割シテ收入シ又ハ仕拂フ金額ニアリテハ其ノ總額ニ付第一條ノ規程ヲ準用ス

國庫出納金端數計算ノ場合處理方ノ件

大正五、四
達四二七

本年一月法律第二號國庫出納金端數計算ノ場合處理方左ノ通定ム

第一條 厘位ハ一人一厘毎ニ切捨ツ從テ收入ニ在リテハ一事項、仕拂ニ在リテハ一請求金額毎ニ切捨ツベシ
但シ收入一事項ノ金額ガ數目ニ又仕拂一請求金額カ數目ニ分割セラルルモノハ收入ニ在リテハ目毎ニ仕拂ニ在リテハ項毎(連帶
運輸收入拂戻金ハ節毎)ニ切捨ツベシ

第四條 切捨ツベキ收入金ノ厘位ハ仕譯書及徵收要求書又ハ仕拂込通知書ニ掲記ヲ要セズ但シ鐵道用品及工作收入ニ在リテハ厘位ヲ
掲記シ朱線ヲ以テ之ヲ抹殺スヘシ

貨物置場使用料金拂込ニ關スル件

昭一三、四
札運貨四二六

貨物置場使用料金ノ拂込ハ近時全般的ニ良好ノ成績ヲ舉ゲ納期後ニ殘ルモノ非常ニ減少ノ傾向ニ有之候モ仲ニ偶々不良ノモノアリ
從來ヨリ一層始末ニ困難シ終ニ回收ノ途ヲ失フ場合モ生シ候條今後料金ノ納期ニハ特ニ注意ヲ拂ヒ若シ期日後十日内ニ納入セザル
トキハ直ニ實狀報告相成度

追而本年度分拂込案内別紙及送付候ニ付寮帳照合ノ上發送相成度

國庫出納金端數計算法
國庫出納金端數計算ノ場合處理方ノ件
貨物置場使用料金拂込ニ關スル件

件ノ納前割分料付貸地土
件ルス關ニ認承納分テ於ニ長局道鐵

土地使用料算定方ニ關スル件

昭七、二
札運貨一、二五

土地使用料算定方ニ付テハ鐵道財産使用承認心得第二條ニ規定セラレ候處右規定ヲ適用セズシテ料金ヲ決定シ得ル事項ニ付左記ノ
通過牒有之候ニ付右ニ御了知相成度

記

工回第四七六號

昭和六年九月二十五日

運 輸 局 長
工 務 局 長

依 命 通 牒
札幌鐵道局長殿

鐵道財産ヲ使用セシムル場合停車場構内ニ於ケル左記事項ニ付テハ其ノ使用ガ鐵道ノ旅客運輸ニ關シ相當ノ便宜ヲ與ヘ又ハ貨物運
輸ニ關シ其ノ荷捌若ハ貨物置場其ノ他整理上ノ必要ニ基クモノナルヲ以テ鐵道財産使用承認心得ノ使用料金率ニ關スル規定ヲ適用
セズシテ相當斟酌シ料金ヲ決定シ得ル儀ト御了知相成度

記

- 一 飲食店、賣店又ハ之ニ類スルモノノ設置若ハ据置（鐵道旅客待遇上ニ關係ナキモノヲ除ク）
- 二 人力車、馬車及自動車類ノ置場
- 三 前號ニ對スル切符賣場又ハ之ニ類スル箱番等ノ設置若ハ据置
- 四 手荷物運搬人及荷物ノ集配若ハ積卸人等ノ溜所其ノ他之ニ類スルモノノ設置
- 五 集配又ハ積卸等ヲ願負ヒタル手荷物及貨物ノ荷捌上必要トスル仕譯場、箱番其ノ他之ニ類スルモノノ設置若ハ据置
- 六 右各號ノモノニ對スル日覆風除類ノ設置
- 七 旅客及貨物運輸ニ關スル案内又ハ廣告物ノ設置又ハ建植
- 八 發着貨物ノ一時置場及之ニ對スル兩覆若ハ上家ノ假設

鐵道用地事務ニ關スル件

大一一、七
運三五九八

鐵道用地使用ニ關スル事務ニ付之ガ整理並進捗ヲ圖ラムガ爲今回左記ノ通決定相成候ニ付爾今右ニ御了知ノ上驛長及保線區主任へ
モ此ノ旨御達相成度

追テ待合所ノ營業ニ關シテハ運輸課ヨリ別途通知可致候

記

- 一 停車場構内外ノ標準
停車場構内ハ財産處理規程ニ於ケル用地種別ニ依リ大體前後ノ線路敷地ヨリ取擴メアル部分ノ範圍トシ若シ之ニ依リ判明シ
難キ箇所ニ在リテハ略場内信號機ノ位置ヲ以テ區分スルコト
- 二 運輸課主管ノ取扱區域
停車場構内及構外ニ亘ルモ側線ニ屬スル敷地並本線沿ニ於テ停車場構内ヨリ構外ニ跨リ使用スル場合
- 三 (削除)
- 四 (削除)
- 五 運輸、工務兩課取扱區分
(1) 運輸課主管ハ素地ノ儘貨物積置場トシテ使用ニ供スルモノ及其ノ敷地内ニ上家ノ設置ヲ許否スルコト但シ上家ハ一時的假
設物ニシテ從テ基礎ハ永久的設備ヲ爲サス一枚張リノ板又ハ亞鉛板等ノ如キモノニテ外圍ヲ爲シ容易ニ撤去シ得ル程度ノ
モノトス
(2) 前號以外ハ凡テ工務課主管トス
- 六 (削除)
- 七 (削除)

鐵道用地管理ニ關スル件

注一、二、六
意

鐵道用地管理上運輸、工務管掌ノ分界ニ關シ運輸、工務兩局長ヨリ左記ノ通通牒ノ次第モ有之候條取扱上錯誤ナキ様注意相成度
鐵道乙第一七二八號

大正十二年五月一日

鐵道省運輸局長
鐵道省工務局長

札幌鐵道局長殿
鐵道財產管理規程制定ニ伴ヒ鐵道局長職務權限、事務所長委任事項、鐵道局分課規程等併セテ改正相成其ノ結果土地ノ管理ニ關スル事項ハ工務課主管ト相成候ニ就テハ貨物置場上家日除箱番等ノ如ク移轉撤去容易ニシテ建物ト認ムベカラザルモノハ從來ノ如ク運輸側ニ於テ處理相成支障ナキ義ニ候共建物ト認ムベキモノニ對スル土地使用ノ許否ハ財產ノ管理ニ屬スルモノナルヲ以テ工務課又ハ其ノ系統ニ於テ管掌セシムル義ニ有之候間御承知相成度往々右兩者ヲ混同シ居ル實例モ有之哉ニ被認候ニ付爲念申進候
追テ建造物ニ在リテハ驛倉庫又ハ賣店トシテ施設セラレタルモノノ使用ノ外ハ本文同様工務課ト御承知相成度

營業主任會議決議ニ對スル回答

大、一、五、三

(釧路運輸事務所營業掛主任提出)

貨物置場内ニ軌道ヲ敷設スル等ノ場合ハ工務課主管トシテ貸付整理シ來リタルガ最近前記ノ如キ場合ハ軌道敷設ノミ工務課其ノ他ノ貨物置場ハ運輸課ト分割整理ノコトニナレリ右ハ何レノ主管ニテモヨシ一口トシテ貸付整理スルコトトセラレ度
本局回答(運輸課立案)

貨物置場敷地ニ軌道敷地ノ伴フモノハ運輸課ニ於テ取扱フコトトスベシ

貨物置場許可地内ニ軌道敷設ニ關スル件

昭二、二
運四四六

從來鐵道用地内ニ軌道ヲ敷設セントスルモノニ付テハ局長ノ許可ヲ受ケシムルコトニ相成居候處爾今貨物置場トシテ許可セラレタル鐵道用地内ニ貨物ノ荷捌上ニ便スル爲敷設セントスル軌道ニシテ別段ノ土功其ノ他ノ工事ヲ施サズ且移設撤去容易ナルモノヲ敷設セントスルモノニ付テハ他ニ支障ナキ限リ驛長監督ノ下ニ承認ヲ與ヘ差支無之候條右ニ依リ取扱相成度
追テ驛長ニ於テ本件ニ付承認ヲ與ヘタルトキハ其ノ都度遲滯ナク之ヲ運輸事務所長ニ報告相成度

鐵道用地使用ニ付取締方ノ件

大、一、四、一
運四〇七〇

鐵道用地使用取締方ニ付テハ從來屢々注意通牒ノ次第モ有之十分御配慮ノ義ト存候モ近來調査ノ實績ニ徴スルニ

- 一 許可ナクシテ用地ヲ使用スルモノ
 - 一 許可ナクシテ施設物ヲ設クルモノ
 - 一 許可ナクシテ使用目的ヲ變更スルモノ
 - 一 許可ナクシテ建造物ヲ改築、増築又ハ新築スルモノ
 - 一 許可區域ノ相違スルモノ
 - 一 許可ナクシテ轉貸スルモノ
 - 一 使用地境界標杭ノ建植ナキモノ
- 等許可條件違反又ハ不法使用ノモノ相當有之ヤニ認メラレ候ニ付關係當務者ニ對シ協力ノ上一層取締勵行方督勵相成度尙貴所ニ於テモ夫々調査ヲ遂ゲ之等ノ事實ヲ發見ノ場合ハ遲滯ナク整理方取計相成度

貨物置場境界標建植方

大八、六
注 意

貨物積置場使用方取締ノ爲使用者ノ費用ヲ以テ其ノ區域ノ各隅ニ標杭ヲ建植セシメ常ニ完全ナル状態ニ保持セシムベキ處(大正十一年八月札鐵達甲第三四三號第六條第三號)未ダ之ヲ建植セズ或ハ一旦建植セルモ不完全ノ爲不明トナリ居ル向アリテ使用地域曖昧トナリ其ノ弊鈔カラザルニ付自今左記ニヨリ勵行スベシ

- 一 木材、鑽石、石材、石炭等ノ如キ荒荷ヲ扱フ箇所ノ標杭ハ特ニ材質堅牢ナル(角又ハ丸太)徑十五糎乃至三十糎地上九〇糎乃至一五〇糎ノモノヲ撰定セシメ根柢ヲ附シ堅固ニ建植セシムルコト
- 二 其ノ他ハ地況ニ應ジ角九糎以上地上四五糎以上トシ人馬ノ爲ニ拔去ラレザル様堅固ニ建植セシムルコト
- 三 標杭ニ使用者名、目的、坪數、期間ヲ明記セシムルコト
- 四 今後建植ノモノハ總テ右ニ據ルベキハ勿論既ニ建植セルモ不完全ト認ムルモノハ速ニ改植セシメ完全ノ状態ニ保存セシムルコト
- 五 從來ノ使用地境界不分明ノモノハ驛長ニ於テ保線區ニ實測ヲ要求シ又ハ所管事務所長ニ其ノ旨ヲ知照スル等相當手配ヲ盡スベキハ勿論運輸事務所長ハ之ガ監督方一層勵行ノコト

鐵道用地使用許可期間ヲ三ヶ年ト爲スノ件

昭 四、一二
札 運 二、一二

運輸課主管鐵道用地使用許可期間ハ從來一ヶ年度ヲ一期ト致居候處別紙ノ通鐵道次官ヨリ通驛ノ次第モ有之又ハ保線課ニ於テモ三ヶ年一期ノ取扱ヲ致シ居候ニ付事務省略ノ爲特別ノ事情ナキ限り一般のニハ三ヶ年ヲ一期トシテ使用許可ノコトニ致度
追テ本件ハ昭和五年度使用許可ノモノヨリ實施ノコトニ致度
(別紙略)

鐵道用地貸付使用及不用地處分ノ際電線路ノ關係ニ付取調ノ件

大 一四、八
運 二八、九三

鐵道用地使用出願ニ對シテハ大正十一年札鐵達甲第三四三號貨物置場使用取扱手續第一條第一號ニ依リ構内作業上支障ノ有無ニ關スル調査ヲ遂グベキ義ト相成居候處電線路(電燈線、電力線ヲ含ム)ノ關係ニ付往々調査十分ナラザルモノアルガ爲之ガ保存管理上支障アル旨ニテ義ニ通信區主任、電力區主任ノ會議ニ於テ驛構内貨物置場使用取扱手續及用地貸付等ノ規程ニハ電線路ノ關係ヲ取調フル條項ヲ加ヘラレタシトノ希望有之候ニ付爾今右貸付使用及不用地處分ノ場合ハ是ト電線路トノ關係ニ付テモ十分ノ注意ヲ拂ヒ尙驛長及保線區主任ニ對シテモ關係ノ向ト協議ヲ遂グ支障ナカラシムル様御取計相成度

驛構内除柵取扱規程

昭 六、一二
達 九、七三

- 第一條 構内營業者、運送取扱人、荷主等ヨリ通行ノ目的ヲ以テ驛(操車場、信號場及信號所ヲ含ム、以下同ジ)構内ノ除柵方申出アリタルトキハ本規程ニ依リ取扱フベシ
- 註 除柵ノ許否ハ大正五年三月達第二五四號鐵道局事務所長工場長、及出張所長委任事項ニ依リ運輸事務所長ノ專決事項ニ屬ス
- 第二條 除柵ハ省ノ事業上其ノ他ニ支障ナキ場合ニ限り承認スベシ
省ノ事業上其ノ他ニ支障アリト認ムルトキハ除柵ノ承認ヲ一時停止シ又ハ取消スベシ此ノ場合停止又ハ取消ニヨリ申込者ニ損害ヲ生ズルコトアルモ省ハ其ノ責ニ任ゼズ
- 第三條 除柵シタル箇所ニハ門扉ヲ設置セシメ通行其ノ他ニ使用セザルトキハ之ヲ閉鎖セシメ置クベシ但シ門扉ノ設置ヲ不適當トスル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四條 除柵ノ箇所ニハ除柵ノ範圍、出願者、承認年月日、承認期間等ヲ表示セシメ置クベシ

第五條 除柵及其ノ復舊並ニ門扉ノ設置及其ノ修繕等ハ申込者ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

第六條 除柵ニ對シテハ一米ニ付一ヶ月六錢以上ノ割合ヲ以テ除柵料ヲ收受スベシ料金計算ノ場合ニ於テ一米未滿ハ一米ニ、又一ヶ月未滿ハ一ヶ月ニ切上ゲベシ

前項ノ料金ハ柵ノ狀勢及除柵ノ位置等ヲ考慮シテ之ヲ定ムベシ

註一 數箇所ノ除柵承認又ハ除柵及用地使用ノ承認ヲ同一人ガ受ケタルトキト雖モ料金ハ各別ニ計算收受スルモノトス

註二 除柵スルニアラザレバ其ノ目的ヲ達シ難キ用地使用ヲ承認スル場合ニハ別ニ除柵料ヲ收受セザルモノトス

第七條 前條ノ料金ハ之ヲ前納セシムベシ但シ承認期間一年ヲ超ユル場合ニ於テハ一ヶ年分宛ヲ取廻メ定期ニ前納セシムベシ省ノ都合ニ依リ承認ヲ一時停止シ又ハ取消シタル場合ニ限リ停止期間中又ハ取消後ノ料金ヲ還付スベシ此ノ場合還付スベキ料金中ニハ停止、取消又ハ停止ノ解除ヲ爲シタル月ノ分ハ之ヲ含マザルモノトス

第八條 除柵ノ承認ヲ取消シタルトキハ申込者ヲシテ原狀ニ復セシムベシ申込者ニ於テ相當期間内ニ復舊ヲ爲サザルトキハ省ニ於テ申込者ノ費用ヲ以テ之ヲ施行スベシ

第九條 柵垣ナキ箇所ノ通行方申出アリタルトキハ本規程ニ準ジ取扱フベシ

附 則

本達ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年六月達第五四六號ハ之ヲ廢止ス

本達施行前ニ爲シタル除柵承認ニシテ承認期限アルモノハ期限到著迄舊規程ニヨリ、承認期限ナキモノハ昭和七年度分ヨリ本規程ニヨリ整理スベシ

驛構内除柵取扱規程ニ據ル除柵料金徵收方

昭三、六
札達甲一五六

昭和六年十二月十九日達第九七三號驛構内除柵取扱規程ニ據ル除柵料金徵收方左ノ通定メ昭和三年度ヨリ之ヲ施行ス

一 用地使用ニ依ル驛等級別除柵料金左ノ如シ

等級	一ヶ月一米當 除柵料金	等級	一ヶ月一米當 除柵料金
特等	・二二〇	五等	・〇八三
・一七六	小樽、札幌	六等	・〇七七
・一六五	手宮、南小樽、旭川	七等	・〇七二
・一四九	室蘭	八等	・〇六六
・一三八	釧路、濱釧路、小樽築港	九等	・〇六六
・一一一		一〇等	・〇六一
・一一〇		一一等	・〇六一
・〇九四		一二等	・〇六〇
・〇八八			

二 除柵ノ位置及通行ノ狀態ニ依リ所定料金ニ依リ難キモノハ別ニ經何ノ上相當ノ割引ヲ加フルコトヲ得

附 則

大正四年五月十一日北技第二六一八號除柵料金改定ノ件ハ昭和二年度限り之ヲ廢止ス

鐵道財産使用承認心得

昭六、九
達六九六

第一條 鐵道財産ヲ使用セシムル場合ハ別段ノ定アルモノヲ除キ總テ本心得ニ依リ處理スベシ

本心得ニ依リ難キ特別ノ事情アル場合ハ大臣ノ承認ヲ經ベシ

第二條 土地ノ使用料ハ附近土地賃賃價格實例アル場合ハ之ニ比準シ實例ナキ場合ハ附近土地賃賃價格ノ六分ニ當ル金額ニ比準シテ之ヲ算出スベシ

前項ノ規程ハ建物、工作物其ノ他ノ財産ヲ使用セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於テ附近ニ實例ナキトキハ前項ニ依リノ外維持修繕費ヲ加算スベシ

第三條 空間又ハ地下ヲ使用セシムル場合ノ料金ハ前條料金を基礎トシ其ノ土地ノ利用ヲ妨グル程度ヲ參酌ノ上査定スベシ但シ普